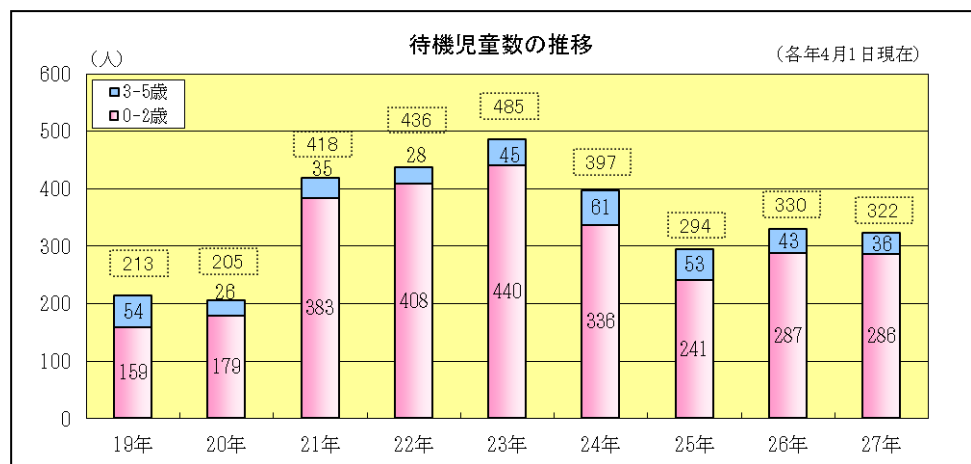


3. 足立区の待機児童の状況

足立区の待機児童は、平成 23 年の 485 名をピークに減少傾向にあります。ここ数年は横ばいの状態が続いています。待機児童の約 9 割が 0～2 歳児となっており、1 歳児だけで全体の約 5 割を占めています。



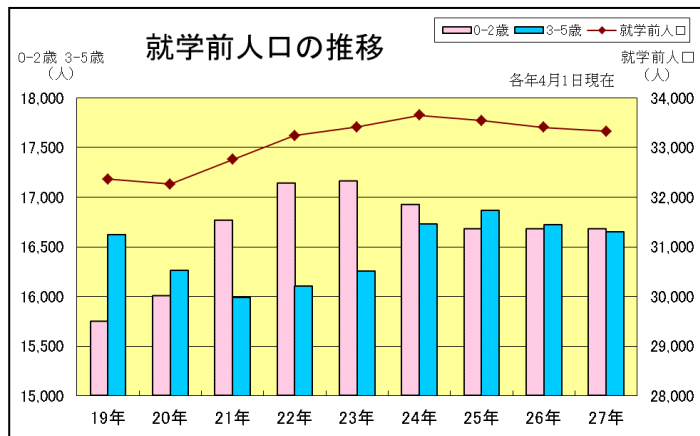
(各年4月1日現在)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
27年度待機児童数	59	165	62	30	3	3	322
26年度待機児童数	61	148	78	31	7	5	330
26年度と27年度との差	2減	17増	16減	1減	4減	2減	8減

4. 策定の基礎資料

足立区待機児童解消アクション・プランの策定にあたっては、以下のような分析を行っています。

細かい分析の内容は、「足立区待機児童解消アクション・プラン」本編をご覧ください。

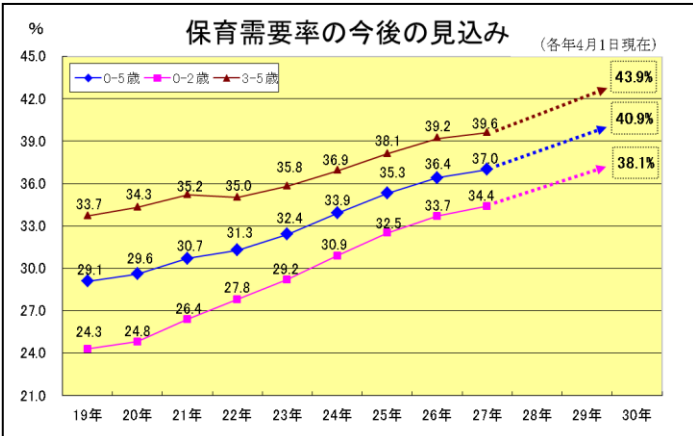
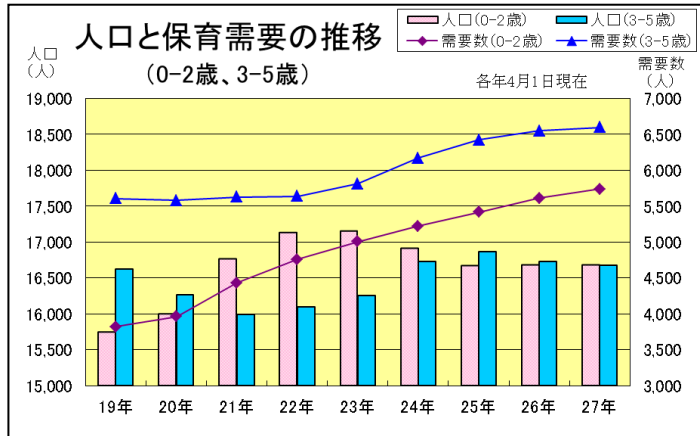


各年4月1日現在

	全体	H23	H24	H25	H26	H27	前年比較
0歳	5,590	5,540	5,496	5,454	5,551	5,551	97
1歳	5,790	5,629	5,661	5,610	5,550	5,550	-60
2歳	5,777	5,749	5,519	5,616	5,579	5,579	-37
3歳	5,552	5,731	5,691	5,474	5,575	5,575	101
4歳	5,538	5,504	5,674	5,642	5,455	5,455	-187
5歳	5,168	5,494	5,501	5,610	5,619	5,619	9
合計	33,415	33,647	33,542	33,406	33,329	33,329	-77

各年4月1日現在

	全体	H23	H24	H25	H26	H27	前年比較
0～2歳	17,157	16,918	16,676	16,680	16,680	16,680	0
3～5歳	16,258	16,729	16,866	16,726	16,649	16,649	-77



足立区待機児童解消アクション・プランは区HPからダウンロードできます。
 区のデータ・資料 > 区政運営 > 計画・報告 > 計画・指針 > 子育て・教育
 ※スマホ・タブレットからは右の二次元バーコードからアクセス可能です。



平成 27 年 8 月発行
 発行元：足立区教育委員会
 子ども家庭部 待機児ゼロ対策担当課
 〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1
 TEL03-3880-5759 FAX03-3880-5641



足立区待機児童解消アクション・プラン

【平成 27 年度概要版】

足立区では、待機児童の解消と多様化するニーズに的確に対応するため、足立区待機児童解消アクション・プランを策定し、各地域の状況等を分析したうえで、施設整備や利用者支援などの取り組みを行っています。今年度の改定では、平成 27～29 年度の 3 年間で、既存施設の定員増を含めて **1463 人分の保育定員を増やす新規整備計画**を策定しました。あわせて保育サービスの周知と利用促進を図り、**平成 30 年 4 月の“待機児童ゼロ”を目指します！**

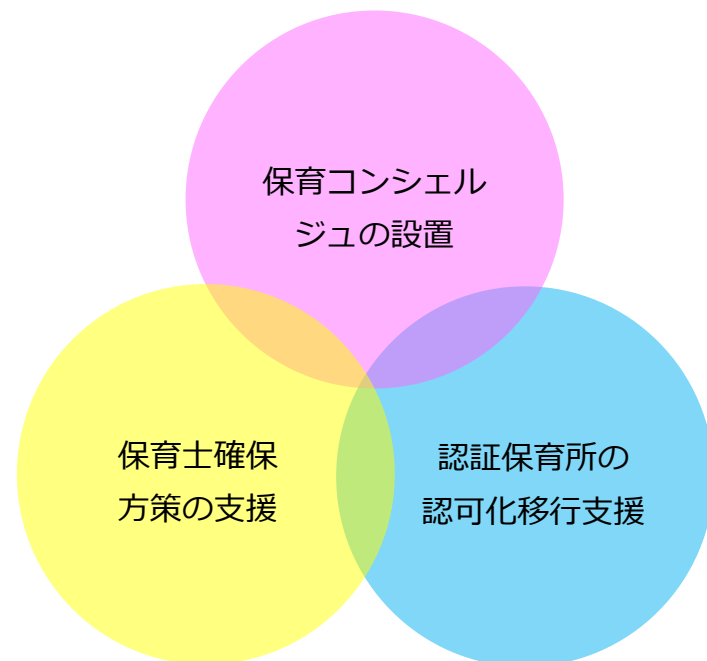
1. 待機児童ゼロに向けた取り組み その1【保育施設整備】

待機児童解消アクション・プランをこれまでの 2 か年計画から 3 か年計画に改め、先回りの保育施設整備を実施します。1463 人分の保育定員整備の内訳は以下のとおりです。

保育施設等	平成27年度 整備内容	整備定員数 (人)	平成28年度 整備内容	整備定員数 (人)	平成29年度 整備内容	整備定員数 (人)	合 計 (人)
認可保育所	5所 ・1ブロック-千住河原町(計画変更) ・1ブロック-千住龍田町(計画変更) ・1ブロック-千住緑町(計画変更) ・2ブロック-新田二丁目(計画変更) ・4ブロック-梅島三丁目	70 80 80 60 85	4所(新規計画) ・1ブロック-千住地域 ・2ブロック-宮城・小台地域 ・5ブロック-中央本町地域 ・8ブロック-保塚・六町地域	85 60 80 100	4所(新規計画)	325	1025
認証保育所	1所(新規計画) ・1ブロック-千住地域	40	1所(新規計画)	40	1所(新規計画)	40	120
家庭的保育	家庭的保育者15名	30	家庭的保育者15名	30	家庭的保育者15名	30	90
小規模保育	2施設 ・3ブロック-興野・本木 ・5ブロック-中央本町地域	15 15	2施設(新規計画)	30	2施設(新規計画)	30	90
(私立)認定こども園							0
公設民営 認可外保育施設							0
既存保育施設 の増改築等	認可・認証・こども園等	138					138
平成27年度 合計(人)		613	平成28年度 合計(人)	425	平成29年度 合計(人)	425	1463

2. 待機児童ゼロに向けた取り組み その2【施設整備以外の支援】

保育施設を整備するだけでなく、様々な取り組みから、“待機児童ゼロ”を目指します。



■保育コンシェルジュの設置

利用者の状況にあった保育施設の案内や、SNS等を活用した保育施設のPR活動を行います。

■保育士確保方策の支援

区内の保育施設養成校やハローワークと連携し、潜在保育士向けのセミナーや、新卒保育士向けの保育士就職相談会などを実施します。

■認証保育所の認可化移行支援

待機児童の多い地域で、0～2 歳児の定員を増員しつつ、5 歳児までの持ち上がり可能な定員設定を行える認証保育所について、認可保育所への移行支援を実施します。



13 ブロック別 地域の状況と今後の保育施設整備計画

 …沿線開発地域

 …マンション計画

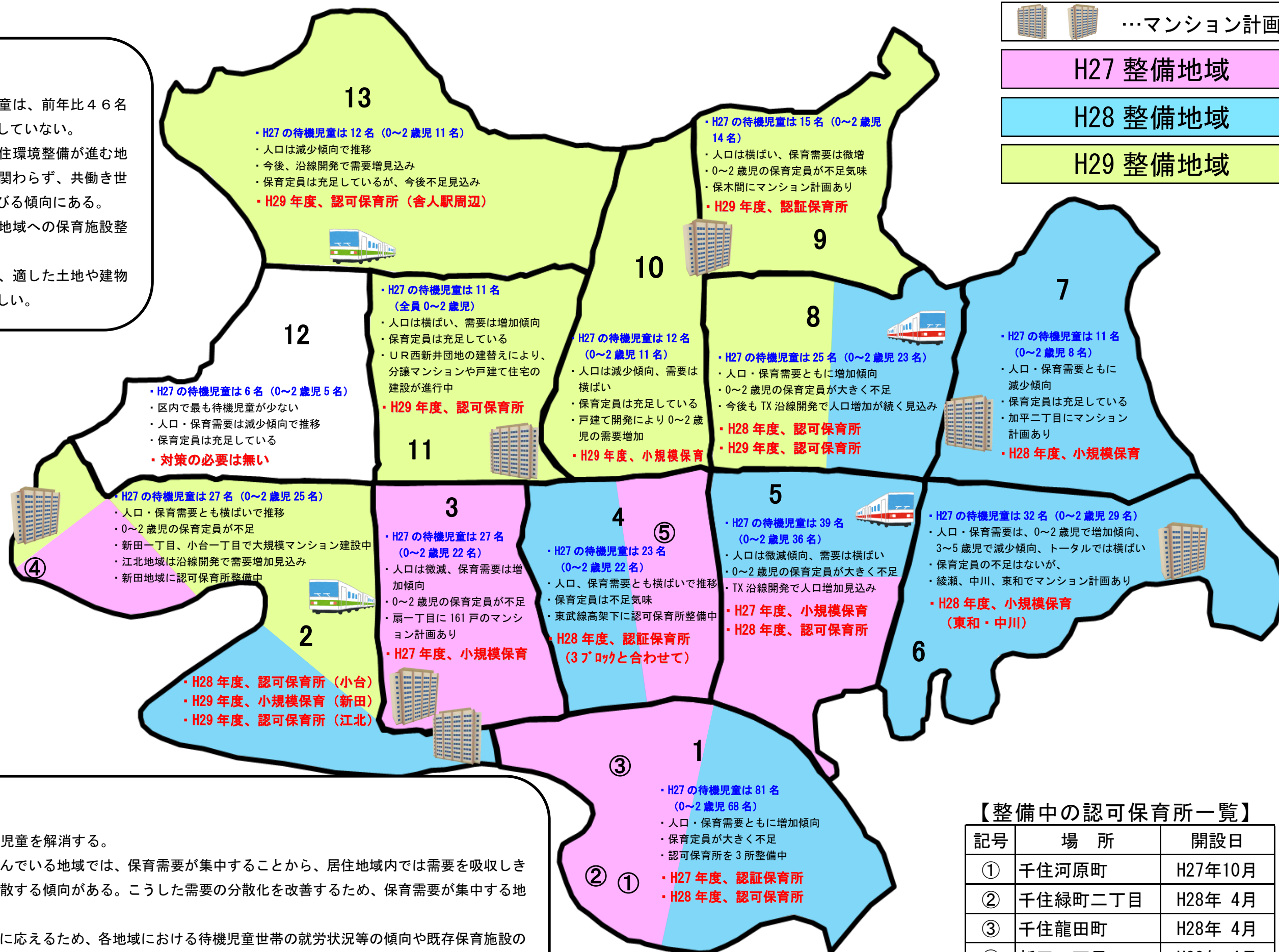
H27 整備地域

H28 整備地域

H29 整備地域

■解決すべき課題

- フルタイム就労世帯の待機児童は、前年比46名増の93名となり、依然解消していない。
- 大規模開発や沿線開発などで住環境整備が進む地域では、就学前人口の増減に関わらず、共働き世帯の増加により保育需要が伸びる傾向にある。
- 大規模開発や沿線開発が進む地域への保育施設整備が後追いとなっている。
- 保育施設を整備したい地域に、適した土地や建物が無いなど、物件の確保が難しい。



■施設整備方針

- フルタイム就労世帯の待機児童を解消する。
- 大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、保育需要が集中することから、居住地域内では需要を吸収しきれず、隣接地域に需要が分散する傾向がある。こうした需要の分散化を改善するため、保育需要が集中する地域に保育施設を整備する。
- 保護者の多様な保育ニーズに応えるため、各地域における待機児童世帯の就労状況等の傾向や既存保育施設の配置状況等を踏まえ、需要の実態に合わせた保育施設等をバランスよく設置する。
- 平成27年度から平成29年度までの3年間で1300人分以上の定員整備を確実にを行い、平成30年4月の待機児童ゼロを目指す。

【整備中の認可保育所一覧】

記号	場 所	開設日
①	千住河原町	H27年10月
②	千住緑町二丁目	H28年 4月
③	千住龍田町	H28年 4月
④	新田二丁目	H28年 4月
⑤	梅島三丁目	H28年 4月

足立区待機児童解消アクション・プラン

【平成 27 年度改定版】

“待機児ゼロ”の^ま^ち足立区へ！

～地域の実情に合わせた施設整備と利用者支援～

(平成 27 年度～平成 29 年度)

平成 27 年 8 月

足立区教育委員会子ども家庭部



目次

1. はじめに	3
1.1 解決すべき課題	3
1.2 平成 27 年度、28 年度、29 年度の施設整備と利用促進	4
1.3 その他の取り組み	5
2. 足立区における保育の現状	6
2.1.1 年齢別待機児童の内訳	6
2.1.2 地域別待機児童の状況	7
2.1.3 申請事由別待機児童の内訳	8
2.1.4 待機児童実態調査の結果	11
2.2 保育需要と施設整備の状況	13
2.2.1 保育需要の動向	13
2.2.2 施設整備の状況	16
3. 待機児童ゼロにむけて	17
3.1 待機児童ゼロにむけた課題の整理と方針	17
3.1.1 就学前人口の推移、保育需要率	17
3.1.2 施設整備方針	19
3.1.3 多様な保育施設の利用促進	19
3.2 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 1 (施設整備)	20
3.2.1 施設整備の全体計画	20
3.2.2 ブロック別の施設整備計画	24
3.3 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 2 (施設整備以外の支援)	26
3.3.1 保育コンシェルジュの設置について	26
3.3.2 保育士確保方策の支援について	26
3.3.3 認証保育所の認可化移行支援について	26
4. 基礎データ	27
4.1 ブロック別の分析	28
4.1.1 1ブロック — 千住地域	28
4.1.2 2ブロック — 江北・新田地域	30
4.1.3 3ブロック — 興野・本木地域	32
4.1.4 4ブロック — 梅田地域	34
4.1.5 5ブロック — 中央本町地域	36
4.1.6 6ブロック — 綾瀬地域	38
4.1.7 7ブロック — 佐野地域	40
4.1.8 8ブロック — 保塚・六町地域	42
4.1.9 9ブロック — 花畑・保木間地域	44
4.1.10 10ブロック — 竹の塚地域	46
4.1.11 11ブロック — 伊興・西新井地域	48
4.1.12 12ブロック — 鹿浜地域	50

4.1.13	13ブロック — 舎人・東伊興地域	52
4.2	保育需要の動向に関する分析	54
4.2.1	地域別の保育需要	54
4.2.2	ブロック別の保育需要の動向	55
4.3	待機児童実態調査結果	63

表目次

表 1	待機児童数の推移	6
表 2	前年度待機児童数との対比	6
表 3	地域別待機児童数の推移	7
表 4	平成 22 年から平成 26 年の申請事由別内訳	8
表 5	地域別・年齢別待機児童数（全世帯とフルタイム就労世帯の比較）	9
表 6	ブロック別待機児童内訳（申請事由別）	10
表 7	認可保育所以外の認可施設に申し込まなかった理由	12
表 8	保育需要数の内訳及び推移【0 歳から 5 歳児】	13
表 9	保育需要数の内訳及び推移【0 歳から 2 歳児】	13
表 10	0 歳児から 5 歳児の保育需要率	15
表 11	0 歳児から 2 歳児の保育需要率	15
表 12	3 歳児から 5 歳児の保育需要率	16
表 13	保育定員の推移	16
表 14	保育需要と施設整備	20
表 15	保育施設の整備定員数	21

図目次

図 1	待機児童数の推移グラフ	6
図 2	待機児童の申請事由別内訳グラフ	8
図 3	平成 27 年 5 月 1 日現在の保護者の状況	11
図 4	認可保育所以外の認可施設の申込の有無	11
図 5	保育サービスを利用するうえで重視したこと	12
図 6	第 5 希望まで書けることについて	12
図 7	認可保育施設の一括申込について	12
図 8	保育需要数の推移グラフ	14
図 9	保育需要率の推移グラフ	15
図 10	保育定員数の推移グラフ	16
図 11	就学前人口の推移グラフ	17
図 12	人口と保育需要の推移グラフ	18
図 13	保育需要率の今後の見込みグラフ	18

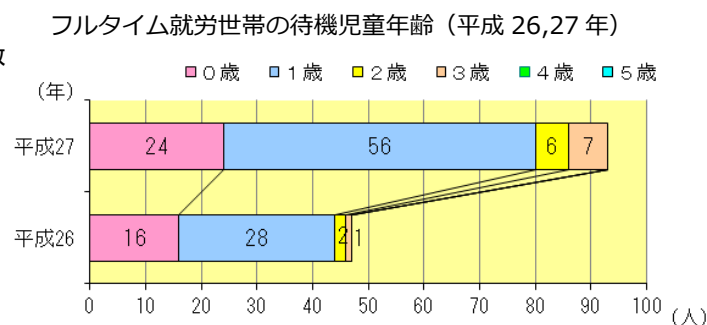
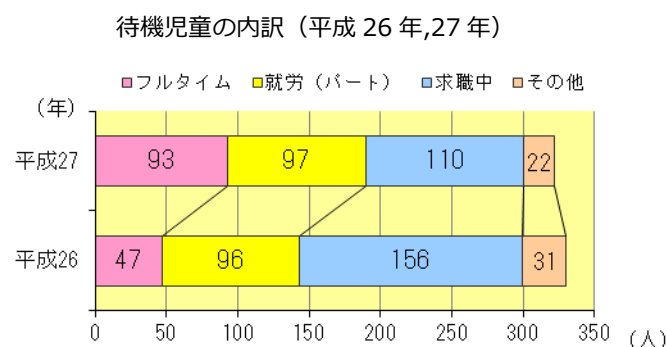
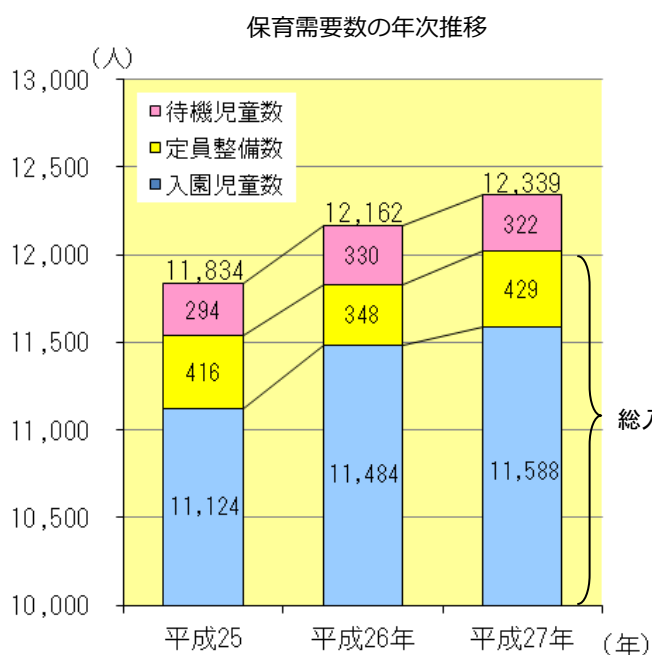
1. はじめに

足立区では、待機児童の解消と多様化する保育ニーズに的確に対応するため、平成 24 年度から足立区を 13 ブロック地域から 49 地域に細分化して保育施設の必要量を算定し、保育施設整備計画「待機児童解消アクション・プラン」を作成してきました。アクション・プランは 2 か年計画とし、毎年、待機児童の状況反映したものに見直しを行っています。

施設整備では、平成 26 年度中に認可保育所 3 所、認証保育所 2 所、小規模保育 1 施設を新設するとともに、家庭的保育者(保育ママ)の増員を図り、増改築等による定員増を含めて 429 名分の保育定員を増やしました。

しかし、平成 27 年 4 月 1 日現在の待機児童数は 322 名となり、前年比 8 名の減少にとどまっています。そのため、地域の実情に合わせた多様な保育施設整備のほか、PR活動や保育サービスのマッチングなど、保育施設を利用いただくための取り組みも必要であると考えています。

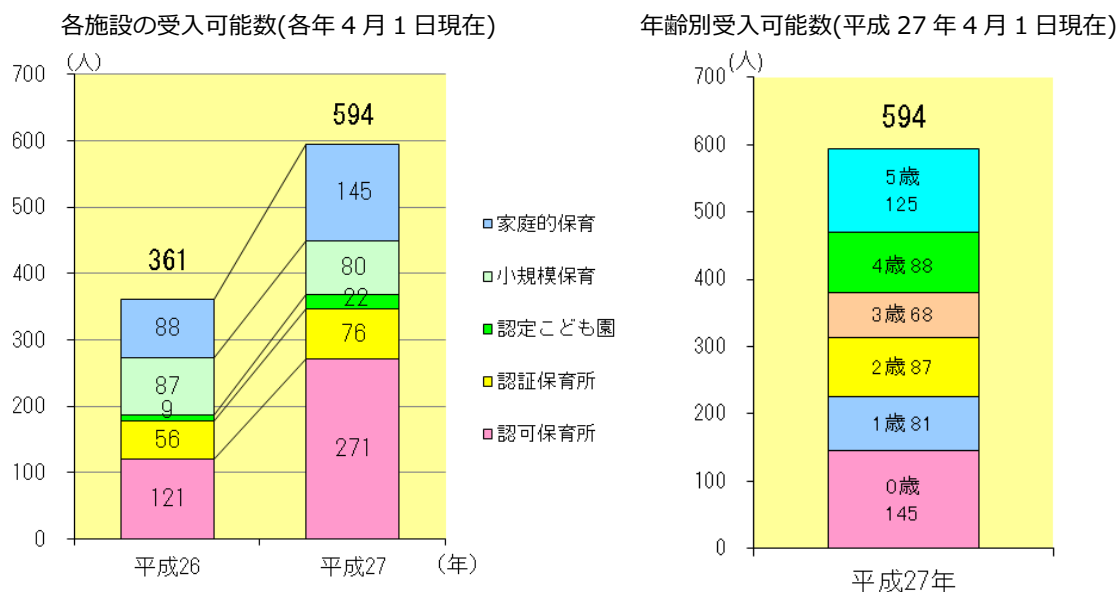
平成 27 年度からは、このアクション・プランを、平成 27 年 3 月に策定した「足立区子ども・子育て支援事業計画」の実行計画として位置付け、平成 30 年 4 月の待機児童ゼロを目指して対策を進めていきます。



1.1 解決すべき課題

分析の結果、次の課題が明らかとなりました。

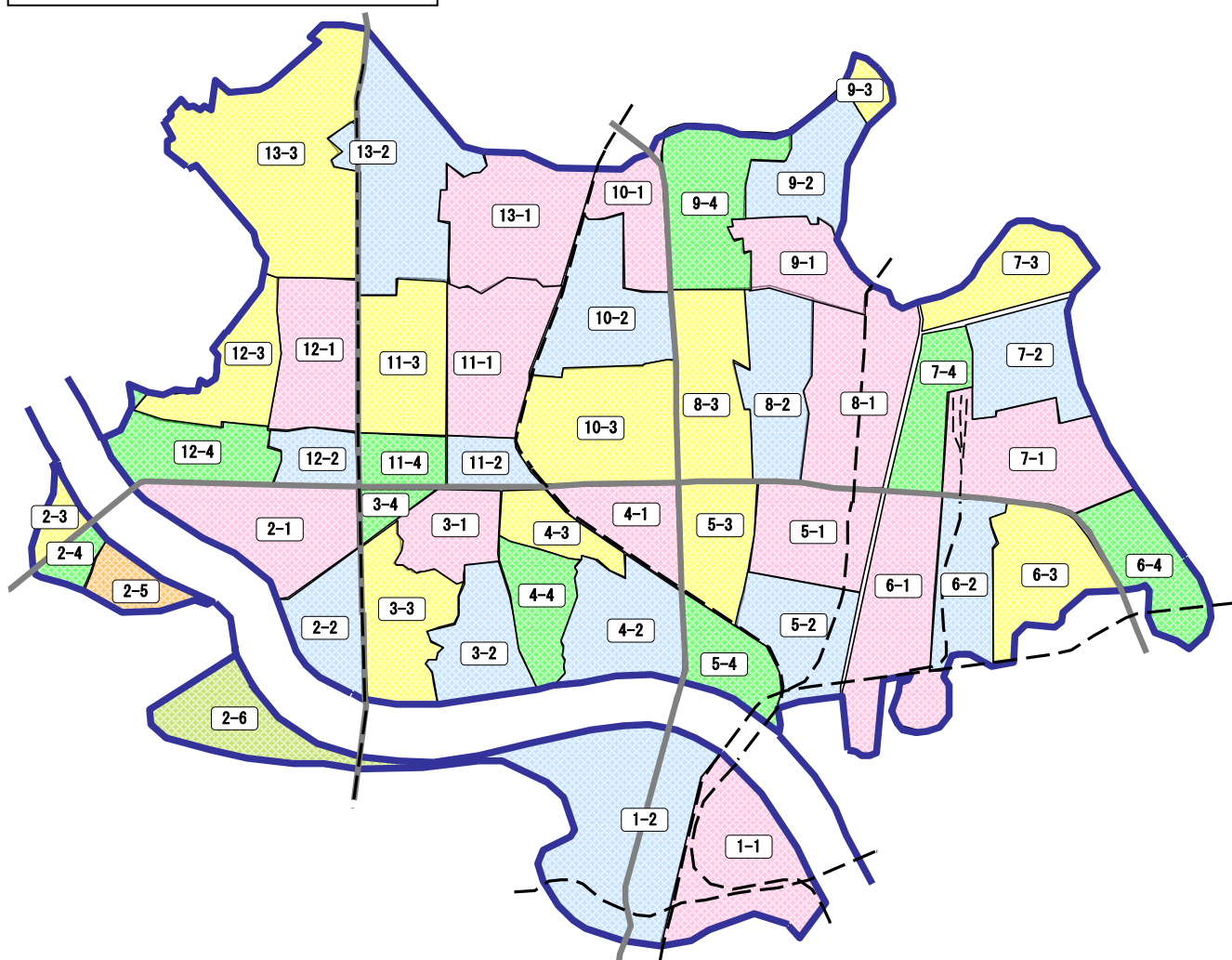
- (1) フルタイム就労世帯の待機児童は、前年比46名増の93名となり、依然解消していない。
- (2) 大規模開発や沿線開発などで住環境整備が進む地域では、就学前人口の増減に関わらず、共働き世帯の増加により保育需要が伸びる傾向にある。
- (3) 大規模開発や沿線開発が進む地域への保育施設整備が後追いとなっている。
- (4) 保育施設を整備したい地域に、適した土地や建物が無いなど、物件の確保が難しい。



1.2 平成 27 年度、28 年度、29 年度の施設整備と利用促進

今年度は、引き続き 13 ブロック・49 地域の待機児童や保育需要等の分析([基礎データ P. 28 参照](#))を行うとともに、各地域の保育需要の動向を詳しく分析([基礎データ P. 54 参照](#))して、アクション・プランの見直しを行いました。

13ブロック 49細分化 地域マップ



具体的な内容としては、まず、施設整備計画をこれまでの2か年計画から3か年計画に改め、先回りの保育施設整備を行うことで待機児童ゼロの実現を図っていきます。本アクション・プランでは、平成 27 年度、28 年度、29 年度の 3 年間に、既存施設の定員増を含めて 1463 名分の保育定員を増やす新規整備計画 (P. 21 参照)を策定しました。平成 30 年 4 月の待機児童ゼロを目指し、認可保育所や認証保育所、小規模保育施設の設置、家庭的保育者の増員を図り、区全体でバランスのよい施設整備を進めます。

第 2 に、様々な保育サービスの周知と利用促進です。平成 27 年 4 月の空き定員の多かった家庭的保育事業をPRするリーフレットの作成や、保育施設のPRや利用者とその利用者に適した施設を結びつける保育コンシェルジュを設置し、保育施設の利用促進に努めていきます。

【年度別・施設別の新規整備計画】

◆新規整備による定員増員(1,235 名分)、家庭的保育者の育成(90 名分)、増改築等(138 名分見込)

保育施設等	平成27年度 整備内容	整備定員数(人)	平成28年度 整備内容	整備定員数(人)	平成29年度 整備内容	整備定員数(人)	合 計(人)
認可保育所	5所 ・1ブロック-千住河原町(計画変更) ・1ブロック-千住龍田町(計画変更) ・1ブロック-千住緑町(計画変更) ・2ブロック-新田二丁目(計画変更) ・4ブロック-梅島三丁目	70 80 80 60 85	4所(新規計画) ・1ブロック-千住地域 ・2ブロック-宮城・小台地域 ・5ブロック-中央本町地域 ・8ブロック-保塚・六町地域	85 60 80 100	4所(新規計画)	325	1025
認証保育所	1所(新規計画) ・1ブロック-千住地域	40	1所(新規計画)	40	1所(新規計画)	40	120
家庭的保育	家庭的保育者15名	30	家庭的保育者15名	30	家庭的保育者15名	30	90
小規模保育	2施設 ・3ブロック-興野・本木 ・5ブロック-中央本町地域	15 15	2施設(新規計画)	30	2施設(新規計画)	30	90
(私立)認定こども園							0
公設民営認可外保育施設							0
既存保育施設の増改築等	認可・認証・こども園等	138					138
	平成27年度 合計(人)	613	平成28年度 合計(人)	425	平成29年度 合計(人)	425	1463

1.3 その他の取り組み

(1)保育士確保方策

保育施設を開園するためには、施設の整備はもちろん重要ですが、保育施設で働く保育士や保育従事職員の確保も重要な課題のひとつです。足立区では、区内の保育士を養成している大学や専門学校、ハローワークと連携し、区内保育施設への就職を促す取り組みを進めています。具体的には、潜在保育士向けの保育士就職セミナーの実施、区内保育所と学生のマッチングの場を提供する保育士就職相談会、また、保育士を目指す方を金銭的な面で支援できる制度の構築など、多方向からの支援策を検討しています。

(2)連携施設の検討

現在、区内には 21 の小規模保育施設、169 の家庭的保育施設が存在していますが、すべて 0～2 歳児までの施設であり、3 歳児からの預け先の確保が課題となっています。安心して 5 歳児まで預けられる仕組みの構築に向け、検討を進めていきます。

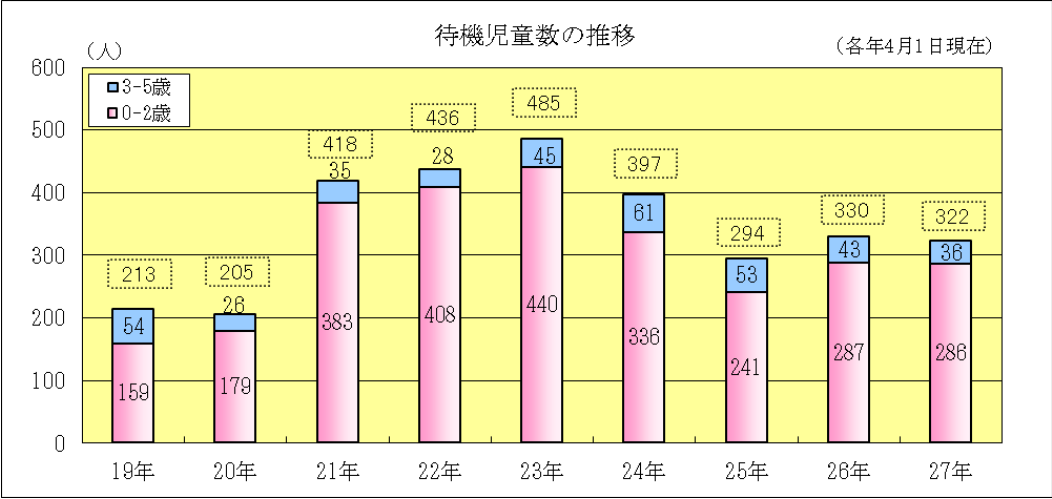
足立区では、今後も様々な取り組みを通して待機児童ゼロを目指します。

2. 足立区における保育の現状

2.1 待機児童の状況

足立区の待機児童は、平成 23 年の 485 名をピークに減少傾向にありますが、ここ数年は横ばいの状態が続いています。(図 1)

図 1 待機児童数の推移グラフ



2.1.1 年齢別待機児童の内訳

0 歳から 2 歳児が継続して 9 割近くを占めている。(表 1)

平成 27 年 4 月 1 日現在の保育所等入所待機児童数は、対前年比で 8 名減少し、322 名となりました。
 年齢別では、0 歳から 2 歳児が 9 割近くと高い割合を占めており、特に 1 歳児が 165 名と 51%を占めています。前年度と比較すると 1 歳児のみ 17 名増加していますが、その他の年齢ではすべて減少しています。
 (表 2)

表 1 待機児童数の推移

(各年4月1日現在)

		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
待機児童数(人)		213	205	418	436	485	397	294	330	322
うち3-5歳待機児童数	3-5歳	54	26	35	28	45	61	53	43	36
うち0-2歳待機児童数	0-2歳	159	179	383	408	440	336	241	287	286
0-2歳の割合		74.6%	87.3%	91.6%	93.6%	90.7%	84.6%	82.0%	87.0%	88.8%

表 2 前年度待機児童数との対比

(各年4月1日現在)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
27年度待機児童数	59	165	62	30	3	3	322
26年度待機児童数	61	148	78	31	7	5	330
26年度と27年度との差	2減	17増	16減	1減	4減	2減	8減

(1) 待機児童数の減少について（対前年比で8名減少）

待機児童が減少した主な要因は、各地域における保育需要の分析により、認可保育所をはじめ、各種保育施設等の整備による定員の増員を行うとともに、小規模保育施設や家庭的保育施設、認証保育所など、認可保育所以外の施設の利用促進を行ってきたことによるものと考えられます。

なお、足立区の待機児童数は、23区中4番目に多い状況です。

(2) 待機児童数の地域偏在について

待機児童は、平成21年度以降、大規模開発や沿線開発が進む地域を中心に急激に増加してきました。平成27年度は、千住大橋駅周辺地域における大規模集合住宅の建設により、千住地域で待機児童が大きく増加しました。一方で、佐野地域や竹の塚地域、鹿浜地域など、保育施設の整備は行っていないにもかかわらず、待機児童が減少している地域も現れています。住宅開発の進む地域とそうでない地域とで、状況に大きな差が現れています。

2.1.2 地域別待機児童の状況

特定の地域において待機児童の高止まりや増加の状況が見られる。（表3）

地域（ブロック）別待機児童数の推移をみると、千住地域では平成26年度の2倍近くまで待機児童が急増しています。また、中央本町地域や綾瀬地域など、特定の地域では、依然として待機児童が多い状況が続いています。江北・新田地域、興野・本木地域、保塚・六町地域など、沿線開発の進む地域でも増加の兆しが見えます。

表3 地域別待機児童数の推移

（各年4月1日現在）

ブロック		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年 ()は0～2歳児数		0-2歳の 割合
1	千住地域	18	19	30	38	64	48	23	42	81	(68)	84.0%
2	江北・新田地域	10	9	34	38	46	46	25	26	27	(25)	92.6%
3	興野・本木地域	17	4	17	19	28	27	13	20	27	(22)	81.5%
4	梅田地域	12	11	38	40	46	49	28	34	23	(22)	95.7%
5	中央本町地域	26	40	47	57	55	56	42	41	39	(36)	92.3%
6	綾瀬地域	17	29	67	52	49	36	36	35	32	(29)	90.6%
7	佐野地域	15	16	35	21	40	13	10	20	11	(8)	72.7%
8	保塚・六町地域	11	13	29	34	29	25	17	19	25	(23)	92.0%
9	花畑・保木間地域	15	16	22	29	16	16	26	22	15	(14)	93.3%
10	竹の塚地域	29	19	22	31	23	22	17	21	12	(11)	91.7%
11	伊興・西新井地域	14	10	6	23	17	16	17	10	11	(11)	100.0%
12	鹿浜地域	0	5	27	14	23	25	19	13	6	(5)	83.3%
13	舎人・東伊興地域	13	8	31	36	37	16	16	26	12	(11)	91.7%
区内小計		197	199	405	432	473	395	289	329	321	(285)	88.8%
管外委託分		16	6	13	4	12	2	5	1	1	(1)	100.0%
合計		213	205	418	436	485	397	294	330	322	(286)	88.8%

※地域別待機児童数は、待機児童となっている児童が第一希望で入所希望した保育施設所在地ごとにカウントしています。

※平成27年度からは、家庭的保育や小規模保育など、区で利用調整を行うすべての施設の待機児童をカウントしています。

千住大橋駅周辺地域における大規模開発、つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナー沿線の住環境整備などが進んでいる地域では、就学前人口の増加にかかわらず、共働き世帯の増加に比例して保育需要も増加し、待機児童につながったものと考えられます。

なお、待機児童ゼロに向けた取り組みを行うにあたり、地域ごとの保育需要の状況を的確に把握していく必要があります。このようなことから、足立区では、前述の「13 ブロック」をさらに 49 地域に細分化し、待機児童の状況や人口の推移、保育需要等の詳細な分析を行い、地域ごとの保育需要の実態把握に努めています。

2.1.3 申請事由別待機児童の内訳

フルタイム就労世帯の待機児童が増加しています。（図 2）

待機児童の申請事由別内訳では、ここ数年、求職中の世帯が多い状況でしたが、平成 27 年度はフルタイム就労世帯が倍増しました。パート就労世帯、求職中世帯も引き続き多い状況です。（表 4）

図 2 待機児童の申請事由別内訳グラフ

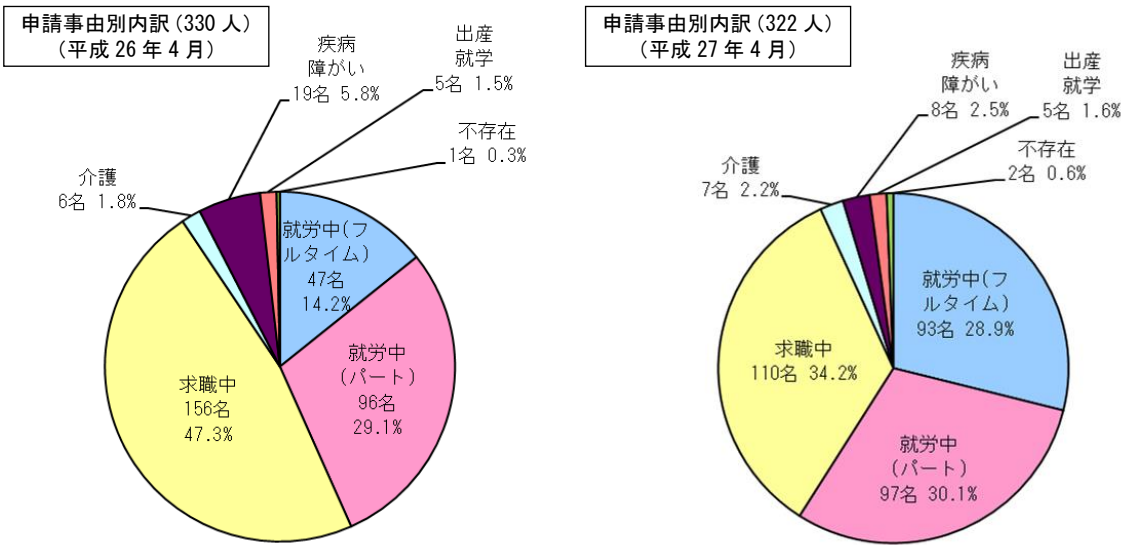


表 4 平成 22 年から平成 27 年の申請事由別内訳

(各年4月1日現在)

申請事由	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
就労中(フルタイム)	79	18.1%	63	13.0%	68	17.1%	57	19.4%	47	14.2%	93	28.9%
就労中(パート)	108	24.8%	154	31.8%	100	25.2%	88	29.9%	96	29.1%	97	30.1%
求職中	220	50.5%	230	47.4%	207	52.1%	128	43.5%	156	47.3%	110	34.2%
介護	12	2.8%	12	2.5%	7	1.8%	4	1.4%	6	1.8%	7	2.2%
疾病障がい	7	1.6%	15	3.1%	11	2.8%	10	3.4%	19	5.8%	8	2.5%
出産・就学	10	2.3%	11	2.3%	4	1.0%	7	2.4%	5	1.5%	5	1.6%
不存在	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	2	0.6%
合計	436	100.0%	485	100.0%	397	100.0%	294	100.0%	330	100.0%	322	100.0%

これまで、フルタイム就労世帯の待機児童を解消することを最優先目標に取り組んできましたが、平成 27 年度は対前年比で 46 名増加し、93 名のフルタイム就労世帯の方が待機児童となっていました。20 代後半から 30 代女性の就業が上昇していることも理由のひとつと思われますが、千住地域や梅田地域における保育施設の整備が遅れたことが大きな理由と思われます。(表 4)

フルタイム就労世帯の待機児童については、下記の「地域別・年齢別待機児童数(右側表)」のとおり、千住地域や梅田地域などの大規模開発や沿線開発が進んでいる地域で多い状況があります。また、年齢別では、93 名中 86 名が 0 歳から 2 歳児であり、特に 1 歳児が約 6 割を占めています。(表 5)

表 5 地域別・年齢別待機児童数(全世帯とフルタイム就労世帯の比較)

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

◆地域別・年齢別 待機児童数 全体(322名)

ブロック	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	構成比
1 千住地域	17	37	14	11	2		81	25.2%
2 江北・扇地区 新田地域 宮城・小台地域	4	9	3	2			18	5.6%
		9					9	2.8%
							0	0.0%
3 興野・本木地域	5	14	3	4		1	27	8.4%
4 梅田地域	5	14	3	1			23	7.1%
5 中央本町地域	5	24	7	2		1	39	12.1%
6 綾瀬地域	7	16	6	2		1	32	9.9%
7 佐野地域	1	4	3	3			11	3.4%
8 保塚・六町地域	8	9	6	2			25	7.8%
9 花畑・保木間地域	1	7	6	1			15	4.7%
10 竹の塚地域	1	6	4	1			12	3.7%
11 伊興・西新井地域	3	4	4				11	3.4%
12 鹿浜地域	1	3	1		1		6	1.9%
13 東伊興・舎人地域	1	8	2	1			12	3.7%
管外		1					1	0.3%
合 計	59	165	62	30	3	3	322	100.0%

構成比 18.3% 51.2% 19.3% 9.3% 0.9% 0.9% 100.0%

◆地域別・年齢別 待機児童数 フルタイム就労世帯(93名)

ブロック	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	構成比
1 千住地域	11	24	3	5			43	46.2%
2 江北・扇地区 新田地域 宮城・小台地域	1	4					5	5.4%
		1					1	1.1%
							0	0.0%
3 興野・本木地域	2	2		1			5	5.4%
4 梅田地域	1	10	2				13	14.0%
5 中央本町地域	1	5					6	6.5%
6 綾瀬地域		5					5	5.4%
7 佐野地域				1			1	1.1%
8 保塚・六町地域	6		1				7	7.5%
9 花畑・保木間地域							0	0.0%
10 竹の塚地域		1					1	1.1%
11 伊興・西新井地域	1						1	1.1%
12 鹿浜地域							0	0.0%
13 東伊興・舎人地域	1	3					4	4.3%
管外		1					1	1.1%
合 計	24	56	6	7	0	0	93	100.0%

構成比 25.8% 60.2% 6.5% 7.5% 0.0% 0.0% 100.0%

※地域別待機児童数は、待機児童となっている児童が第一希望で入所希望した保育施設所在地ごとにカウントしています。
 ※平成 27 年度からは、家庭的保育や小規模保育など、区で利用調整を行うすべての施設の待機児童をカウントしています。
 ※フルタイム就労世帯：月 20 日以上、1 日 8 時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

表6 ブロック別待機児童内訳（申請事由別）

平成27年4月1日現在

地域	申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
1ブロック (千住地域)	就労中（フルタイム）	11	24	3	5			43
	就労中（パート）	4	4	9	4	1		22
	求職中	2	8	2	2	1		15
	介護							0
	疾病、障がい							0
	出産、就学		1					1
	不存在							0
	合 計	17	37	14	11	2	0	81
2ブロック (江北・新田 地域)	就労中（フルタイム）	1	5					6
	就労中（パート）		6	2	2			10
	求職中	3	5	1				9
	介護		1					1
	疾病、障がい		1					1
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	4	18	3	2	0	0	27
3ブロック (興野・本木 地域)	就労中（フルタイム）	2	2		1			5
	就労中（パート）	1	7	2	1		1	12
	求職中	2	4	1	1			8
	介護				1			1
	疾病、障がい		1					1
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	5	14	3	4	0	1	27
4ブロック (梅田地域)	就労中（フルタイム）	1	10	2				13
	就労中（パート）	2	1					3
	求職中	1	2	1	1			5
	介護							0
	疾病、障がい							0
	出産、就学	1	1					2
	不存在							0
	合 計	5	14	3	1	0	0	23
5ブロック (中央本町 地域)	就労中（フルタイム）	1	5					6
	就労中（パート）		7	2	1			10
	求職中	4	10	4	1		1	20
	介護							0
	疾病、障がい		1					1
	出産、就学							0
	不存在		1	1				2
	合 計	5	24	7	2	0	1	39
6ブロック (綾瀬地域)	就労中（フルタイム）		5					5
	就労中（パート）	3	6		2			11
	求職中	3	5	6			1	15
	介護							0
	疾病、障がい							0
	出産、就学	1						1
	不存在							0
	合 計	7	16	6	2	0	1	32
7ブロック (佐野地域)	就労中（フルタイム）				1			1
	就労中（パート）		2		1			3
	求職中		2	3				5
	介護	1			1			2
	疾病、障がい							0
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	1	4	3	3	0	0	11
8ブロック (保塚・六町 地域)	就労中（フルタイム）	6		1				7
	就労中（パート）	1	5	2				8
	求職中		3	2	2			7
	介護		1	1				2
	疾病、障がい	1						1
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	8	9	6	2	0	0	25
9ブロック (花畑・保木間 地域)	就労中（フルタイム）							0
	就労中（パート）	1		2				3
	求職中		6	2	1			9
	介護							0
	疾病、障がい		1	1				2
	出産、就学			1				1
	不存在							0
	合 計	1	7	6	1	0	0	15
10ブロック (竹の塚地域)	就労中（フルタイム）		1					1
	就労中（パート）		2	2				4
	求職中	1	3	2	1			7
	介護							0
	疾病、障がい							0
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	1	6	4	1	0	0	12
11ブロック (伊興・西新井 地域)	就労中（フルタイム）	1						1
	就労中（パート）	1	2	2				5
	求職中		2	2				4
	介護	1						1
	疾病、障がい							0
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	3	4	4	0	0	0	11
12ブロック (鹿浜地域)	就労中（フルタイム）							0
	就労中（パート）		1					1
	求職中	1	2	1		1		5
	介護							0
	疾病、障がい							0
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	1	3	1	0	1	0	6
13ブロック (東伊興・舎人 地域)	就労中（フルタイム）	1	3					4
	就労中（パート）		3	1	1			5
	求職中			1				1
	介護							0
	疾病、障がい		2					2
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	1	8	2	1	0	0	12
管 外	就労中（フルタイム）		1					1
	就労中（パート）							0
	求職中							0
	介護							0
	疾病、障がい							0
	出産、就学							0
	不存在							0
	合 計	0	1	0	0	0	0	1

◆申請事由別の合計

	申請事由	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
足立区全体	就労中（フルタイム）	24	56	6	7			93
	就労中（パート）	13	46	24	12	1	1	97
	求職中	17	52	28	9	2	2	110
	介護	2	2	1	2			7
	疾病、障がい	1	6	1				8
	出産、就学	2	2	1				5
	不存在		1	1				2
	合 計	59	165	62	30	3	3	322

18.3% 51.2% 19.3% 9.3% 0.9% 0.9%

構成比

【参考】◆定員受入可能数の内訳（足立区全体）

	保育施設	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
28.9%	認可保育所	10	1	8	43	81	113	256
30.1%	認定こども園	6	3	3	4	3	3	22
34.2%	小規模保育	46	6	28	—	—	—	80
2.2%	家庭的保育	50	64	31	—	—	—	145
2.5%	公設認可外	0	0	0	9	1	5	15
1.6%	認証保育所	33	7	17	12	3	4	76
0.6%	合 計	145	81	87	68	88	125	594

※「定員受入可能数」は、各保育施設の「空き定員数」を示す。

※認証保育所以外は、平成27年5月入園分の募集人数

2.1.4 待機児童実態調査の結果

2.1.4.1 アンケート調査の概要

待機児童の保護者に対して、認可保育施設に入れなかった後の動向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

- ・調査実施日 平成 27 年 6 月 12 日～6 月 22 日
- ・調査方法 待機児童の保護者への郵送によるアンケート
- ・調査対象 待機児童のいる 301 世帯(待機児童は 322 名であるが、複数の待機児童がいる世帯は 1 世帯として扱い、301 世帯に郵送した。)
- ・回収率 40.5% (122 世帯)

2.1.4.2 アンケート調査から判明したこと

(1) 認可保育所に入れなかった後の保護者について、次の状況が見られました。

- ① 「認可外のサービスを利用している(34 名)」「育児休業を延長している(25 名)」「求職活動をやめた(24 名)」の順に多い(図 3)。
- ② 約 55%の保護者が認可保育所以外の保育施設を申し込んでいない。(図 4)
- ③ 認可保育所以外の保育施設を申し込まなかった理由で最も多かったのは「保育料が高い(43 名)」で、小規模保育や家庭的保育の保育料が認可保育所と同等であることが理解されていないことが分かった。次いで多かったのが「施設規模が小さい(33 名)」、「3 歳児以降の預け先が不安(21 名)」の順である。一方で、「なんとなく(18 名)」や「家族や知人に進められたから(14 名)」など、漠然とした理由で申し込まなかった方も一定数いた。(表 7)
- ④ 保育サービスを利用するうえで重視したことは、「自宅からの距離(128 名)」が最も多い(図 5)。

図 3 平成 27 年 5 月 1 日現在の保護者の状況

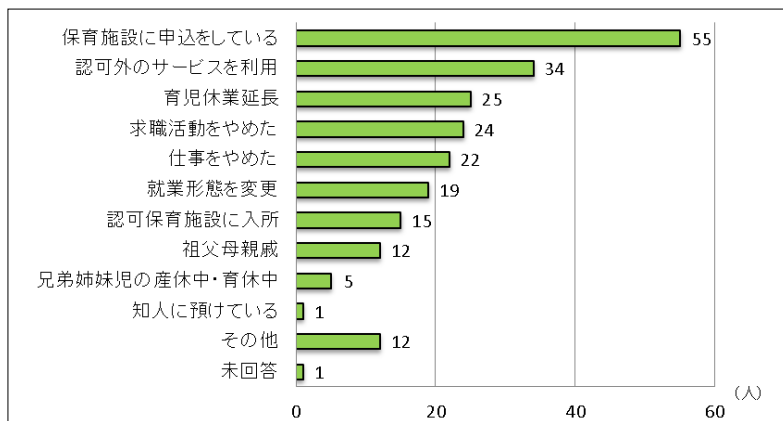


図 4 認可保育所以外の認可施設の申込の有無

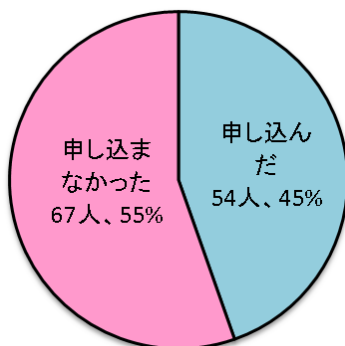
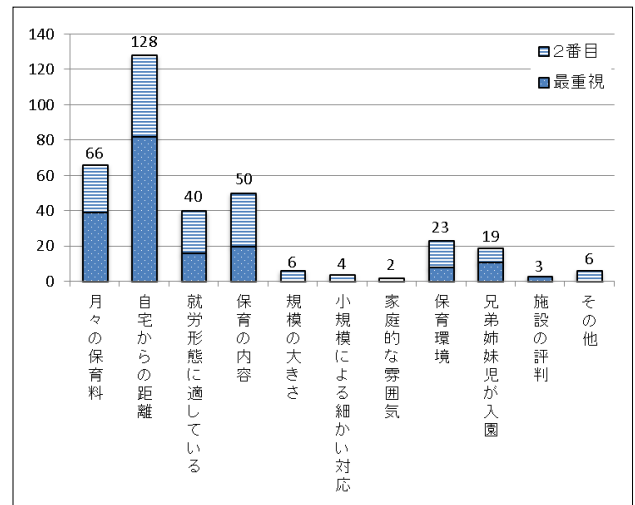


表 7 認可保育所以外の認可施設に申し込まなかった理由
(複数回答可)

申し込まなかった理由	人数
認可保育所以外は保育料が高い	43
認可保育所と比べて施設規模が小さい	33
受入可能年齢に制限があり、3歳以降の預け先の確保に不安がある	21
従事者全員が保育士ではないことが不安	20
預けられる時間が短い	19
なんとなく認可保育所が良いと思った	18
給食を実施していない・お弁当を用意できない	18
家族や知人から認可保育所を薦められた	14
認可保育所と比べて人数が少ない	10
自宅又は勤務先のそばに認可保育所しかない	7
土曜保育を実施していない	7
認可保育所以外の施設がどこにあるのかわからない	6
認可保育所以外の施設の申込方法がわからない	6
認可保育所以外の制度を知らなかった	1
その他	18

図 5 保育サービスを利用するうえで重視したこと



(2) 認可保育施設の申込方法について、次のような傾向があることが分かりました。(図 7)。

- ① 第 5 希望まで申し込めることについて、約半数の保護者がちょうどよいと感じている。少ないと感じている保護者は 1 割程度であった。(図 7)
- ② 小規模保育や家庭的保育(保育ママ)などを含む、すべての認可保育施設の申込窓口が区役所への一括申込になったことについて、約半数の保護者が便利になったと感じており、不便になったと感じている保護者は約 1 割であった。しかし、残りの 4 割を超える保護者はどちらともいえないと回答している。(図 8)

図 6 第 5 希望まで書けることについて

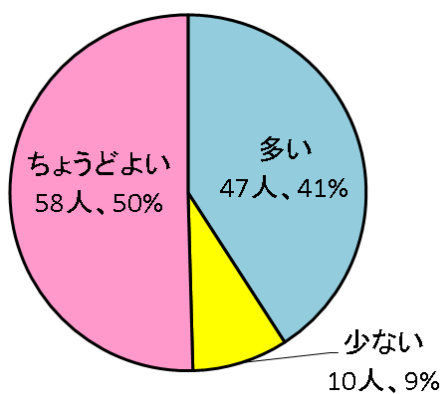
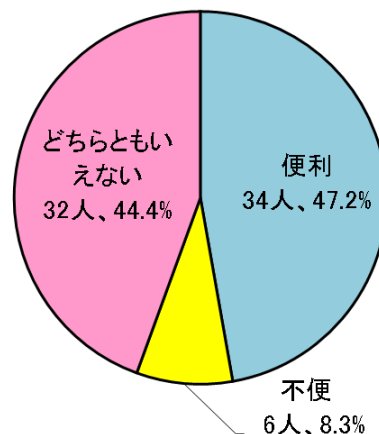


図 7 認可保育施設の一括申込について



※ 今年度の待機児童実態調査結果については、本アクション・プランの[基礎データ \(P. 63\)](#)をご覧ください。

2.2 保育需要と施設整備の状況

2.2.1 保育需要の動向

(1) 保育需要数の推移

0歳から2歳児、3歳から5歳児ともに保育需要数は、継続して増加している。

全年齢（0歳から5歳児）においても、平成21年度以降、上昇を続けている。（図8）

保育需要数と保育定員数を比較すると、0歳から5歳児では、平成25年度に保育需要数が保育定員数を上回りましたが、平成26年度、27年度は保育定員数が上回っています。また、0歳から2歳児では、平成25年度に、保育定員数が保育需要数を上回りましたが、平成26年度、27年度は保育需要数が上回っています。ただし、保育需要に対する保育定員数の過不足については、各地域における保育需要と保育定員数とのバランスなどを踏まえ、判断していく必要があると考えます。（表8、表9）

表8 保育需要数の内訳及び推移【0歳から5歳児】

(人) (各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
認可保育所	ア	8,511	8,530	8,638	8,799	8,874	8,811	9,037	9,113	9,446
認定こども園(公立)	イ	—	—	—	—	—	271	264	265	254
認定こども園(私立)	ウ	—	—	—	48	136	280	411	460	326
小規模保育 等	エ	56	63	77	47	55	167	233	260	289
家庭的保育(グループ保育含む)	オ	141	145	210	265	322	333	361	411	343
公設民営認可外	カ	—	—	—	—	—	46	84	105	124
東京都認証保育所	キ	505	602	716	803	945	1,059	1,123	1,193	1,176
子育て応援隊	ク	—	—	—	—	—	26	27	25	59
計(ア～ク)	X	9,213	9,340	9,641	9,962	10,332	10,993	11,540	11,832	12,017
待機児童数	Y	213	205	418	436	485	397	294	330	322
保育需要数(X+Y)		9,426	9,545	10,059	10,398	10,817	11,390	11,834	12,162	12,339

【参考】

保育定員数	9,819	9,916	9,974	10,388	10,738	11,416	11,832	12,180	12,609
-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

表9 保育需要数の内訳及び推移【0歳から2歳児】

(人) (各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
認可保育所	ア	3,060	3,107	3,196	3,341	3,364	3,318	3,396	3,438	3,603
認定こども園(公立)	イ	—	—	—	—	—	84	79	84	81
認定こども園(私立)	ウ	—	—	—	34	34	61	94	92	91
小規模保育 等	エ	55	60	74	47	55	167	233	260	289
家庭的保育(グループ保育含む)	オ	141	145	210	265	322	333	361	411	343
公設民営認可外	カ	—	—	—	—	—	20	49	47	49
東京都認証保育所	キ	404	474	571	664	790	876	934	969	939
子育て応援隊	ク	—	—	—	—	—	26	27	25	59
計(ア～ク)	X	3,660	3,786	4,051	4,351	4,565	4,885	5,173	5,326	5,454
待機児童数	Y	159	179	383	408	440	336	241	287	286
保育需要数(X+Y)		3,819	3,965	4,434	4,759	5,005	5,221	5,414	5,613	5,740

【参考】

保育定員数	4,125	4,137	4,155	4,414	4,690	5,179	5,437	5,568	5,815
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

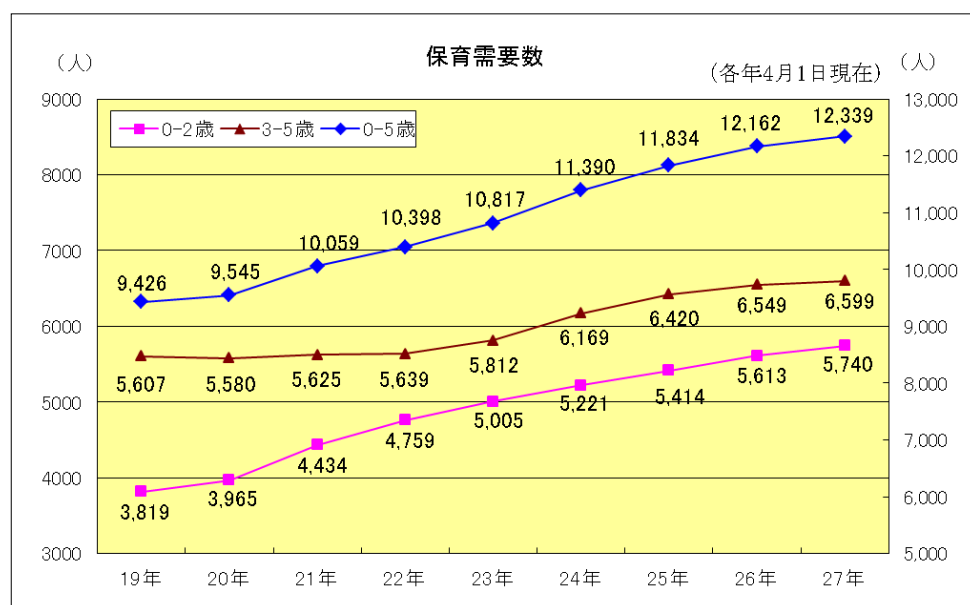
① 0歳から2歳児の推移

平成21年度以降、急増してきた0歳から2歳児の需要数は、やや緩やかになりながらも継続して増加しています。年度ごとの0歳から2歳児の増加数の伸びでは、平成21年度の急激な増加をピークに緩やかに減少し、平成25年度からは、200名を切る増加数で推移しています(22年度:325名増、23年度:246名増、24年度:216名増、25年度:193名増、26年度:199名増、平成27年度:127名増)。(図8)

② 3歳から5歳児の推移

平成24年度以降、年齢移行により増加し始めた3歳から5歳児の需要数は、一定の上昇を続けていますが、平成26年度から、増加数は減少傾向にあります(24年度:357名増、25年度:251名増、26年度:129名増、平成27年度:50名増)。(図8)

図8 保育需要数の推移グラフ



※ 足立区における「保育需要数」は、認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育(保育ママ)、認証保育所、子育て応援隊(月ぎめ保育)に預けている児童数(管外利用者を含む)に待機児童数を加えて算出しています。

※ 「待機児童数」とは、調査日時点において、保育の必要性の認定がされ、認可保育所、認定こども園(保育認定)、小規模保育、家庭的保育(保育ママ)の利用申込がされているが、利用していないものから、東京都認証保育所や幼稚園の預かり保育等を利用している児童と、私的な理由で待機している児童を除外したもの(国定義の待機児童)をいいます。

(2) 保育需要率の推移

保育需要率は、平成27年4月1日現在、0歳から5歳児全体で37.0%となり、昨年見込んでいた推計値37.5%よりは0.5ポイント下回っているものの、依然として上昇を続けている。(図9)

※ 「保育需要率」は、「対象年齢人口に対する保育需要数の割合」です。

0歳から2歳児では、平成27年度の人口は前年度と同数でしたが、保育需要数は127名増加しました。保育需要率は、平成20年度以降、上昇を続けています。また、3歳から5歳児では、平成26年度から、人口は減少に転じていますが、保育需要数は増加を続けています。保育需要率は、平成23年度以降、上昇を続けており、平成27年度は0.4ポイント上昇しました。(表10、表11)

保育需要数は、これまでの推移からも就学前人口の増減にかかわらず増加していく傾向にあるといえます。さらに、大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、開発後も一定期間、保育需要の高い状況が続いていくことが予測されます。このような状況から、今後、保育需要率についても上昇していく傾向にあると考えます。

図9 保育需要率の推移グラフ

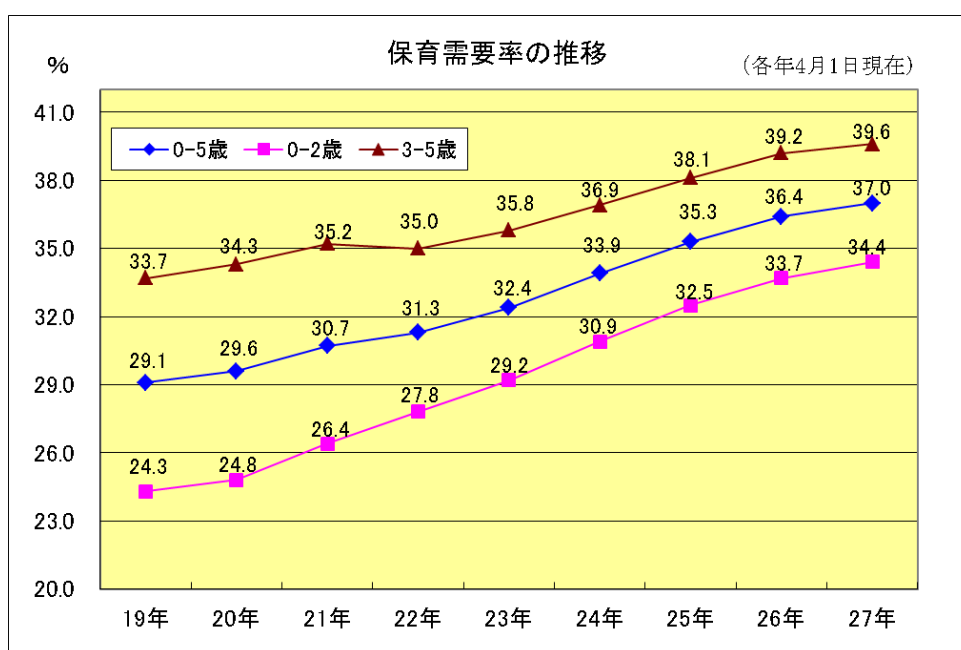


表10 0歳児から5歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
保育需要数(人)	M	9,426	9,545	10,059	10,398	10,817	11,390	11,834	12,162	12,339
就学前人口(人)	N	32,363	32,264	32,756	33,242	33,415	33,647	33,542	33,406	33,329
保育需要率(%)	M/N	29.1%	29.6%	30.7%	31.3%	32.4%	33.9%	35.3%	36.4%	37.0%

表11 0歳児から2歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
保育需要数(人)	M	3,819	3,965	4,434	4,759	5,005	5,221	5,414	5,613	5,740
0-2歳人口(人)	N	15,740	16,000	16,765	17,140	17,157	16,918	16,676	16,680	16,680
保育需要率(%)	M/N	24.3%	24.8%	26.4%	27.8%	29.2%	30.9%	32.5%	33.7%	34.4%

表 12 3 歳児から 5 歳児の保育需要率

(各年4月1日現在)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
保育需要数(人)	M	5,607	5,580	5,625	5,639	5,812	6,169	6,420	6,549	6,599
3-5歳人口(人)	N	16,623	16,264	15,991	16,102	16,258	16,729	16,866	16,726	16,649
保育需要率(%)	M/N	33.7%	34.3%	35.2%	35.0%	35.7%	36.9%	38.1%	39.2%	39.6%

2.2.2 施設整備の状況

(1) これまでの保育定員の状況

過去 8 年で保育定員を 2,790 名増員 (0 歳から 2 歳児で 1,690 名、3 歳から 5 歳児で 1,100 名) (図 10)

平成 26 年度は、認可保育所 3 所、小規模保育 1 施設、認証保育所 2 所の新設や家庭的保育(保育ママ)の増員等により、保育定員を 429 名 (0 歳から 2 歳児で 247 名、3 歳から 5 歳児で 182 名) 増員しました。

図 10 保育定員数の推移グラフ

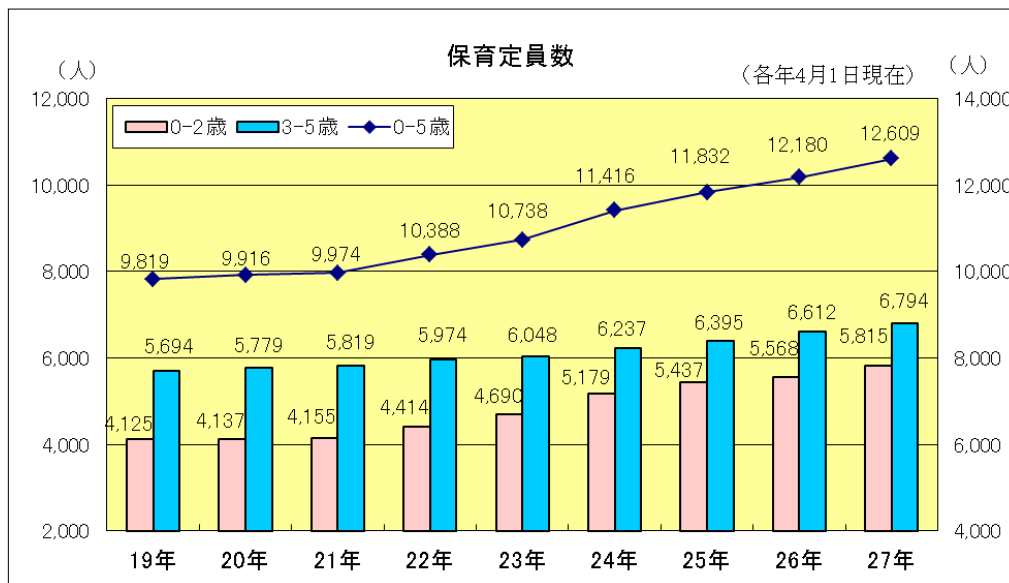


表 13 保育定員の推移

(各年4月1日現在)

区 分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	27年-19年
保育定員数(人)	9,819	9,916	9,974	10,388	10,738	11,416	11,832	12,180	12,609	2,790
うち3-5歳保育定員	5,694	5,779	5,819	5,974	6,048	6,237	6,395	6,612	6,794	1,100
うち0-2歳保育定員	4,125	4,137	4,155	4,414	4,690	5,179	5,437	5,568	5,815	1,690
前年からの増員数(人)	-	97	58	414	350	678	416	348	429	

3. 待機児童ゼロにむけて

3.1 待機児童ゼロにむけた課題の整理と方針

今後の待機児童対策を進めるにあたり、保育需要の傾向や各課題に対する平成 26 年度の取り組み結果等を踏まえ、各課題を整理し、方針を決めました。

3.1.1 就学前人口の推移、保育需要率

(1) 就学前人口の推移

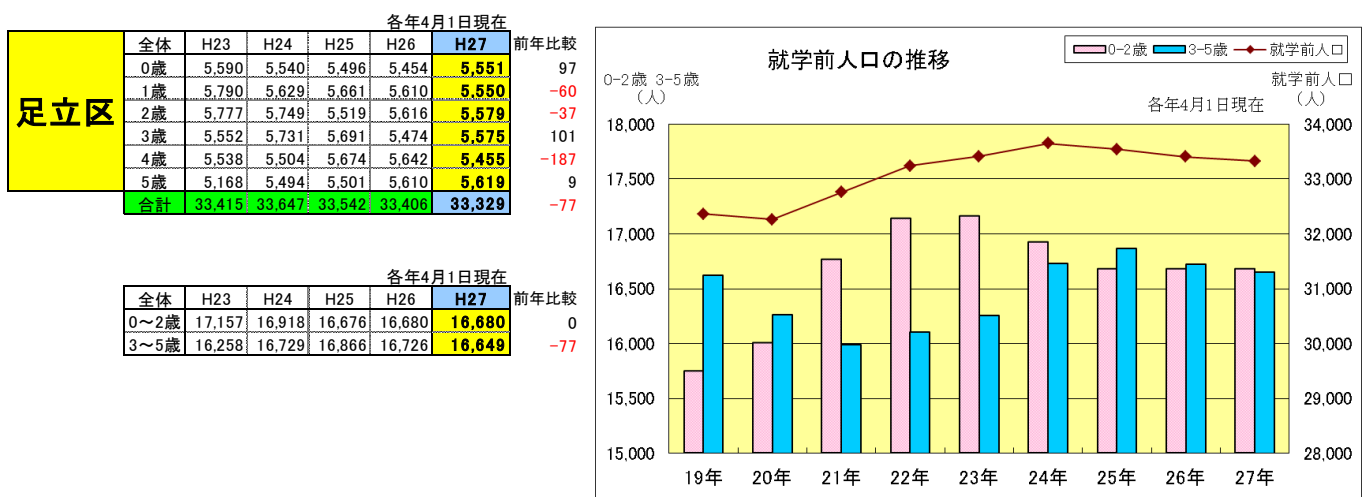
就学前人口は、平成 27 年 4 月 1 日現在、33,329 名で、対前年比 77 名の減となっています。年齢構成別の前年比較では、0 歳から 2 歳児は増減無し、3 歳から 5 歳児で 77 名の減となっています。

また、人口の推移では、平成 21 年度から平成 23 年度にかけて大規模開発等の影響から 0 歳から 2 歳児が急増していましたが、平成 24 年度、25 年度には減少し、平成 26 年度、27 年度は横ばいで推移しています。3 歳から 5 歳児の人口は平成 25 年度以降減少を続けており、平成 27 年度は 0 歳から 2 歳児の人口が 3 歳から 5 歳児の人口を再び上回りました。千住大橋駅周辺や六町駅周辺など、大規模開発等の進む地域で 0 歳から 2 歳児の人口が大きく増加したためと考えられます。(図 11)

年齢別の前年比較では、0 歳児は 97 名の増、1 歳児は 60 名の減、2 歳児は 37 名の減と、増減の違いはあるものの、各年齢において 5,550 人前後で推移しており、継続して 0 歳児の出生数も多い状況にあるといえます。「1ブロック(千住地域)」、「5ブロック(中央本町地域)」、「6ブロック(綾瀬地域)」、「8ブロック(保塚・六町地域)」のように、大規模開発やまちの整備が進んでいる地域では、0 歳から 2 歳児の人口が 3 歳から 5 歳児の人口を上回っています。[\(基礎データ ブロック別の分析 P28～P53 参照\)](#) 就学前人口は、将来的に減少していく傾向にあると考えられますが、大規模開発が進む特定の地域では、今後も人口の増加が継続して見込まれます。したがって、平成 27 年 4 月期及び平成 28 年 4 月期の就学前人口の見込みについては、横ばい傾向が続くと判断しており、平成 27 年 4 月 1 日現在の数値前後で推移していくものと考えています。

今後も継続して、各地域における就学前人口の増減に注視していきます。

図 11 就学前人口の推移グラフ



(2) 保育需要率

保育需要については、2.2.1において動向をお示しましたが、就学前人口の増減にかかわらず、今後も一定の上昇が見込まれると判断しています。特に、大規模開発や沿線開発が進んでいる特定の地域では、開発後も一定期間、保育需要の高い状況が続いていくと予測されます。

このようなことから、今後、3年間の就学前人口について、平成27年4月1日現在の数値前後で推移するものと想定すると、保育需要率は、0歳から5歳児全体で、平成28年度には38.6%程度、平成29年度には39.7%程度、平成30年度には40.9%程度まで上昇していくものと予測しています。

図12 人口と保育需要の推移グラフ

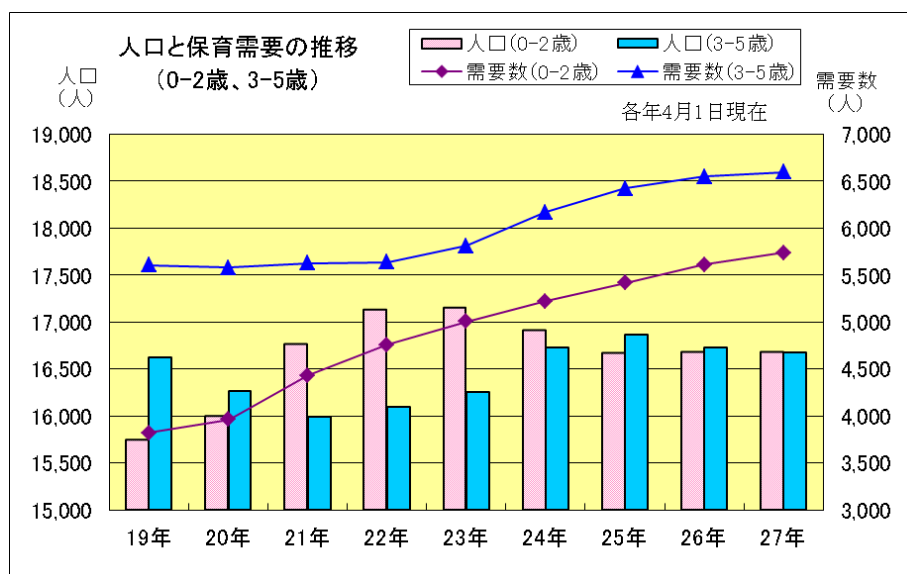
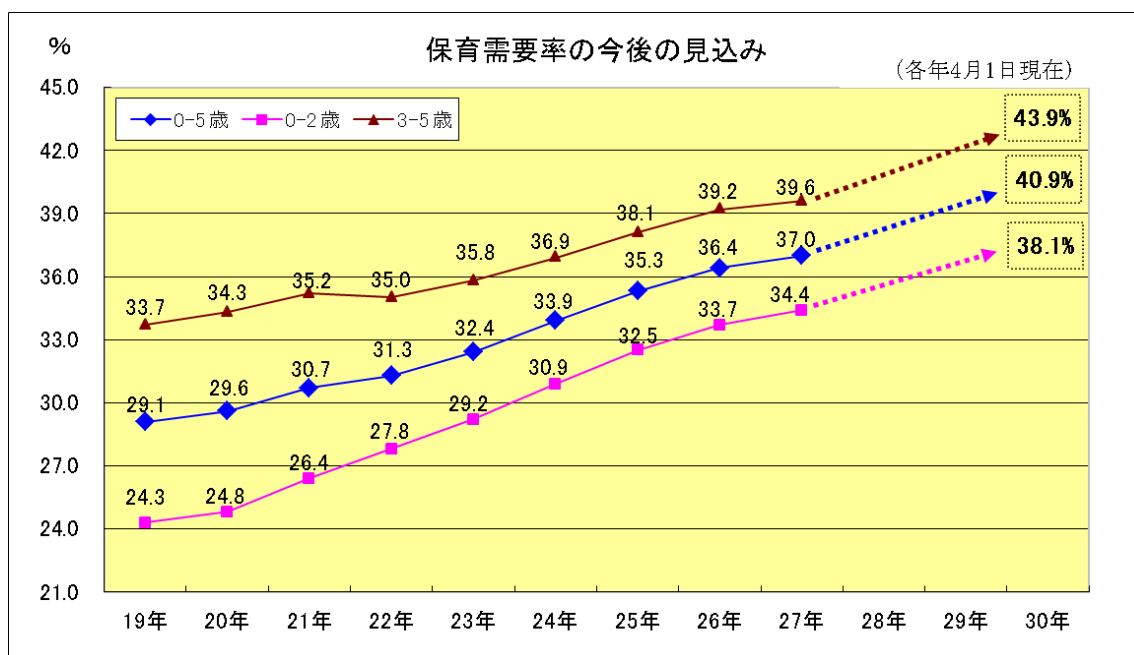


図13 保育需要率の今後の見込みグラフ



3.1.2 施設整備方針

各地域における保育需要の状況や動向など、これまでの分析結果を踏まえ、次の方針に基づき、施設整備を進めていきます。

- ◆フルタイム就労世帯の待機児童を解消する。
- ◆大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、保育需要が集中することから、居住地域内では需要を吸収しきれず、隣接地域に需要が分散する傾向がある。こうした需要の分散化を改善するため、保育需要が集中する地域に保育施設を整備する。
- ◆保護者の多様な保育ニーズに応えるため、各地域における待機児童世帯の就労状況等の傾向や既存保育施設の配置状況等を踏まえ、需要の実態に合わせた保育施設等をバランスよく設置する。
- ◆平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間で 1300 人以上の定員整備を確実に行之、平成 30 年 4 月の待機児童ゼロを目指す。

3.1.3 多様な保育施設の利用促進

(1) 今後の方針

平成 27 年度からスタートした子ども・子育て支援新制度では、私立認定こども園や小規模保育、家庭的保育(保育ママ)の利用申込先が、従前の各施設への直接申し込みから、認可保育所同様、足立区への申し込みに変更となり、利用調整によって入所者を決定する仕組みとなりました。その結果、認可保育所のみを希望する方が多く、特に家庭的保育(保育ママ)に多くの空き定員が生じてしまいました。待機児童を解消するためには、施設整備とともに、地域の実情に応じて家庭的保育(保育ママ)をはじめとする地域型保育事業や、認証保育所などの認可外保育施設など、多様な保育施設を利用していくことも重要であることから、今後も積極的に、利用促進に取り組んでいきます。

(2) 主な取り組み内容について

- ① 家庭的保育(保育ママ)のPR活動を実施します。
 - ・区ホームページやツイッター、フェイスブックを活用して保育風景などの情報発信を行います。
 - ・紹介パンフレットを作成し、窓口や保育施設利用案内に添付して配布します。
 - ・子育て世帯が集まるイベントに参加し、PRブースを設置します。
- ② 認証保育所利用者助成に加えて、低所得者向けの助成制度をはじめました。
 - ・認証保育所利用者に対し、月額 13,000 円～20,000 円(年齢により異なる)を助成しています。
 - ・上記に加えて、低所得者向けに、所得に応じて月額 6,000 円～20,000 円を助成する新たな助成制度を開始し、平成 27 年 4 月の利用分から適用を開始しています。
 - ・毎月の保育料支払いに対する保護者の負担感の軽減を図ることを目的に、毎月保育所に支払う契約保育料から助成金額を差し引く方法を採用しています。

③ 保育コンシェルジュを設置します。

- ・保育施設の選び方や利用者の状況に合った保育施設の案内など、保活のお手伝いをします。
- ・ツイッターやフェイスブックなど、SNSを利用した情報発信を行います。
- ・子育てサロンや各種イベントに出張し、相談会や保育施設のPR活動を行います。

④ 小規模保育・家庭的保育(保育ママ)の連携施設を検討しています。

- ・小規模保育や家庭的保育(保育ママ)などの2歳児までの施設の卒園後の受け入れ先となる連携施設を、平成32年度までにすべての施設で設定します。
- ・連携施設の設定にあたり、小規模保育や家庭的保育(保育ママ)を利用している児童が、卒園後にこういった施設の利用を希望しているのか、アンケート調査を実施します。

3.2 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 1 (施設整備)

3.2.1 施設整備の全体計画

3.2.1.1 施設整備等の基本的な考え方

各地域における待機児童の状況や保育需要の分析などから、新たに施設等を整備する必要があるときは、3.1.2 施設整備方針で示した方針を踏まえ、概ね以下の考え方に基づき、施設整備等を行います。

表 14 保育需要と施設整備

地域における保育需要の状況	保育施設 (種類)
大規模開発、沿線開発等により全年齢にわたり相当多数の保育需要が集中している地域	認可保育所
待機児童の状況などから、相当数の低年齢児の保育需要が見込まれる地域	東京都認証保育所
待機児童の状況などから、低年齢児のまとまった保育需要が見込まれる地域	小規模保育
区内全域で低年齢児の待機児童が発生していることから、区内全域を対象とする。	家庭的保育

3.2.1.2 施設種別ごとの年度別整備方針

平成 27 年度以降の施設整備等については、各地域における保育需要等の分析結果をもとに、以下のとおり整備することとします。

(1) 全体整備方針

保育需要率は、これまでの人口や保育需要数の推移から、平成 30 年 4 月 1 日現在において 0 歳から 5 歳児全体で 40.9%程度まで上昇するものと予測しました。その需要率を用いて算出した結果、平成 27 年度からの 3 年間で 1,300 人以上の保育施設整備を行い、平成 30 年 4 月の待機児童ゼロを目指します。

平成 26 年度改訂版のアクション・プランにおける施設整備計画を全体的に見直し、平成 27 年度からの 3 年間で、**認可保育所 13 所、小規模保育 6 施設、認証保育所 3 所**を整備する計画としました。

各保育施設の整備定員数の詳細は、(2)以下に記載しています。

保育施設等の新規整備や既存施設の定員増員を図り、平成 27 年度、平成 28 年度、平成 29 年度の 3 年間で、**合計 1,463 名分**の定員の整備を目指します。

- ・ 保育施設の新規整備による定員増員 (1235 名分)
- ・ 家庭的保育者 (保育ママ) の育成 (90 名分)
- ・ 既存施設の増改築等による定員増員 (138 名分見込み)

表 15 保育施設の整備定員数

年齢区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度当初	
	4/1現在定員数合計(人)	定員整備等による増数(人)	4/1現在定員数合計(人)	定員整備等による増数(人)	4/1現在定員数合計(人)	定員整備予定数(人)	定員整備予定数(人)	定員整備予定数(人)	4/1現在定員数合計(人)	H27度～H29度定員整備予定数合計(人)
0～5歳	11,832	348 (－)	12,180	429 (558)	12,609	613 (200)	425 (0)	425 (0)	14,072	1,463 (200)
0～2歳	5,437	131 (－)	5,568	247 (294)	5,815	307 (110)	215 (0)	215 (0)	6,552	737 (110)
3～5歳	6,395	217 (－)	6,612	182 (264)	6,794	306 (90)	210 (0)	210 (0)	7,520	726 (90)

※()は、昨年度のアクションプラン整備予定定員数を表示。

(2) 対応策

① 認可保育所

主に大規模開発や沿線開発が進む地域において、民設・民営による認可保育所を誘致します。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在の比較
0～5歳	95所	9,593	・公立:47園 (公設民営11園) ・私立:48園	491	新規5所 ・千住河原町 ・千住緑町二丁目	325	新規4所 ・千住地域	325	新規4所	108所	10,734	1,141
0～2歳		3,529		213	・千住龍田町 ・新田二丁目	125	・宮城・小台地域 ・中央本町地域	112			3,979	450
3～5歳		6,064		278	・梅島三丁目 改修等による増(116)	200	・保塚・六町地域	213			6,755	691

② 認定こども園

認定こども園は、就学前の子どもに幼児教育・保育を一体的に行う施設です。平成27年度以降の整備計画はありませんが、私立幼稚園の認定こども園への移行を働きかけていきます。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳	5園	383	・幼稚園型:4園 ・地方裁量型:1園 ※定員数は長時間	4	定員変更による増(4)	0	———	0	———	5園	387	4
0～2歳		112		-3		0		0			109	-3
3～5歳		271		7		0		0			278	7

③ 区立認定こども園

平成24年4月に幼児教育の拠点として、1歳児から就学前の児童を対象とした区立認定こども園を開設しました。平成27年度以降の施設整備計画はありません。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳	3園	270	・幼保連携型:2園 ・保育所型:1園 ※定員数は長時間	0	———	0	———	0	———	3園	270	0
0～2歳		84		0		0		0			84	0
3～5歳		186		0		0		0			186	0

④ 小規模保育事業

主に保育短時間認定の児童を預かる施設です。平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、足立区小規模保育室から移行しました。各地域の保育需要の状況を踏まえ、必要と認められる地域に開設を進めていきます。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳	21施設	373	・21施設	30	新規2施設 ・興野・本木地域 ・中央本町地域	30	新規2施設	30	新規2施設	27施設	463	90
0～2歳		373		30		30		30			463	90
3～5歳		0		0		0		0			0	0

⑤ 家庭的保育事業（保育ママ）

区内全域を対象として、家庭的保育者の増員を行っていきます。潜在する保育人材を待機児童対策に活かしていきます。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳	169施設	503	・169施設	30	家庭的保育者15人	30	家庭的保育者15人	30	家庭的保育者15人	192人	593	90
0～2歳		503		30		30		30			593	90
3～5歳		0		0		0		0			0	0

⑥ 足立区独自の公設民営認可外保育施設

大規模開発等により相当多数の保育需要が集中しており、民設・民営による保育施設の整備が困難な地域においては、低未利用の土地や児童遊園など、区の資源を最大限に有効活用して、公設保育園を開設しました。平成 27 年度以降の施設整備計画はありません。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳	3園	139	・3園	10	定員変更による増(10)	0	――	0	――	3園	149	10
0～2歳		48		0		0		0			48	0
3～5歳		91		10		0		0			101	10

⑦ 東京都認証保育所

東京都が認証した都市型の保育施設である認証保育所を、相当数の低年齢児の保育需要が見込まれる地域に開設していきます。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳	43所	1,248	・A型(駅前基本型):28所 ・B型(小規模型):15所	48	新規1所 ・千住地域 移転による増(8)	40	新規1所	40	新規1所	46所	1,376	128
0～2歳		1,066		37		30		30			1,163	97
3～5歳		182		11		10		10			213	31

⑧ あだち子育て応援隊

求職中や短時間勤務の保護者を主として、月ぎめで低年齢児を預かる事業です。時間単位で利用できる一時保育も引き続き行います。

平成27年4月1日現在				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度当初		
年齢区分	施設数	定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	整備定員数(人)	内 容	施設数	定員数合計(人)	H27.4.1現在との比較
0～5歳		100	NPO法人	0	――	0	――	0	――		100	0
0～2歳		100		0		0		0			100	0
3～5歳		0		0		0		0			0	0

※あだち子育て応援隊事業は、(旧)「子育てホームサポート事業」と(旧)「ファミリー・サポート・センター事業」を統合して平成 22 年に始めた事業です。

⑨ 私立幼稚園の預かり保育、4 年保育の充実

現在、区内のすべての私立幼稚園で預かり保育を実施しています。預かり保育の時間延長や月極めの保育料を設定するなど、両親が就労している家庭でも幼稚園に通わせることができるように、私立幼稚園との連携・協力を進めています。

3.2.2 ブロック別の施設整備計画

3.2.2.1 1ブロック — 千住地域

千住大橋駅周辺の大規模開発に伴い、全年齢にわたり相当数の保育需要が増加しています。平成 27 年 10 月開所の認可保育所 1 所、平成 28 年 4 月開所の認可保育所 2 所の整備を進めていますが、千住地域全体でも保育需要が増加傾向にあることから、平成 28 年 4 月開所の認証保育所、平成 29 年 4 月開所の認可保育所をそれぞれ 1 所ずつ追加整備します。

3.2.2.2 2ブロック — 江北・新田地域

江北地域では、沿線開発が今後進み、保育需要が高まると予測されることから、興野・本木地域の需要と合わせて、平成 29 年度に認可保育所の整備を想定しています。

新田地域では、319 戸の大規模な集合住宅の建設が進められています。全年齢にわたり保育需要が増加する見込みであることから、平成 28 年 4 月開所の認可保育所を先回りで整備しています。また、集合住宅内には小規模保育 1 施設を整備する予定です。

宮城・小台地域では、集合住宅の建設にあわせ、小規模保育の整備を想定していましたが、適した物件が乏しいことから、認可保育所に切り替えて整備を行います。平成 29 年 4 月の開所を予定しています。

3.2.2.3 3ブロック — 興野・本木地域

日暮里・舎人ライナーの沿線開発により、0～2 歳児の保育需要が多い状況です。そのため、平成 28 年 4 月の開設を目指して小規模保育を整備します。また、扇一丁目に集合住宅の建設が予定されていることから、その保育需要を合わせて、江北地域への認可保育所整備を想定しています。

3.2.2.4 4ブロック — 梅田地域

平成 27 年 4 月に開所を予定していた東武伊勢崎線高架下の認可保育所は、保育事業者の辞退等の影響から開設時期を平成 28 年 4 月に変更して整備を進めています。また、0～2 歳児の保育需要が多く、他の地域と比べフルタイム就労世帯の待機児童が多い状況であることから、平成 28 年度に認証保育所の整備を想定しています。

3.2.2.5 5ブロック — 中央本町地域

中央本町地域では、0～2 歳児の待機児童が多く、また、隣接地域の保育施設を利用する児童がいるなど、保育需要の動きが複雑化していることから、それらを改善するため、平成 28 年 4 月開設を目指して小規模保育を整備します。また、つくばエクスプレス沿線開発により相当多数の保育需要が発生する見込みであるため、平成 29 年 4 月の開設を目指し、認可保育所 1 所を整備します。

3.2.2.6 6ブロック — 綾瀬地域

時期は定かではありませんが、綾瀬駅周辺、東和地域、中川地域で民間集合住宅の建設計画があります。大規模集合住宅建設時には、集合住宅内への保育施設整備を要請していきますが、待機児童の多い 0～2 歳児の保育需要に対応するため、平成 28 年度に小規模保育の整備を想定しています。

3.2.2.7 7ブロック — 佐野地域

加平二丁目に113戸の集合住宅建設が進められています。この地域は保育施設が少ない地域であり、特に加平二丁目の地域には保育施設がありません。新たな保育需要に対応するため、集合住宅の竣工時期に合わせ、平成28年度に小規模保育の整備を想定しています。

3.2.2.8 8ブロック — 保塚・六町地域

つくばエクスプレス沿線の開発により、人口・保育需要ともに増加しています。今後も住宅開発が進み、人口・保育需要ともに大きく増加する見込みであることから、平成29年4月の開設を目指して認可保育所1所を整備します。また、その後も需要増加が予想されることから、平成29年度にも認可保育所の整備を想定しています。

3.2.2.9 9ブロック — 花畑・保木間地域

平成28年4月に、花畑保育園の移転を伴う民営化に合わせて定員の増員を予定しています。保木間地域では集合住宅の建設計画があり、特に0～2歳児の保育需要が相当数発生する見込みであることから、平成29年度に認証保育所の整備を想定しています。

3.2.2.10 10ブロック — 竹の塚地域

竹の塚地域では、主に南部にあたる栗原・島根・六月エリアで戸建て住宅の開発があったことから、0～2歳児の需要が増える見込みです。その需要に対応するため、平成29年度に小規模保育の整備を想定しています。

3.2.2.11 11ブロック — 伊興・西新井地域

UR団地の建替えに伴い発生した余剰地において、新たな集合住宅の建設が進められる予定です。相当多数の保育需要が見込まれることから、平成29年度に認可保育所の整備を想定しています。

3.2.2.12 12ブロック — 鹿浜地域

鹿浜地域は、就学前人口、待機児童数、保育需要数のいずれも減少しており、今後も増える見込みはありません。よって、鹿浜地域への保育施設の整備計画はありません。

3.2.2.13 13ブロック — 舎人・東伊興地域

日暮里・舎人ライナー沿線開発により、今後、保育需要が増える見込んでいます。特に、舎人駅周辺で進められている中規模集合住宅の建設や、今後計画が予定されている集合住宅の建設により発生する保育需要に対応するため、平成29年度に認可保育所の整備を予定しています。

3.3 待機児童ゼロにむけた具体的な取り組み 2 (施設整備以外の支援)

3.3.1 保育コンシェルジュの設置について

子ども・子育て支援新制度において、利用者支援事業のひとつに位置づけられた保育コンシェルジュについて、足立区でも導入します。

保育施設選びで悩んでいる保護者の方へのアドバイスや、利用者の状況に合った保育施設の案内など、保活のお手伝いを行うとともに、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを利用して情報発信を行い、保育制度の認知度向上を図ります。また、子育てサロンや各種イベントに出張し、相談会や保育施設のPR活動も行います。

3.3.2 保育士確保方策の支援について

保育施設整備に伴い、約 150～180 人の保育士・保育従事職員を確保する必要があります。区内の保育士を養成している大学や専門学校、ハローワークと連携し、区内の保育施設に就職を促す取り組みを進めます。具体的には、潜在保育士向けの保育士就職セミナーの実施、区内保育所と学生のマッチングの場を提供する保育士就職相談会、また、保育士を目指す方を金銭的な面で支援できる制度の構築など、多方向からの支援策を検討していきます。

3.3.3 認証保育所の認可化移行支援について

区内で運営されている認証保育所 A 型のうち、待機児童が多い地域にあり、待機児童の多い 0～2 歳児の定員を増員し、かつ、5 歳児までの持ち上がりが可能な定員設定を行える施設については、事業者の希望や経営状況等を踏まえ、認可保育所に移行することが可能であると判断した場合には移行手続き等の支援を行っていきます。事業者の希望をヒアリングし、個別に対応していきます。

4. 基礎データ

4.1 ブロック別の分析（P28～P53）

4.2 保育需要の動向に関する分析（P54～P62）

4.3 待機児童実態調査結果（P63～P74）

4.1 ブロック別の分析

足立区では、地域ごとの保育需要を的確に把握するため、区内 13 ブロック地域をさらに 49 地域に細分化し、待機児童の状況や人口の推移など、より詳細な分析を行っています。こうした地域分析の状況を踏まえ、地域の実態に合わせた施設整備等の対策を実施していくことが重要であると考えています。

【用語の定義】

「保育需要数」・・・各保育施設の在園児数に待機児童数を加えたもの（詳しくは P.14 参照）

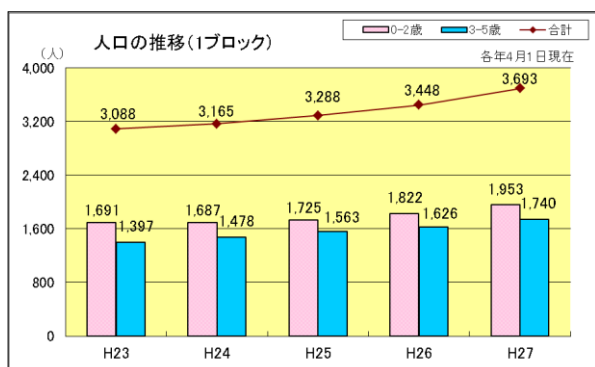
「保育需要率」・・・保育需要数÷就学前人口×100（単位：％）

※保育需要率を 49 地域別で見た場合、就学前人口より保育施設の在園児数の方が多い地域があるため、100%を超えることがあります。

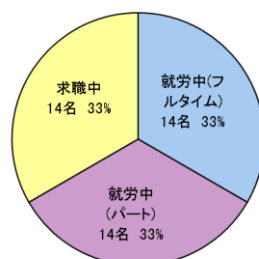
4.1.1 1ブロック — 千住地域

◆地域別待機児童数（年齢別）					平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
			地 域	待機児童数（年齢別）						合計	待機児童数（年齢別）						合計	前年比較			
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳	
1 ブロック	千住地域	1	千住東側（常磐線より東側）	5	3	8	5				16	13	3	20	7	7	1	38	22		
		2	千住西側（常磐線より西側）	5	4	13	6	3			26	18	14	17	7	4	1	43	17		
	小 計			10	7	21	11	3	0	0	42	31	17	37	14	11	2	0	81	39	

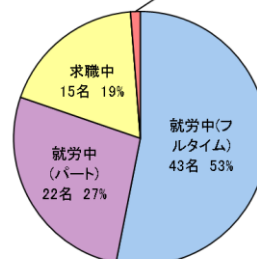
※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



申請事由別内訳(42人)
(平成26年4月)



申請事由別内訳(81人)
(平成27年4月)



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
1ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
千住地域	0～5歳児	3,448	1,358	39.39%	3,693	1,484	40.18%	245	126	0.80
	0～2歳児	1,822	695	38.14%	1,953	736	37.69%	131	41	-0.46
	3～5歳児	1,626	663	40.77%	1,740	748	42.99%	114	85	2.21

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
1- (1)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
千住東側 (常磐線より東側)	0～5歳児	1,351	746	55.22%	1,318	822	62.37%	-33	76	7.15
	0～2歳児	687	363	52.84%	651	400	61.44%	-36	37	8.61
	3～5歳児	664	383	57.68%	667	422	63.27%	3	39	5.59
1- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
千住西側 (常磐線より西側)	0～5歳児	2,097	612	29.18%	2,375	662	27.87%	278	50	-1.31
	0～2歳児	1,135	332	29.25%	1,302	336	25.81%	167	4	-3.44
	3～5歳児	962	280	29.11%	1,073	326	30.38%	111	46	1.28

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
1 ブロック	千住地域	1	千住東側（常磐線より東側）	5	1	4					5	13	1	12	1	3			17	12
		2	千住西側（常磐線より西側）	5	3	6					9	18	10	12	2	2			26	17
	小 計			10	4	10	0	0	0	0	14	31	11	24	3	5	0	0	43	29

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成 27 年 4 月 1 日現在の待機児童は、81 名（68 名が 0～2 歳児）でした。前年度に比べて 39 名増加しています。特に、常磐線の東側で 22 名の増、西側で 17 名の増となっており、千住大橋駅前の大規模開発による人口の増加が、千住地域全体に影響している状況です。申請事由別では、フルタイム就労世帯が 43 名（38 名が 0～2 歳児）で前年度比 29 名の増加となりました。また、パート就労世帯も、14 名から 22 名へと増加しています。

（２） 就学前人口

平成 27 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、3,693 名で前年度に比べて 245 名の増となり、0～2 歳の人口が 3～5 歳の人口が上回っています。東側が 1,318 名で前年度に比べて 33 名の減、西側は 2,375 名で、278 名の増でした。千住橋戸町および千住緑町一丁目の人口が急増しました。子育て世帯が多く転入していることから、今後も就学前人口の増加が予想されます。

（３） 保育需要

平成 27 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、1,484 名、保育需要率は 40.18%で、対前年度比 0.8 ポイントの増でした。保育需要率には大きな上昇は見られませんが、保育需要数では 126 名の増と、大きな上昇が見られます。常磐線の東側地域で 76 名の増、西側地域で 50 名の増と、大規模開発が行われている西側だけでなく、就学前人口が減少している東側でも保育需要数が上昇していることから、西側から東側への需要の移動が起こっていることが分かります。今後も小・中規模の集合住宅の建設が進むと予想されることから、保育需要はさらに増加すると思われます。

（４） ブロック内の保育施設数

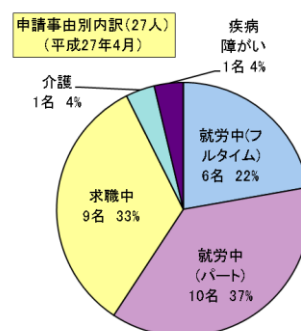
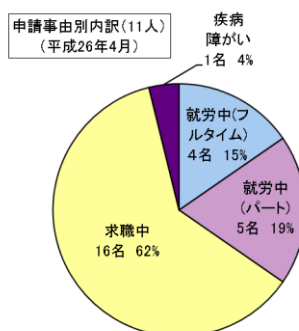
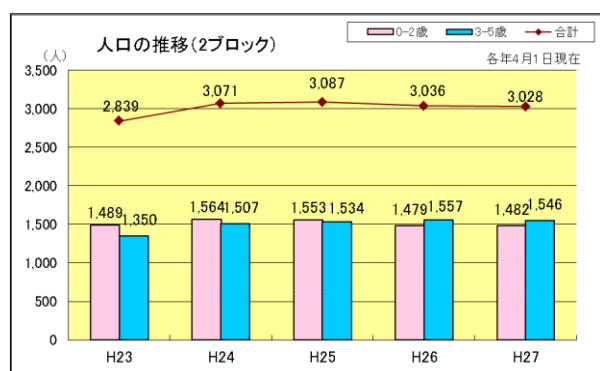
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	133	203	336
認可保育所（公設民営）	2	74	126	200
認可保育所（私立）	4	178	303	481
認定こども園（公立）	1	33	65	98
認定こども園（私立）	0	0	0	0
合計				

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	2	33	0	33
家庭的保育	19	58	0	58
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	5	163	27	190
認証保育所（B型）	2	30	0	30
合 計	38	702	724	1,426

4.1.2 2ブロック — 江北・新田地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在										平成27年4月1日現在										待機児童数
			地 域	待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較				
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳						
2 ブロック	江北地域	1	江北2.3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1（江北バス通り北側）	2	3	1		3			7	3	2	5	1			8	1					
		2	江北1.2、扇2（江北バス通り南側）	1	1		2	1	2		6	2	2	4	2	2		10	4					
	新田地域	3	新田1	1	3					3	1		3				3	0						
		4	新田2	1	2					2	3		3				3	1						
		5	新田3	4	2	1	2	1		6	8		3				3	-3						
	宮城地域	6	宮城1.2、小台1.2	2	1	1				2	5						0	-2						
	小 計			11	12	3	4	5	2	0	26	22	4	18	3	2	0	0	1					

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
2ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
江北・新田地域	0～5歳児	3,036	1,167	38.44%	3,028	1,161	38.34%	-8	-6	-0.10
	0～2歳児	1,479	524	35.43%	1,482	508	34.28%	3	-16	-1.15
	3～5歳児	1,557	643	41.30%	1,546	653	42.24%	-11	10	0.94

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
2- (1)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
江北2.3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1（江北バス通り北側）	0～5歳児	515	246	47.77%	518	247	47.68%	3	1	-0.08
	0～2歳児	275	108	39.27%	263	114	43.35%	-12	6	4.07
	3～5歳児	240	138	57.50%	255	133	52.16%	15	-5	-5.34
2- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
江北1.2、扇2（江北バス通り南側）	0～5歳児	427	128	29.98%	507	126	24.85%	80	-2	-5.12
	0～2歳児	206	57	27.67%	279	58	20.79%	73	1	-6.88
	3～5歳児	221	71	32.13%	228	68	29.82%	7	-3	-2.30
2- (3)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
新田1	0～5歳児	285	69	24.21%	267	74	27.72%	-18	5	3.50
	0～2歳児	125	31	24.80%	120	33	27.50%	-5	2	2.70
	3～5歳児	160	38	23.75%	147	41	27.89%	-13	3	4.14
2- (4)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
新田2	0～5歳児	110	110	100.00%	93	109	117.20%	-17	-1	17.20
	0～2歳児	45	58	128.89%	41	56	136.59%	-4	-2	7.70
	3～5歳児	65	52	80.00%	52	53	101.92%	-13	1	21.92
2- (5)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
新田3	0～5歳児	1,086	345	31.77%	1,018	340	33.40%	-68	-5	1.63
	0～2歳児	526	162	30.80%	459	144	31.37%	-67	-18	0.57
	3～5歳児	560	183	32.68%	559	196	35.06%	-1	13	2.38

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
2- (6)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
宮城1.2、小台1.2	0～5歳児	613	269	43.88%	625	265	42.40%	12	-4	-1.48
	0～2歳児	302	108	35.76%	320	103	32.19%	18	-5	-3.57
	3～5歳児	311	161	51.77%	305	162	53.11%	-6	1	1.35

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
2 ブロック	江北地域	1	江北2.3.4、樺1、堀之内1.2、鹿浜1（江北バス通り北側）	2							0	3		1					1	1
		2	江北1.2、扇2（江北バス通り南側）	1							0	2	1	3					4	4
	新田地域	3	新田1	1	1						1	1		1					1	0
		4	新田2	1	2						2	3							0	-2
		5	新田3	4	1						1	8							0	-1
	宮城地域	6	宮城1.2、小台1.2	2							0	5							0	0
	小 計			11	4	0	0	0	0	0	4	22	1	5	0	0	0	0	6	2

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（1） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、27名（25名が0～2歳児）で前年度に比べ1名増加しました。江北地域で5名の増、新田地域で2名の減、宮城地域では2名減少し待機児童が0名となりました。申請事由別では、フルタイム就労世帯は6名（すべて0～1歳児）で、前年度からの2名増加しました。パート就労世帯が10名、求職中世帯が9名と依然としてこの2つの申請事由が多い状況です。

（2） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、3,028名で前年度に比べて8名の減でした。前年度に比べて0～2歳児は3名の増、3～5歳児は11名の減となっています。しかし地域別に見ると、平成26年度に扇二丁目で大型マンションが完成したことから、江北地域の江北バス通り南側で人口が大きく増加しています。また、宮城・小台地域でも引き続き人口が増加傾向にあります。新田一丁目で319戸、小台一丁目で169戸といった大型マンションの建設計画が進められていることから、就学前人口が急増する地域が出てくると見込まれます。

（3） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、1,161名で前年度に比べて6名の減となりました。保育需要率は、38.34%で前年度に比べて0.1ポイントの減となっています。江北地域の江北バス通り北側や宮城・小台地域で保育需要が高くなっています。新田地域は、3～5歳の保育需要が増加していることから年齢移行が進んでいるものと思われます。今後は、マンション計画により、0～2歳児の保育需要が増加すると見込まれます。

（4） ブロック内の保育施設数

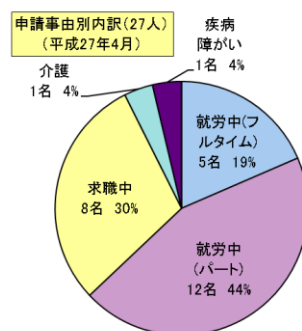
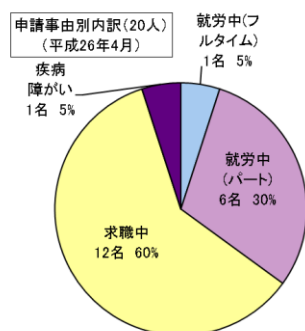
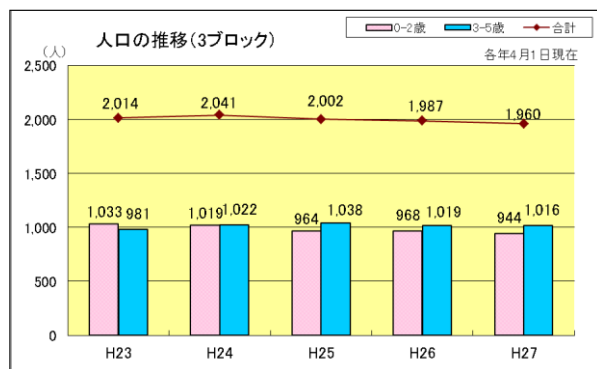
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	95	173	268
認可保育所（公設民営）	2	68	99	167
認可保育所（私立）	4	156	255	411
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	1	21	36	57
小規模保育	2	31	0	31
家庭的保育	8	27	0	27
公設民営認可外	2	20	91	111
認証保育所（A型）	2	58	3	61
認証保育所（B型）	0	0	0	0
合 計	24	476	657	1,133

4.1.3 3ブロック — 興野・本木地域

◆地域別待機児童数（年齢別）

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数 前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
3 ブロック	興野・本木 地域	1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5 （江北バス通り南側）	3		4	3	1		1	9	7	1	5	1		1	8	-1	
		2	興野1、本木1.2、本木東町、 本木南町（本木新道東側）	2	2	1	1				4	7		1		3		4	0	
		3	扇1.3、興野2、本木北町、 本木西町（本木新道西側）	1		3					3	5	3	4	1	1		9	6	
		4	西新井本町2 （江北バス通り北側）	1	2	1		1			4	1	1	4	1			6	2	
	小 計			7	4	9	4	2	0	1	20	20	5	14	3	4	0	1	27	7

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】

【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
3ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
興野・本木地域	0～5歳児	1,987	747	37.59%	1,960	842	42.96%	-27	95	5.36
	0～2歳児	968	332	34.30%	944	372	39.41%	-24	40	5.11
	3～5歳児	1,019	415	40.73%	1,016	470	46.26%	-3	55	5.53

【各地区】

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
3- (1)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
西新井栄町3、 西新井本町1.3.4.5 (江北バス通り南側)	0～5歳児	512	249	48.63%	531	304	57.25%	19	55	8.62
	0～2歳児	269	91	33.83%	267	102	38.20%	-2	11	4.37
	3～5歳児	243	158	65.02%	264	202	76.52%	21	44	11.49
3- (2)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
興野1、本木1.2、 本木東町、本木南町 (本木新道東側)	0～5歳児	474	252	53.16%	478	244	51.05%	4	-8	-2.12
	0～2歳児	233	129	55.36%	224	121	54.02%	-9	-8	-1.35
	3～5歳児	241	123	51.04%	254	123	48.43%	13	0	-2.61
3- (3)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
扇1.3、興野2、 本木北町、本木西町 (本木新道西側)	0～5歳児	822	118	14.36%	781	164	21.00%	-41	46	6.64
	0～2歳児	397	59	14.86%	372	91	24.46%	-25	32	9.60
	3～5歳児	425	59	13.88%	409	73	17.85%	-16	14	3.97
3- (4)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
西新井本町2 (江北バス通り北側)	0～5歳児	179	128	71.51%	170	130	76.47%	-9	2	4.96
	0～2歳児	69	53	76.81%	81	58	71.60%	12	5	-5.21
	3～5歳児	110	75	68.18%	89	72	80.90%	-21	-3	12.72

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
3 ブロック	興野・本木 地域	1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5 （江北バス通り南側）	3							0	7		1					1	1
		2	興野1、本木1.2、本木東町、 本木南町（本木新道東側）	2							0	7				1			1	1
		3	扇1.3、興野2、本木北町、 本木西町（本木新道西側）	1		1					1	5	2						2	1
		4	西新井本町2 （江北バス通り北側）	1							0	1		1					1	1
	小 計			7	0	1	0	0	0	0	1	20	2	2	0	1	0	0	5	4

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、27名（22名が0～2歳児）で前年度に比べて7名の増でした。扇一・三丁目等の地域や西新井本町二丁目など、日暮里・舎人ライナーに近い地域で待機児童が増加傾向にあります。申請事由別では、フルタイム就労世帯は5名（4名が0～1歳児）で4名の増となりました。パート就労世帯は6名から12名へと6名の増、求職中世帯は12名から8名へと4名減少しています。平成25年4月の待機児童は13名であったため、2年連続で増加しています。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、1,960名で前年度に比べて27名の減でした。前年度に比べて0～2歳児では24名の減、3～5歳児は3名の減となっています。平成29年1月に扇一丁目に161戸の大型マンションの建設計画があることから、今後、増加に転じる可能性もありますが、一時的なものと見込まれます。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、842名で前年度に比べて95名増加しました。保育需要率は42.96%で前年度に比べて5.36ポイントの増となっています。認定こども園の長時間利用児童の増加や、認証保育所の新設による利用児童の増加が大きな理由であり、地域の保育ニーズが高まる傾向が見られます。今後は年齢移行が進み、3～5歳児の保育需要が増加すると考えられますが、大型マンションからは0～2歳児の需要が多く発生する傾向もあり、地域全体で増加傾向で推移すると思われます。

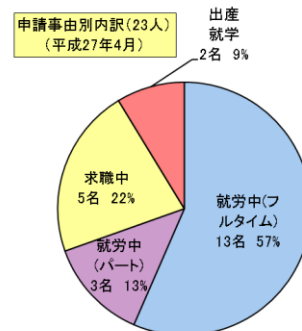
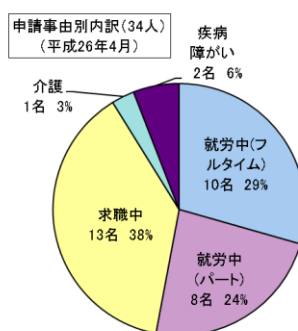
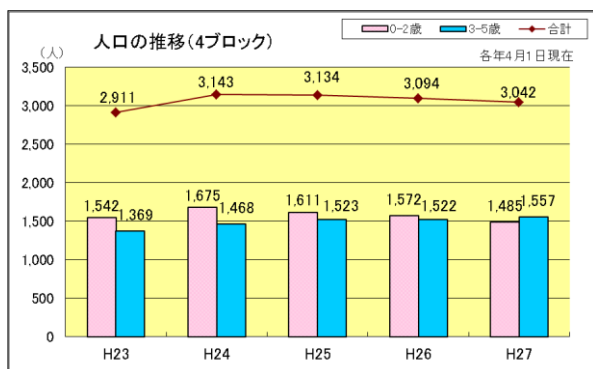
（４） ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	111	183	294
認可保育所（公設民営）	0	0	0	0
認可保育所（私立）	4	148	246	394
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	1	18	75	93
種別	施設数	施設定員		
種別	施設数	0～2	3～5	合計
小規模保育	0	0	0	0
家庭的保育	12	36	0	36
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	1	32	8	40
認証保育所（B型）	1	20	0	20
合 計	22	365	512	877

4.1.4 4ブロック — 梅田地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
4 ブロック	梅田地域	1	梅島1. 2. 3 (東武伊勢崎線北側)	1	1	4	2				7	6	3	3					6	-1
		2	梅田1. 2. 3. 4. 5. 6. 7	3		5	2				7	8	1	7	1	1			10	3
		3	梅田8、西新井栄町1. 2	2	3	7	4				14	4		2	1				3	-11
		4	関原1. 2. 3	2	1	4	1				6	7	1	2	1				4	-2
	小 計			8	5	20	9	0	0	0	34	25	5	14	3	1	0	0	23	-11

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
4ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
梅田地域	0～5歳児	3,094	1,075	34.74%	3,042	1,081	35.54%	-52	6	0.79%
	0～2歳児	1,572	546	34.73%	1,485	535	36.03%	-87	-11	1.29%
	3～5歳児	1,522	529	34.76%	1,557	546	35.07%	35	17	0.31%

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
4- (1)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	0～5歳児	562	162	28.83%	563	155	27.53%	1	-7	-1.29%
	0～2歳児	301	81	26.91%	313	70	22.36%	12	-11	-4.55%
	3～5歳児	261	81	31.03%	250	85	34.00%	-11	4	2.97%
4- (2)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
梅田1.2.3.4.5.6.7	0～5歳児	999	384	38.44%	956	416	43.51%	-43	32	5.08%
	0～2歳児	483	189	39.13%	447	209	46.76%	-36	20	7.63%
	3～5歳児	516	195	37.79%	509	207	40.67%	-7	12	2.88%
4- (3)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
梅田8、西新井栄町1.2	0～5歳児	1,058	293	27.69%	1,049	284	27.07%	-9	-9	-0.62%
	0～2歳児	545	170	31.19%	504	159	31.55%	-41	-11	0.35%
	3～5歳児	513	123	23.98%	545	125	22.94%	32	2	-1.04%
4- (4)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
関原1.2.3	0～5歳児	475	236	49.68%	474	226	47.68%	-1	-10	-2.00%
	0～2歳児	243	106	43.62%	221	97	43.89%	-22	-9	0.27%
	3～5歳児	232	130	56.03%	253	129	50.99%	21	-1	-5.05%

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
4 ブロック	梅田地域	1	梅島1.2.3 (東武伊勢崎線北側)	1		2					2	6	1	3					4	2
		2	梅田1.2.3.4.5.6.7	3							0	8		4					4	4
		3	梅田8、西新井栄町1.2	2	2	4					6	4		2	1				3	-3
		4	関原1.2.3	2		2					2	7		1	1				2	0
	小 計			8	2	8	0	0	0	0	10	25	1	10	2	0	0	0	13	3

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、23名（22名が0～2歳児）で前年度に比べて11名の減でした。梅田八丁目・西新井栄町地域では11名減少した一方、梅田一丁目～七丁目地域では3名増加するなど、地域差が生じています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が13名（すべて0～2歳児）と依然として多く、パート就労世帯は3名、求職中世帯は5名となりました。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、3,042名と前年度に比べて52名減少しました。0～2歳児の人口が87名減少している一方で、3～5歳児の人口は35名増加しています。昨年までは0～2歳児の人口が3～5歳児の人口より多い状況が続いていましたが、今年度は3～5歳児の人口が上回りました。今後、小・中規模の集合住宅建設が見込まれるものの、年齢移行が進み、就学前人口は減少すると思われます。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、1,081名で前年度に比べて6名の増、保育需要率は35.54%で、前年度に比べて0.79ポイントの増となっています。0～2歳児の保育需要数は11名の減少、3～5歳児の保育需要数は17名増加していることから、年齢移行が進んでいることがわかります。今後数年で、3～5歳児の需要がピークを迎え、その後、減少に転じると見込まれます。

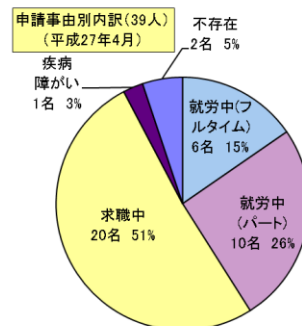
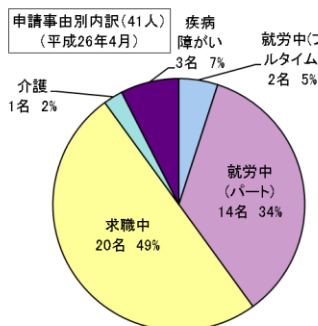
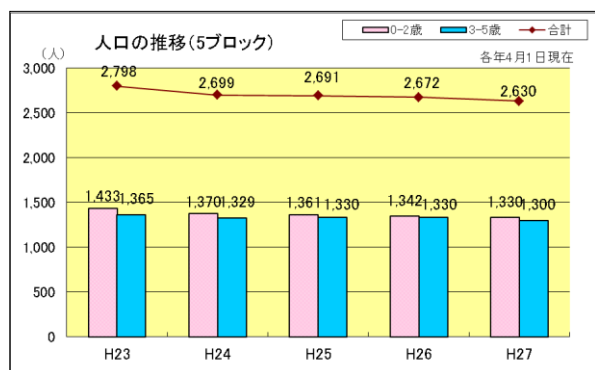
（４） ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	1	38	69	107
認可保育所（公設民営）	0	0	0	0
認可保育所（私立）	10	285	461	746
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	0	0	0	0
小規模保育	1	17	0	17
家庭的保育	15	45	0	45
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	4	104	13	117
認証保育所（B型）	2	43	0	43
合 計	33	532	543	1,075

4.1.5 5ブロック — 中央本町地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
5 ブロック	中央本町 地域		地 域	待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年 比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
				1	青井1.2.3.4.5.6	2	3	4	2	1								1	9	-1
			2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	2			4	2	3									8	-1
			3	中央本町1.2.3.4.5	2	3	3	3			1	1							10	-1
			4	足立1.2.3.4	3	4	5	2											12	1
			小 計			9	10	16	9	4	1	1							39	-2

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
5ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
中央本町地域	0～5歳児	2,672	1,104	41.32%	2,630	1,028	39.09%	-42	-76	-2.23%
	0～2歳児	1,342	509	37.93%	1,330	500	37.59%	-12	-9	-0.33%
	3～5歳児	1,330	595	44.74%	1,300	528	40.62%	-30	-67	-4.12%

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
5- (1)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
青井1. 2. 3. 4. 5. 6	0～5歳児	800	219	27. 38%	776	156	20. 10%	-24	-63	-7. 27
	0～2歳児	394	96	24. 37%	380	95	25. 00%	-14	-1	0. 63
	3～5歳児	406	123	30. 30%	396	61	15. 40%	-10	-62	-14. 89
5- (2)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
弘道1. 2、西綾瀬1. 2. 3. 4	0～5歳児	661	310	46. 90%	665	310	46. 62%	4	0	-0. 28
	0～2歳児	349	146	41. 83%	359	148	41. 23%	10	2	-0. 61
	3～5歳児	312	164	52. 56%	306	162	52. 94%	-6	-2	0. 38
5- (3)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
中央本町1. 2. 3. 4. 5	0～5歳児	682	261	38. 27%	676	252	37. 28%	-6	-9	-0. 99
	0～2歳児	339	123	36. 28%	340	117	34. 41%	1	-6	-1. 87
	3～5歳児	343	138	40. 23%	336	135	40. 18%	-7	-3	-0. 05
5- (4)	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
足立1. 2. 3. 4	0～5歳児	529	314	59. 36%	513	310	60. 43%	-16	-4	1. 07
	0～2歳児	260	144	55. 38%	251	140	55. 78%	-9	-4	0. 39
	3～5歳児	269	170	63. 20%	262	170	64. 89%	-7	0	1. 69

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
5 ブロック	中央本町 地域	1	青井1.2.3.4.5.6	2		1					1	7	1	1					2	1
		2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	2							0	7		3					3	3
		3	中央本町1.2.3.4.5	2							0	6		1					1	1
		4	足立1.2.3.4	3		1					1	6							0	-1
	小 計			9	0	2	0	0	0	0	2	26	1	5	0	0	0	0	6	4

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、39名（36名が0～2歳児）で前年度に比べて2名の減でした。足立地域で1名増加しましたが、そのほかの地域では減少しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が6名で、4名の増となりました。また、パート就労世帯が4名減少して10名、求職中世帯は増減無しで20名と、依然としてパート・求職中世帯が多い状況です。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は2,630名で、前年度に比べて42名減少しています。依然として0～2歳児の人口が3～5歳児の人口を上回っています。今年は、弘道・西綾瀬地域で微増したほかは、すべての地域で減少しています。今後は、つくばエクスプレス沿線の開発で若干の増加は予想されるものの、大きな人口増加はない見込みです。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、1,028名で前年度に比べて76名の減、保育需要率は39.09%で2.23ポイントの減でした。保育需要減少の理由は、青井地域で認定こども園を返上した幼稚園があり、保育需要（保育施設利用児）が教育需要（幼稚園利用児）に変わったことによるものです。青井地域以外は若干の増減はあるもののほぼ横ばいの状態であり、今後も高い需要率のまま推移するものと思われます。青井地域では、つくばエクスプレス沿線開発により今後、保育需要が増加する見込みです。

（４） ブロック内の保育施設数

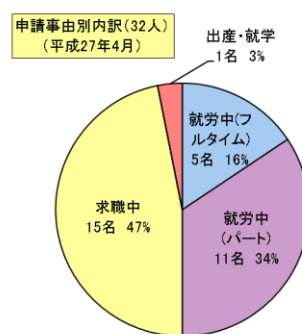
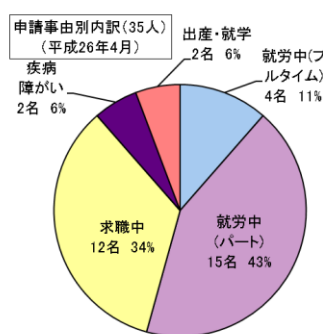
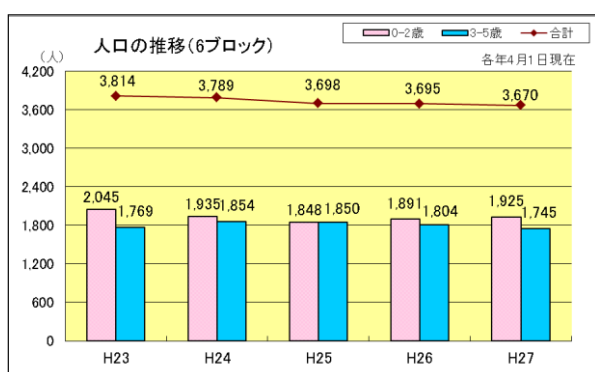
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	147	246	393
認可保育所（公設民営）	2	82	120	202
認可保育所（私立）	3	91	161	252
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	0	0	0	0
合計				

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	2	34	0	34
家庭的保育	15	43	0	43
公設民営認可外	1	28	0	28
認証保育所（A型）	1	30	0	30
認証保育所（B型）	1	23	0	23
合計	28	478	527	1,005

4.1.6 6ブロック — 綾瀬地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
6 ブロック	綾瀬地域	1	綾瀬1. 2. 3. 4. 5. 6. 7、加平1	-	-	-	-	-	-	-	0	9	1	1					2	2
		2	東綾瀬1. 2. 3、谷中1. 2	7	1	14	6	1	2		24	12	4	14	5			1	24	0
		3	東和1. 2. 3. 4. 5、 中川4（環七西侧）	4	2	3					5	9		1	1	1			3	-2
		4	中川1. 2. 3. 4. 5 （環七東側）	1	2	1	2	1			6	4	2			1			3	-3
	小 計			12	5	18	8	2	2	0	35	34	7	16	6	2	0	1	32	-3

※待機児童数は、希望した保育所の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
6ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
綾瀬地域	0～5歳児	3,695	1,619	43.82%	3,670	1,625	44.28%	-25	6	0.46
	0～2歳児	1,891	758	40.08%	1,925	787	40.88%	34	29	0.80
	3～5歳児	1,804	861	47.73%	1,745	838	48.02%	-59	-23	0.30

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
6- (1)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
綾瀬1. 2. 3. 4. 5. 6. 7、 加平1	0～5歳児	1,198	177	14.77%	1,186	187	15.77%	-12	10	0.99
	0～2歳児	657	121	18.42%	655	135	20.61%	-2	14	2.19
	3～5歳児	541	56	10.35%	531	52	9.79%	-10	-4	-0.56
6- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
東綾瀬1. 2. 3、谷中1. 2	0～5歳児	902	926	102.66%	948	942	99.37%	46	16	-3.29
	0～2歳児	481	395	82.12%	522	425	81.42%	41	30	-0.70
	3～5歳児	421	531	126.13%	426	517	121.36%	5	-14	-4.77
6- (3)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
東和1. 2. 3. 4. 5、 中川4（環七西侧）	0～5歳児	1,009	350	34.69%	964	342	35.48%	-45	-8	0.79
	0～2歳児	455	175	38.46%	461	172	37.31%	6	-3	-1.15
	3～5歳児	554	175	31.59%	503	170	33.80%	-51	-5	2.21
6- (4)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
中川1. 2. 3. 4. 5 （環七東側）	0～5歳児	586	166	28.33%	572	154	26.92%	-14	-12	-1.40
	0～2歳児	298	67	22.48%	287	55	19.16%	-11	-12	-3.32
	3～5歳児	288	99	34.38%	285	99	34.74%	-3	0	0.36

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
6 ブロック	綾瀬地域	1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	—	—	—	—	—	—	—	0	9							0	0
		2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	7		2	1				3	12		5					5	2
		3	東和1.2.3.4.5、中川4（環七西側）	4							0	9							0	0
		4	中川1.2.3.4.5（環七東側）	1	1						1	4							0	-1
	小 計			12	1	2	1	0	0	0	4	34	0	5	0	0	0	0	5	1

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成 27 年 4 月 1 日現在の待機児童は、32 名（29 名が 0～2 歳児）で前年度に比べて 3 名の減でした。待機児童の大半が東綾瀬・谷中地域に集中しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が 5 名、パート就労世帯が 11 名、求職中世帯が 15 名と、多くをパート・求職中世帯が占めている状態です。

（２） 就学前人口

平成 27 年 4 月 1 日現在の就学前人口は、3,670 名で前年度に比べて 25 名の減でした。0～2 歳児の人口が 3～5 歳児の人口より多くなっています。東綾瀬・谷中地域で就学前人口が増加しており、UR 住宅や近年建設された集合住宅の影響と考えられます。平成 29 年以降、綾瀬地域、東和地域、中川地域などでマンションの建設計画があることから、今後、就学前の大幅な増加が予想されます。

（３） 保育需要

平成 27 年 4 月 1 日現在の保育需要数は、1,625 名で前年度に比べて 6 名の増、保育需要率は 44.28%で 0.99 ポイントの増でした。認定こども園を返上した幼稚園があったことから、東綾瀬・谷中地域では保育需要（保育施設利用児）が教育需要（幼稚園利用児）に変わり保育需要が減少しましたが、綾瀬、東和、中川地域から足立区外の認可保育所、認証保育所への入所も多く、引き続き保育需要が非常に高い地域となっています。今後のマンション建設により、更なる保育需要の増加が見込まれます。

（４） ブロック内の保育施設数

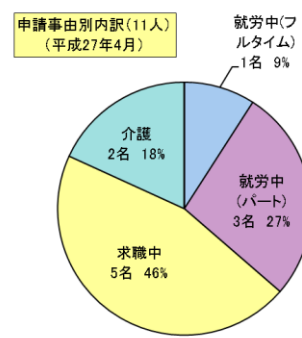
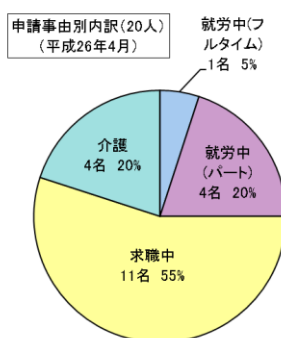
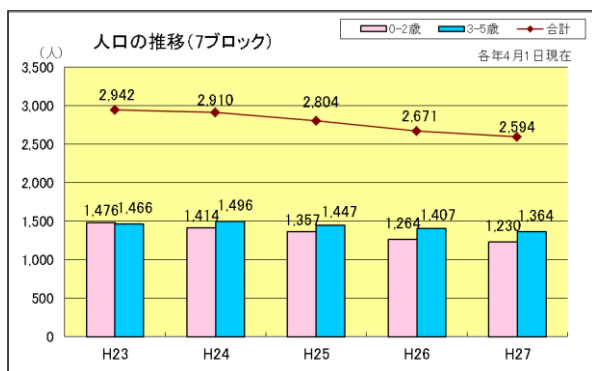
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	2	109	144	253
認可保育所（公設民営）	0	0	0	0
認可保育所（私立）	11	399	689	1,088
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	0	0	0	0
合計	13	508	833	1,341

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	3	54	0	54
家庭的保育	18	58	0	58
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	5	119	55	174
認証保育所（B型）	3	65	0	65
合 計	42	804	888	1,692

4.1.7 7ブロック — 佐野地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
7 ブロック	佐野地域	1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	3	3	3	4			1	11	8		2	2	3			7	-4
		2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	2			1				1	4		1	1				2	1
		3	神明1.2.3、六木3.4	1	1	1	6				8	3	1	1					2	-6
		4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	小 計			6	4	4	11	0	0	1	20	15	1	4	3	3	0	0	11	-9

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
7ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
佐野地域	0～5歳児	2,671	719	26.92%	2,594	705	27.18%	-77	-14	0.26
	0～2歳児	1,264	309	24.45%	1,230	294	23.90%	-34	-15	-0.54
	3～5歳児	1,407	410	29.14%	1,364	411	30.13%	-43	1	0.99

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
7- (1)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
大谷田1.2.3.4.5、 谷中3.4.5	0～5歳児	1,048	375	35.78%	997	366	36.71%	-51	-9	0.93
	0～2歳児	514	165	32.10%	485	151	31.13%	-29	-14	-0.97
	3～5歳児	534	210	39.33%	512	215	41.99%	-22	5	2.67
7- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
佐野1.2、辰沼1.2、 六木1.2	0～5歳児	623	229	36.76%	611	227	37.15%	-12	-2	0.39
	0～2歳児	263	93	35.36%	263	95	36.12%	0	2	0.76
	3～5歳児	360	136	37.78%	348	132	37.93%	-12	-4	0.15
7- (3)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
神明1.2.3、六木3.4	0～5歳児	550	113	20.55%	543	107	19.71%	-7	-6	-0.84
	0～2歳児	263	50	19.01%	248	44	17.74%	-15	-6	-1.27
	3～5歳児	287	63	21.95%	295	63	21.36%	8	0	-0.60
7- (4)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
加平2.3、北加平町、 神明南1.2	0～5歳児	450	2	0.44%	443	5	1.13%	-7	3	0.68
	0～2歳児	224	1	0.45%	234	4	1.71%	10	3	1.26
	3～5歳児	226	1	0.44%	209	1	0.48%	-17	0	0.04

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
7 ブロック	佐野地域	1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	3							0	8				1			1	1
		2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	2							0	4							0	0
		3	神明1.2.3、六木3.4	1			1				1	3							0	-1
		4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	小 計			6	0	0	1	0	0	0	1	15	0	0	0	1	0	0	1	0

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、11名（8名が0～2歳児）で前年度に比べて9名の減でした。申請事由別では、フルタイム就労世帯が1名、パート就労世帯が3名、求職中世帯が11名となっており、大半がパート・求職中世帯という状況です。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、2,594名で前年度に比べて77名の減でした。すべての地域で就学前人口が減少しており、特に大谷田・谷中地域では51名の減となっています。平成29年3月に加平二丁目で113戸のマンション計画があり、就学前人口は一時的に増加すると見込まれますが、中長期的には減少傾向で推移すると思われます。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、705名で保育需要率は27.18%でした。保育需要数は14減少しているのに対し、保育需要率は0.26ポイント増加しています。これは就学前人口が大きく減少したことが理由です。今後、マンションの建築に伴い、保育需要は一時的に増加する見込みです。

（４） ブロック内の保育施設数

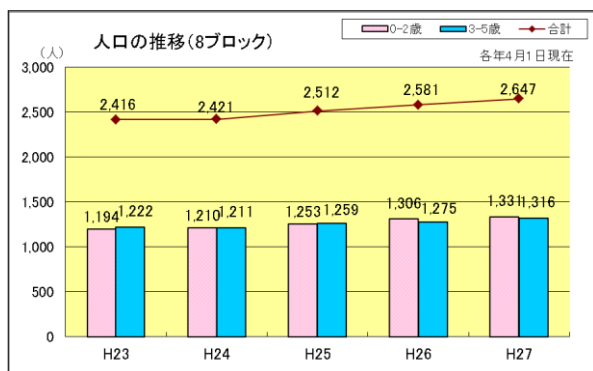
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	4	155	296	451
認可保育所（公設民営）	0	0	0	0
認可保育所（私立）	1	37	63	100
認定こども園（公立）	1	27	49	76
認定こども園（私立）	0	0	0	0
合計	6	219	408	627

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	1	15	0	15
家庭的保育	8	23	0	23
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	1	23	17	40
認証保育所（B型）	1	27	0	27
合 計	17	307	425	732

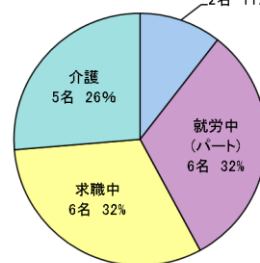
4.1.8 8ブロック — 保塚・六町地域

◆地域別待機児童数（年齢別）			平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
			地 域		待機児童数（年齢別）							待機児童数（年齢別）							前年比較
8 ブロック	保塚・六町 地域	1	六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
		2	一ツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	4		4	4				8	10	5	4					9
		3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、 保木間1.2	1		2	2	1			5	7		1					1
		小 計		6	3	6	7	3	0	0	19	26	8	9	6	2	0	0	25
																			6

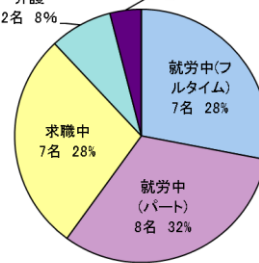
※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



申請事由別内訳(19人)
(平成26年4月)



申請事由別内訳(25人)
(平成27年4月)



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
8ブロック	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
保塚・六町地域	0～5歳児	2,581	747	28.94%	2,647	781	29.51%	66	34	0.56
	0～2歳児	1,306	364	27.87%	1,331	395	29.68%	25	31	1.81
	3～5歳児	1,275	383	30.04%	1,316	386	29.33%	41	3	-0.71

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
8-（1）	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	0～5歳児	910	285	31.32%	976	315	32.27%	66	30	0.96
	0～2歳児	492	177	35.98%	525	196	37.33%	33	19	1.36
	3～5歳児	418	108	25.84%	451	119	26.39%	33	11	0.55
8-（2）	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
一ツ家2.3、保塚町、 東保木間1.2	0～5歳児	835	307	36.77%	811	358	44.14%	-24	51	7.38
	0～2歳児	413	130	31.48%	389	154	39.59%	-24	24	8.11
	3～5歳児	422	177	41.94%	422	204	48.34%	0	27	6.40
8-（3）	年齢区分	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率	就学前人口	保育 需要数	保育 需要率
平野1.2.3、一ツ家1、 東六月町、保木間1.2	0～5歳児	836	155	18.54%	860	108	12.56%	24	-47	-5.98
	0～2歳児	401	57	14.21%	417	45	10.79%	16	-12	-3.42
	3～5歳児	435	98	22.53%	443	63	14.22%	8	-35	-8.31

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
																				前年比較
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
8 ブロック	保塚・六町 地域	1	六町1.2.3.4、一ツ家4、 西加平1.2、南花畑1.2.3	1	1						1	9	3		1				4	3
		2	一ツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	4		1					1	10	3						3	2
		3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、 保木間1.2	1							0	7							0	0
	小 計			6	1	1	0	0	0	0	2	26	6	0	1	0	0	0	7	5

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、25名（23名が0～2歳児）でした。前年に比べて、六町駅に近いエリアに待機児童が多い状況です。申請事由別では、フルタイム就労世帯が7名、パート就労世帯が8名、求職中世帯が7と、就労を理由とする方が多く、フルタイム就労世帯も昨年と比べて増加しています。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、2,647名で前年度に比べて66名の増でした。0～2歳児が3～5歳児より若干多い状況が続いています。人口が増加している数少ない地域のひとつで、つくばエクスプレス沿線開発による影響と思われます。今後も沿線開発により、人口が増加すると思われます。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、781名で前年度に比べて34名の増、保育需要率は29.51%で前年度に比べ0.56ポイントの増でした。就学前人口と同様、つくばエクスプレス沿線開発により、ブロック全体で保育需要が伸びる傾向にありますが、平野・一ツ家・東六月町・保木間地域では、認定こども園を返上した幼稚園があり、保育需要（保育施設利用児）が教育需要（幼稚園利用児）に変わったことにより、保育需要が一時的に減少しています。しかし全体的には、今後も、このブロックの保育需要は増加すると思われます。

（４） ブロック内の保育施設数

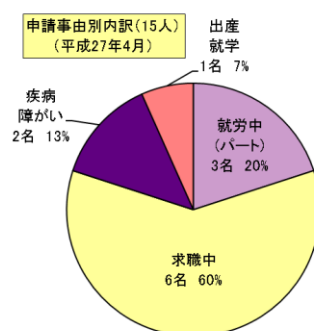
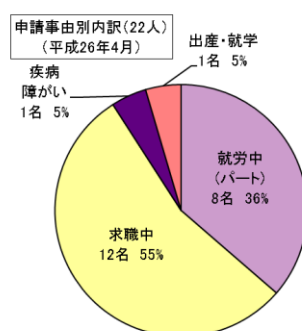
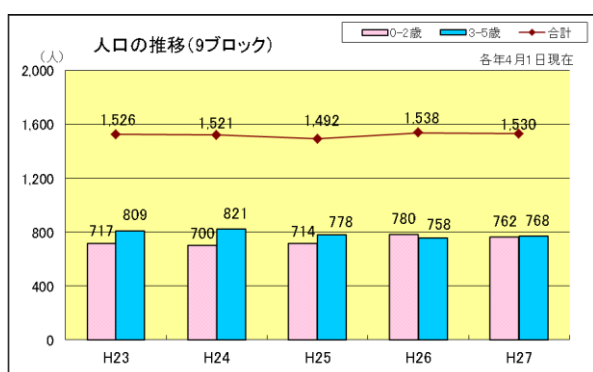
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	2	56	115	171
認可保育所（公設民営）	1	45	57	102
認可保育所（私立）	4	113	198	311
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	1	34	25	59

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	1	19	0	19
家庭的保育	17	44	0	44
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	2	59	9	68
認証保育所（B型）	0	0	0	0
合 計	28	370	404	774

4.1.9 9ブロック — 花畑・保木間地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
9 ブロック	花畑・保木間 地域	1	南花畑4.5、花畑1	2		5	2			1	8	2		2	2				4	-4
		2	花畑2.3.6.7	-	-	-	-	-	-	-	0	4							0	0
		3	花畑8（桑袋）	1		2					2	1			1				1	-1
		4	保木間3.4.5、花畑4.5	2	1	4	6	1			12	5	1	5	3	1			10	-2
	小 計			5	1	11	8	1	0	1	22	12	1	7	6	1	0	0	15	-7

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在				平成27年4月1日現在			前年比		
9ブロック		年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
花畑・保木間地域		0～5歳児	1,538	585	38.04%	1,530	598	39.08%	-8	13	1.05
		0～2歳児	780	202	25.90%	762	224	29.40%	-18	22	3.50
		3～5歳児	758	383	50.53%	768	374	48.70%	10	-9	-1.83

【各地区】		平成26年4月1日現在				平成27年4月1日現在			前年比		
9- (1)		年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
南花畑4.5、花畑1		0～5歳児	372	167	44.89%	370	159	42.97%	-2	-8	-1.92
		0～2歳児	192	55	28.65%	191	54	28.27%	-1	-1	-0.37
		3～5歳児	180	112	62.22%	179	105	58.66%	-1	-7	-3.56
9- (2)		年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
花畑2.3.6.7		0～5歳児	522	6	1.15%	553	12	2.17%	31	6	1.02
		0～2歳児	278	6	2.16%	290	12	4.14%	12	6	1.98
		3～5歳児	244	0	0.00%	263	0	0.00%	19	0	0.00
9- (3)		年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
花畑8（桑袋）		0～5歳児	59	58	98.31%	60	62	103.33%	1	4	5.03
		0～2歳児	15	20	133.33%	20	21	105.00%	5	1	-28.33
		3～5歳児	44	38	86.36%	40	41	102.50%	-4	3	16.14
9- (4)		年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
保木間3.4.5、花畑4.5		0～5歳児	585	354	60.51%	547	365	66.73%	-38	11	6.21
		0～2歳児	295	121	41.02%	261	137	52.49%	-34	16	11.47
		3～5歳児	290	233	80.34%	286	228	79.72%	-4	-5	-0.62

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
9 ブロック	花畑・保木間 地域	1	南花畑4.5、花畑1	2							0	2							0	0
		2	花畑2.3.6.7	—	—	—	—	—	—	—	0	4							0	0
		3	花畑8（桑袋）	1							0	1							0	0
		4	保木間3.4.5、花畑4.5	2							0	5							0	0
	小 計			5	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、15名（14名が0～2歳児）で前年度に比べて7名の減でした。特に、国道4号線沿いの保木間・花畑地域の待機児童が10名と多くなっています。申請事由別では、パート就労世帯が3名、求職中世帯が6名となっており、フルタイム就労世帯の待機児童は2年連続で解消されています。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、1,530名で前年度に比べて8名減少しています。花畑二・六丁目では、土地区画整理事業の影響とみられる就学前人口の増加がありますが、その他の地域では横ばいか減少で推移しています。今後の就学前人口は、平成29年から30年頃に保木間地域でマンションの建設計画があるほか、エリアデザインによる影響も見据える必要がありますが、地域全体としては横ばい程度で推移するものと思われます。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、598名で前年度に比べて13名の増、保育需要率は39.08%で、1.05ポイント増加しています。ブロック外の保育施設や幼稚園に通う児童が多い地域ではありますが、地域内での需要も増加気味となっています。マンションの建設等により、一時的に需要も増加する見込みです。

（４） ブロック内の保育施設数

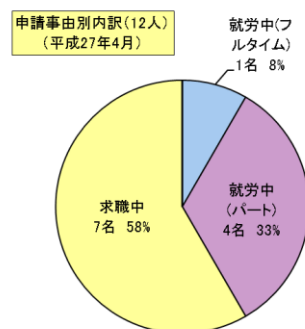
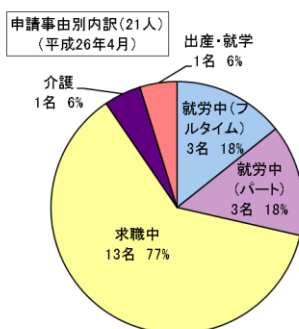
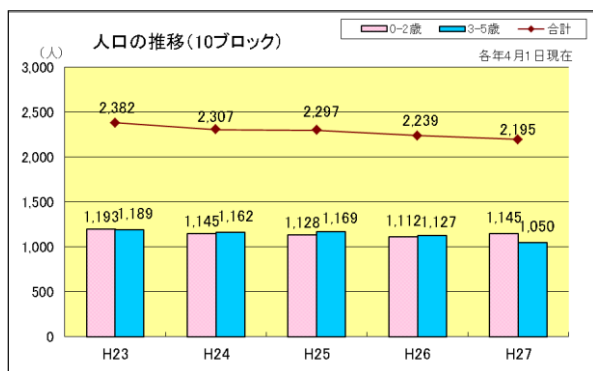
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	5	169	338	507
認可保育所（公設民営）	0	0	0	0
認可保育所（私立）	0	0	0	0
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	1	0	60	60
合計	6	169	338	507

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	1	19	0	19
家庭的保育	5	16	0	16
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	0	0	0	0
認証保育所（B型）	1	15	0	15
合計	7	40	0	40

4.1.10 10ブロック — 竹の塚地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
10 ブロック	竹の塚地域	1	西保木間1. 2. 3. 4	2		5					5	3		1	1				2	-3
		2	竹の塚1. 2. 3. 4. 5. 6. 7	3		3	1	1			5	12		1	1				2	-3
		3	六月1. 2. 3.、島根1. 2. 3. 4.、栗原1. 2	3	1	8	1	1			11	7	1	4	2	1			8	-3
	小 計			8	1	16	2	2	0	0	21	22	1	6	4	1	0	0	12	-9

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
10ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
竹の塚地域	0～5歳児	2,239	1,001	44.71%	2,195	994	45.28%	-44	-7	0.58
	0～2歳児	1,112	453	40.74%	1,145	444	38.78%	33	-9	-1.96
	3～5歳児	1,127	548	48.62%	1,050	550	52.38%	-77	2	3.76

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
10- (1)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
西保木間1. 2. 3. 4	0～5歳児	439	184	41.91%	415	187	45.06%	-24	3	3.15
	0～2歳児	205	74	36.10%	210	73	34.76%	5	-1	-1.34
	3～5歳児	234	110	47.01%	205	114	55.61%	-29	4	8.60
10- (2)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
竹の塚1. 2. 3. 4. 5. 6. 7	0～5歳児	649	381	58.71%	642	375	58.41%	-7	-6	-0.29
	0～2歳児	338	186	55.03%	340	179	52.65%	2	-7	-2.38
	3～5歳児	311	195	62.70%	302	196	64.90%	-9	1	2.20
10- (3)	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
六月1. 2. 3、 島根1. 2. 3. 4、栗原1. 2	0～5歳児	1,151	436	37.88%	1,138	432	37.96%	-13	-4	0.08
	0～2歳児	569	193	33.92%	595	192	32.27%	26	-1	-1.65
	3～5歳児	582	243	41.75%	543	240	44.20%	-39	-3	2.45

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在									平成27年4月1日現在									待機児童数			
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較					
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳							
10 ブロック	竹の塚地域	1	西保木間1. 2. 3. 4	2												0					0				
		2	竹の塚1. 2. 3. 4. 5. 6. 7	3													0			0					
		3	六月1. 2. 3.、島根1. 2. 3. 4.、栗原1. 2	3	1	2											3			-2					
	小 計			8	1	2	0	0	0	0						3	22	0	1	0	0	0	0	1	-2

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、12名（11名が0～2歳児）で前年比9名の減でした。六月・島根・栗原地域の待機児童が8名と多く、竹の塚地域と西保木間地域では2名ずつの待機児童となっています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が1名、パート就労世帯が、求職中世帯が7名と、すべての待機児童が就労を理由としています。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、2,195名で昨年度に比べて44名減少しています。0～2歳児が増加しているのに対し、3～5歳児の人口が大きく減少しています。六月・島根・栗原地域での戸建て住宅の建売等が影響しているものと思われます。今後の就学前人口の動向に注視が必要な地域です。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は994名で、前年度比7名の減でほぼ横ばいの状態です。人口の減少に伴い保育需要も減少しており、需要は安定している地域といえます。今後、保育需要は、就学前人口同様、注視が必要であると考えています。

（４） ブロック内の保育施設数

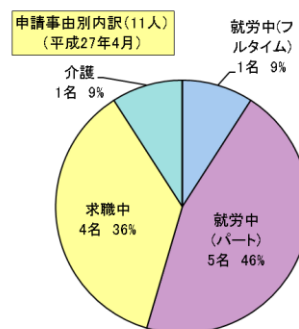
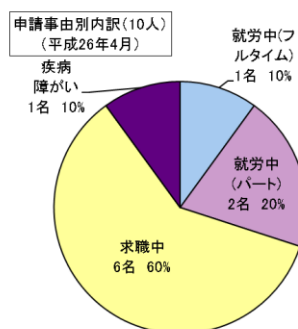
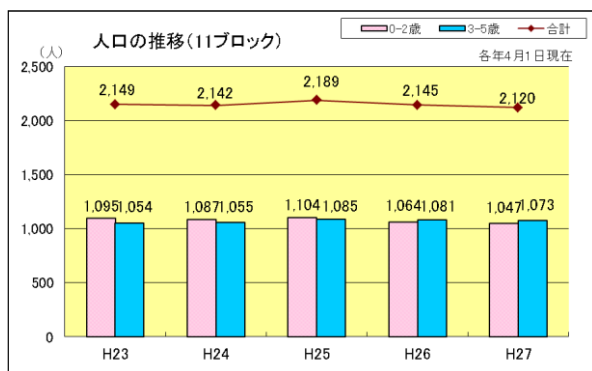
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	109	214	323
認可保育所（公設民営）	2	81	150	231
認可保育所（私立）	3	103	186	289
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	0	0	0	0

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	2	38	0	38
家庭的保育	12	36	0	36
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	3	80	23	103
認証保育所（B型）	1	29	0	29
合 計	26	476	573	1,049

4.1.11 11ブロック — 伊興・西新井地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
11 ブロック	伊興・西新井 地域	1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4、西竹の塚1	2	1	3	2				6	7	2	3	2				7	1
		2	西新井1、栗原3	-	-	-	-	-	-	-	0	5		1	1				2	2
		3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	2	2	1		1			4	7	1		1				2	-2
		4	西新井6.7	-	-	-	-	-	-	-	0	2							0	0
	小 計			4	3	4	2	1	0	0	10	21	3	4	4	0	0	0	11	1

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
11ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
伊興・西新井地域	0～5歳児	2,145	614	28.62%	2,120	689	32.50%	-25	75	3.88%
	0～2歳児	1,064	319	29.98%	1,047	365	34.86%	-17	46	4.88%
	3～5歳児	1,081	295	27.29%	1,073	324	30.20%	-8	29	2.91%

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
11-（1）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4	0～5歳児	995	342	34.37%	975	407	41.74%	-20	65	7.37
	0～2歳児	513	178	34.70%	489	214	43.76%	-24	36	9.06
	3～5歳児	482	164	34.02%	486	193	39.71%	4	29	5.69
11-（2）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
西新井1、栗原3	0～5歳児	313	42	13.42%	304	52	17.11%	-9	10	3.69
	0～2歳児	148	42	28.38%	151	51	33.77%	3	9	5.40
	3～5歳児	165	0	0.00%	153	1	0.65%	-12	1	0.65
11-（3）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	0～5歳児	658	191	29.03%	653	185	28.33%	-5	-6	-0.70
	0～2歳児	312	82	26.28%	318	76	23.90%	6	-6	-2.38
	3～5歳児	346	109	31.50%	335	109	32.54%	-11	0	1.03
11-（4）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
西新井6.7	0～5歳児	179	39	21.79%	188	45	23.94%	9	6	2.15
	0～2歳児	91	17	18.68%	89	24	26.97%	-2	7	8.28
	3～5歳児	88	22	25.00%	99	21	21.21%	11	-1	-3.79

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
11 ブロック	伊興・西新井 地域	1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4、西竹の塚1	2		1					1	7	1						1	0
		2	西新井1、栗原3	—	—	—	—	—	—	—	0	5							0	0
		3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	2							0	7							0	0
		4	西新井6.7	—	—	—	—	—	—	—	0	2							0	0
	小 計			4	0	1	0	0	0	0	1	21	1	0	0	0	0	0	1	0

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は、11名（すべてが0～2歳児）で前年度に比べて1名の増となっています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が1名、パート就労世帯が5名、求職中世帯が4名となっています。求職中世帯の待機児童が増加しています。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は、2,120名で前年度に比べて25名の減となり、ほぼ横ばいの状態が続いています。特に、伊興・西新井・栗原地域での減少が目立ちますが、現在、西新井三丁目のUR団地建替え事業により、マンション開発・戸建て開発が進められており、平成29年6月には76戸のマンションが建設される予定です。今後、就学前人口は一時的に増加すると思われます。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は、689名で75名の増となっています。また、保育需要率は32.50%で、3.88ポイント伸びています。就学前人口は減少しているものの保育需要数は増加していることから、共働き世帯が増加しているものと思われます。今後の住宅開発により、さらに需要は増加すると見込まれます。

（４） ブロック内の保育施設数

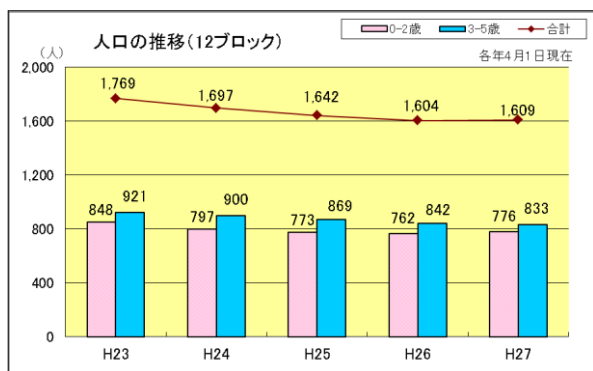
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	1	47	90	137
認可保育所（公設民営）	1	44	62	106
認可保育所（私立）	3	91	164	255
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	0	0	0	0
合計	5	182	316	498

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	3	56	0	56
家庭的保育	13	37	0	37
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	3	69	27	96
認証保育所（B型）	1	29	0	29
合計	25	373	343	716

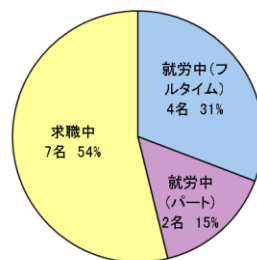
4.1.12 12ブロック — 鹿浜地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数 前年比較
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
12 ブロック	鹿浜地域	1	皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	1							0	5		1	1				2	2
		2	江北6.7	2	1	2		3			6	3		1					1	-5
		3	加賀1.2、鹿浜5.6	3	2	3		2			7	5	1	1			1		3	-4
		4	鹿浜2.3.4、椿2	-	-	-	-	-	-	-	0	4							0	0
	小 計			6	3	5	0	5	0	0	13	17	1	3	1	0	1	0	6	-7

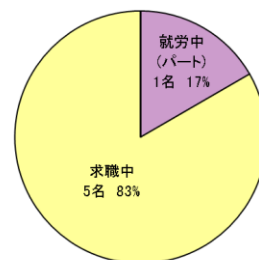
※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



申請事由別内訳(13人)
(平成26年4月)



申請事由別内訳(6人)
(平成27年4月)



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
12ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
鹿浜地域	0～5歳児	1,604	655	40.84%	1,609	631	39.22%	5	-24	-1.62
	0～2歳児	762	256	33.60%	776	251	32.35%	14	-5	-1.25
	3～5歳児	842	399	47.39%	833	380	45.62%	-9	-19	-1.77

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
12-（1）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
皿沼1.2、3、谷在家2.3、鹿浜7.8	0～5歳児	611	102	16.69%	598	107	17.89%	-13	5	1.20
	0～2歳児	295	31	10.51%	288	35	12.15%	-7	4	1.64
	3～5歳児	316	71	22.47%	310	72	23.23%	-6	1	0.76
12-（2）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
江北6.7	0～5歳児	156	229	146.79%	166	217	130.72%	10	-12	-16.07
	0～2歳児	71	81	114.08%	73	77	105.48%	2	-4	-8.61
	3～5歳児	85	148	174.12%	93	140	150.54%	8	-8	-23.58
12-（3）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
加賀1.2、鹿浜5.6	0～5歳児	424	294	69.34%	431	276	64.04%	7	-18	-5.30
	0～2歳児	198	114	57.58%	210	108	51.43%	12	-6	-6.15
	3～5歳児	226	180	79.65%	221	168	76.02%	-5	-12	-3.63
12-（4）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
鹿浜2.3.4、椿2	0～5歳児	413	30	7.26%	414	31	7.49%	1	1	0.22
	0～2歳児	198	30	15.15%	205	31	15.12%	7	1	-0.03
	3～5歳児	215	0	0.00%	209	0	0.00%	-6	0	0.00

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
				待機児童数（年齢別）								待機児童数（年齢別）								前年比較
地 域				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
1 2 ブロック	鹿浜地域	1	血沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	1							0	5							0	0
		2	江北6.7	2				1			1	3							0	-1
		3	加賀1.2、鹿浜5.6	3	2	1					3	5							0	-3
		4	鹿浜2.3.4、椿2	-	-	-	-	-	-	-	0	4							0	0
	小 計			6	2	1	0	1	0	0	4	17	0	0	0	0	0	0	0	-4

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成 27 年 4 月 1 日現在の待機児童は 6 名（5 名が 0～2 歳児）で、前年度に比べて 7 名の減でした。2 年連続で大きく減少しています。申請事由別では、パート就労世帯が 1 名、残り 5 名はすべて求職中世帯となっています。フルタイム就労世帯の待機児童は解消しています。

（２） 就学前人口

平成 27 年 4 月 1 日現在の就学前人口は 1,609 名で、前年とほぼ同じ人数です。3～5 歳児の人口は、平成 21 年から 0～2 歳児の人口を上回っている地域となっています。マンション等の大きな開発計画も無く、今後も引き続き、人口は減少していく見込みです。

（３） 保育需要

平成 27 年 4 月 1 日現在の保育需要数は 631 名で前年度に比べ 24 名減少しています。保育需要率は 39.22%で 1.62 ポイント減少しています。11 ブロックに認可保育所を整備したことにより、12 ブロックへの保育需要の流入が減少したことによるものと思われます。今後、保育需要は減少傾向で推移すると見込まれます。

（４） ブロック内の保育施設数

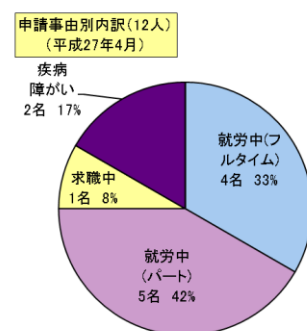
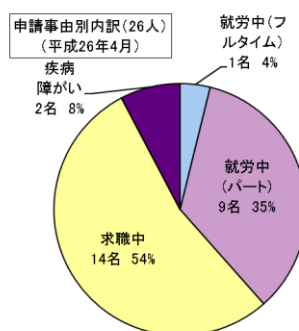
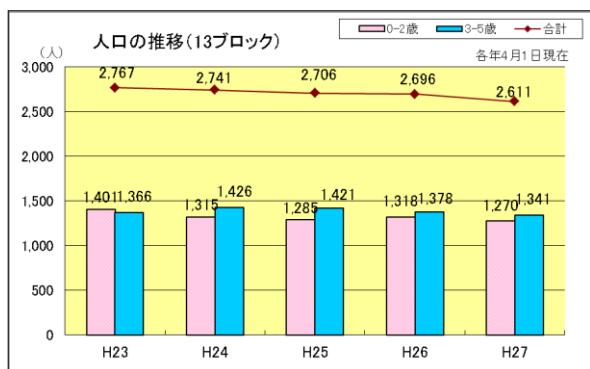
種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	115	209	324
認可保育所（公設民営）	1	24	71	95
認可保育所（私立）	1	39	48	87
認定こども園（公立）	1	24	72	96
認定こども園（私立）	0	0	0	0

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	1	19	0	19
家庭的保育	10	31	0	31
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	0	0	0	0
認証保育所（B型）	1	18	0	18
合 計	18	270	400	670

4.1.13 13ブロック — 舎人・東伊興地域

◆地域別待機児童数（年齢別）				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数
			地 域	待機児童数（年齢別）						合計	待機児童数（年齢別）						合計	前年比較		
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳
1 3 ブロック	舎人・東伊興 地域	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4、西竹の塚2	2	1	7	1	2	2	1	14	5	1	3	1	1		6	-8	
		2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	1	1	2	1	1			5	14		3				3	-2	
		3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	2		6	1				7	6		2	1			3	-4	
	小 計			5	2	15	3	3	2	1	26	25	1	8	2	1	0	0	12	-14

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計



【保育需要】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
13ブロック	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
舎人・東伊興地域	0～5歳児	2,696	771	28.60%	2,611	720	27.58%	-85	-51	-1.02
	0～2歳児	1,318	346	26.25%	1,270	331	26.06%	-48	-15	-0.19
	3～5歳児	1,378	425	30.84%	1,341	389	29.01%	-37	-36	-1.83

【各地区】		平成26年4月1日現在			平成27年4月1日現在			前年比		
13-（1）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4	0～5歳児	828	307	37.08%	827	291	35.19%	-1	-16	-1.89
	0～2歳児	413	152	36.80%	423	141	33.33%	10	-11	-3.47
	3～5歳児	415	155	37.35%	404	150	37.13%	-11	-5	-0.22
13-（2）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	0～5歳児	977	238	24.36%	937	257	27.43%	-40	19	3.07
	0～2歳児	467	110	23.55%	443	128	28.89%	-24	18	5.34
	3～5歳児	510	128	25.10%	494	129	26.11%	-16	1	1.02
13-（3）	年齢区分	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率	就学前人口	保育需要数	保育需要率
舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	0～5歳児	891	226	25.36%	847	172	20.31%	-44	-54	-5.06
	0～2歳児	438	84	19.18%	404	62	15.35%	-34	-22	-3.83
	3～5歳児	453	142	31.35%	443	110	24.83%	-10	-32	-6.52

※在園児童は在園する保育施設の所在地、待機児童は第一希望で入園希望した保育施設の所在地でカウントする。

※管外の保育施設利用者及び子育て応援隊利用者は、利用者の居住する地域でカウントする。

◆地域別待機児童数（年齢別）【フルタイム就労世帯】				平成26年4月1日現在								平成27年4月1日現在								待機児童数 前年比較
				待機児童数（年齢別）							合計	待機児童数（年齢別）							合計	
				施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
13 ブロック	舎人・東伊興 地域	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4、西竹の塚2	2							0	5	1	1					2	2
		2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	1	1						1	14		2					2	1
		3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	2							0	6							0	0
	小 計			5	1	0	0	0	0	0	1	25	1	3	0	0	0	0	4	3

※待機児童数は、希望した保育施設の地域で集計

※フルタイム就労世帯：月20日以上、1日8時間以上（休憩時間含む）の就労を常態（外勤・自宅内）

（１） 待機児童

平成27年4月1日現在の待機児童は12名（11名が0～2歳児）で、前年度に比べ14名減少しました。ブロック内すべての地域で減少しています。申請事由別では、フルタイム就労世帯が4名、パート就労世帯が5名、求職中の世帯が1名と、パート・求職中世帯が減少しているのに対し、フルタイム就労世帯の待機児童は増加しています。

（２） 就学前人口

平成27年4月1日現在の就学前人口は2,611名で、前年度に比べて85名の減でした。0～2歳児も3～5歳児も大きく減少していますが、日暮里・舎人ライナー沿線の開発で住宅開発が進んでいます。大規模な建設はありませんが、今後の就学前人口の動向について注視していく必要のある地域と考えています。

（３） 保育需要

平成27年4月1日現在の保育需要数は720名で、前年度に比べて51名の減となっています。また、保育需要率は27.58%で、1.02ポイントの減少でした。認定こども園を返上した幼稚園があり、保育需要（保育施設利用児）が教育需要（幼稚園利用児）に変わったことによる保育需要の減少が主な理由となっています。伊興本町などの地域の保育需要が減り、古千谷本町などの保育需要が増加しているのは、居住地周辺に保育施設整備を行ったことにより、保育需要の流れ込みが止まったことによるものです。今後の保育需要は、就学前人口同様、注視が必要であると考えています。

（４） ブロック内の保育施設数

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
認可保育所（公立）	3	81	187	268
認可保育所（公設民営）	0	0	0	0
認可保育所（私立）	2	106	138	244
認定こども園（公立）	0	0	0	0
認定こども園（私立）	1	39	75	114
合 計	26	343	400	743

種別	施設数	施設定員		
		0～2	3～5	合計
小規模保育	2	38	0	38
家庭的保育	17	49	0	49
公設民営認可外	0	0	0	0
認証保育所（A型）	1	30	0	30
認証保育所（B型）	0	0	0	0
合 計	26	343	400	743

4.2 保育需要の動向に関する分析

【分析定義】

◆分析に用いる保育需要の定義

分析に用いる「保育需要」は、以下①と②を足したものとします。

あだち子育て応援隊の利用児童は、動向の分析においては対象外とします。

①在園児…平成27年4月1日時点で、認可保育所、認定こども園（保育認定児童に限る）、小規模保育、家庭的保育、公設民営認可外保育施設、東京都認証保育所を利用している区民。（区外の保育施設を利用している児童を含む。）

②待機児童…平成27年4月1日時点の厚生労働省基準に基づく待機児童。

在園児 11,954 名 + 待機児童 322 名 = 保育需要 12,276 名

4.2.1 地域別の保育需要

上記の定義に基づき、保育需要を居住地域別で集計した結果は下表のとおりです。北千住地域や綾瀬地域など、主要駅を中心としたエリアに保育需要が多く発生している状況にあります。

（平成27年4月1日現在）

ブロック	細分化	地 域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	ブロック合計
1	1	千住東側	44	109	115	119	101	101	589	1,522
	2	千住西側	107	187	202	160	150	127	933	
2	1	江北2(26番以上).3.4、椿1、堀之内1.2、鹿浜1	17	35	29	41	27	32	181	381
	2	江北1.2(25番まで)、扇2	18	38	37	38	42	27	200	
	3	新田1	7	21	20	17	24	23	112	522
	4	新田2	2	5	6	9	7	8	37	
	5	新田3	21	71	74	76	66	65	373	
	6	宮城・小台	25	36	48	46	55	49	259	
3	1	西新井栄町3、西新井本町1.3.4.5	11	32	54	44	35	31	207	798
	2	興野1、本木1.2、本木東町、本木南町	17	31	40	34	33	34	189	
	3	扇1.3、興野2、本木北町、本木西町	29	51	62	61	66	55	324	
	4	西新井本町2	8	17	11	10	14	18	78	
4	1	梅島1.2.3	22	39	33	37	19	26	176	1,120
	2	梅田1.2.3.4.5.6.7	29	68	74	61	69	48	349	
	3	梅田8、西新井栄町1.2	37	86	87	74	72	52	408	
	4	関原1.2.3	20	29	34	30	34	40	187	
5	1	青井1.2.3.4.5.6	21	54	60	62	46	47	290	999
	2	弘道1.2、西綾瀬1.2.3.4	21	55	45	40	44	45	250	
	3	中央本町1.2.3.4.5	21	45	50	40	42	38	236	
	4	足立1.2.3.4	16	36	50	35	38	48	223	
6	1	綾瀬1.2.3.4.5.6.7、加平1	42	88	99	83	73	63	448	1,408
	2	東綾瀬1.2.3、谷中1.2	38	83	64	56	55	56	352	
	3	東和1.2.3.4.5、中川4(30番まで)	35	68	81	72	80	75	411	
	4	中川1.2.3.4(30番以上).5	11	37	31	45	34	39	197	
7	1	大谷田1.2.3.4.5、谷中3.4.5	24	62	66	75	68	75	370	893
	2	佐野1.2、辰沼1.2、六木1.2	11	27	46	41	35	47	207	
	3	神明1.2.3、六木3.4	13	36	27	29	35	33	173	
	4	加平2.3、北加平町、神明南1.2	15	23	28	23	26	28	143	

ブロック	細分化	地 域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	ブロック合計
8	1	六町1.2.3.4、一ツ家4、西加平1.2、南花畑1.2.3	40	60	72	62	61	46	341	918
	2	一ツ家2.3、保塚町、東保木間1.2	32	43	60	49	46	56	286	
	3	平野1.2.3、一ツ家1、東六月町、保木間1.2	21	44	61	59	52	54	291	
9	1	南花畑4.5、花畑1	12	28	24	30	29	28	151	556
	2	花畑2.3.6.7	11	30	30	28	31	31	161	
	3	花畑8(桑袋)	1	1	5	5	7	14	33	
	4	保木間3.4.5、花畑4.5	9	28	44	38	51	41	211	
10	1	西保木間1.2.3.4	9	30	35	25	34	32	165	792
	2	竹の塚1.2.3.4.5.6.7	14	37	36	29	38	38	192	
	3	六月1.2.3、島根1.2.3.4、栗原1.2	34	79	97	70	74	81	435	
11	1	伊興1.2.3、西新井2.3、栗原4	20	53	72	60	51	60	316	725
	2	西新井1、栗原3	6	22	19	17	27	18	109	
	3	西伊興1.2、西新井4.5、谷在家1	15	40	54	38	46	42	235	
	4	西新井6.7	4	7	7	17	17	13	65	
12	1	皿沼1.2.3、谷在家2.3、鹿浜7.8	12	46	31	31	43	44	207	592
	2	江北6.7	3	9	12	13	10	23	70	
	3	加賀1.2、鹿浜5.6	11	25	31	31	34	48	180	
	4	鹿浜2.3.4、椿2	8	24	27	22	32	22	135	
13	1	伊興本町1.2、伊興4.5、東伊興1.2.3.4、西伊興4	21	53	64	49	47	46	280	791
	2	古千谷本町1.2.3.4、舎人1.2.3、西伊興3	17	42	62	59	40	61	281	
	3	舎人4.5.6、入谷1.2.3.4.5.6.7.8.9	17	48	46	37	49	33	230	
合 計			999	2,218	2,462	2,227	2,209	2,161	12,276	12,276

4.2.2 ブロック別の保育需要の動向

児童が保育施設を利用するにあたり、各地域(ブロック)において以下のような「動き」が発生しています。また、大規模開発や沿線開発等が進んでいる地域では、保育需要の拡大により、多くの世帯が居住地地域外の保育施設を利用する現象がみられます。このような保育需要の広域化が、待機児童の地域遍在につながる一つの要因と考えます。

4.2.2.1 1ブロック — 千住地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
1	千住地域	→	1	千住地域	121	236	278	246	235	219	1335	92.6%
			2-1.2	江北・扇地区	1	3		2	2		8	0.6%
			3	興野・本木地域	1		2	2	1		6	0.4%
			4	梅田地域		5	4	5		2	16	1.1%
			5	中央本町地域	3		2	1		1	7	0.5%
			6	綾瀬地域		4	2	4	3	1	14	1.0%
			7	佐野地域		1					1	0.1%
			8	保塚・六町地域	1	3	1	1		1	7	0.5%
			9	花畑・保木間地域		2	1			1	4	0.3%
			10	竹の塚地域	1		1		1	1	4	0.3%
			11	伊興・西新井地域			1	1			2	0.1%
			管外	管外	6	5	11	6	7	2	37	2.6%
							134	259	303	268	249	228

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳							合計	割合
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
1	千住地域	→	1 千住地域	17	37	14	11	2			81	100.0%
				17	37	14	11	2	0		81	100.0%

②

1ブロック 合計 1522 ①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯の多くが居住地地域の保育施設を利用している(92.6%)
- ・待機児童となったすべての世帯が居住地地域の保育施設を希望している。

4.2.2.2 2ブロック — 江北・新田地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
2-1 2-2	江北 扇地域	→	1	千住地域				1			1	0.3%
			2-1.2	江北・扇地域	21	30	39	40	41	35	206	56.6%
			2-3.4.5	新田地域			1	1	7	4	13	3.6%
			2-6	宮城・小台地域		3	1	1		2	7	1.9%
			3	興野・本木地域	6	22	9	19	13	13	82	22.5%
			10	竹の塚地域			1				1	0.3%
			11	伊興・西新井地域	2	3	2		5		12	3.3%
			12	鹿浜地域	2	7	8	15	3	3	38	10.4%
			13	東伊興・舎人地域			1				1	0.3%
			管外	管外			1	1		1	3	0.8%
				31	65	63	78	69	58	364	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地			希望する保育施設の所在地		年齢別内訳							
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
2-1	江北	→	2-1.2	江北・扇地区	2	5	3	1			11	64.7%
2-2	扇地区		3	興野・本木地域	2	3				1	6	35.3%
					4	8	3	1	0	1	17	100.0%

2-1.2ブロック 合計 **381** ①+②

②

【地域の特徴等】

- ・居住地域の保育施設を利用している世帯は56.6%で、居住地域外の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・居住地域外の保育施設利用世帯の多くが、隣接する「3ブロック」、「12ブロック」を利用している。
- ・待機児童となった世帯の2/3が居住地域の保育施設を、1/3が隣接する「3ブロック」の保育施設を希望している。

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳									
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
2-3 2-4 2-5	新田地域	→	1	千住地域	2					1	3	0.6%	
			2-1.2	江北・扇地域					1		1	0.2%	
			2-3.4.5	新田地域	28	84	92	89	86	76	455	88.5%	
			2-6	宮城・小台地域		1	2	10	5	12	30	5.8%	
			10	竹の塚地域					1			1	0.2%
			12	鹿浜地域		1	1	1	1		4	0.8%	
			管外	管外		3	5	1	4	7	20	3.9%	
					30	89	100	102	97	96	514	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳						合計	割合
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
2-3.4.5	新田地域	→	2-3.4.5	新田地域		8				8	100.0%
				0	8	0	0	0	0	8	100.0%

2-3.4.5ブロック 合計 **522** ①+②

②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、88.5%が居住地域内の保育施設を利用している。
- ・区外の保育施設を利用している世帯は、20名と比較的多い。
- ・待機児童となった世帯のすべての世帯が居住地域内の保育施設を希望している。

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
2-6	宮城 小台地域	→	1	千住地域	1			2			3	1.2%
			2-1.2	江北・扇地域	4	1		2	1	3	11	4.3%
			2-3.4.5	新田地域	3				3	3	9	3.5%
			2-6	宮城・小台地域	10	29	43	36	45	38	201	77.9%
			3	興野・本木地域	5	3	3	4	1		16	6.2%
			6	綾瀬地域	1						1	0.4%
			11	伊興・西新井地域	1		1	1		1	4	1.6%
			12	鹿浜地域		1		1			2	0.8%
			管外	管外		1	1		5	4	11	4.3%
								25	35	48	46	55

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
2-6	宮城 小台地域	→	2-3.4.5 新田地域		1					1	100.0%	
				0	1	0	0	0	0	1	100.0%	

②

2-6ブロック 合計 **259** ①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、77.9%が居住地域内の保育施設を利用している。
- ・隣接する「2-1.2ブロック」、「2-3.4.5ブロック」、「3ブロック」のほか、区外の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯は、「2-3.4.5ブロック」の保育施設を希望している。

4.2.2.3 3ブロック — 興野・本木地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
3	興野 本木地域	→	1	千住地域			3		3	3	9	1.2%
			2-1.2	江北・扇地域	7	12	10	12	12	13	66	8.5%
			2-3.4.5	新田地域					2		2	0.3%
			2-6	宮城・小台地域	1	2	3		1		7	0.9%
			3	興野・本木地域	45	77	115	103	105	98	543	70.1%
			4	梅田地域	5	18	16	21	11	13	84	10.8%
			5	中央本町地域			1			1	2	0.3%
			8	保塚・六町地域			1			1	2	0.3%
			9	花畑・保木間地域		1		1			2	0.3%
			10	竹の塚地域				1		2	3	0.4%
			11	伊興・西新井地域	2	6	11	4	8	2	33	4.3%
			12	鹿浜地域	1	3	2	2	4	5	17	2.2%
			13	東伊興・舎人地域		1	1		2		4	0.5%
			管外	管外		1					1	0.1%
				61	121	163	144	148	138	775	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
3	興野 本木地域	→	2-1.2	江北・扇地区	1			1			2	8.7%
			3	興野・本木地域	3	9	3	4		19	82.6%	
			11	伊興・西新井地域		1	1			2	8.7%	
					4	10	4	5	0	0	23	100.0%

②

3ブロック 合計 **798** ①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域の保育施設を利用している世帯は70.1%である。
- ・隣接する「2-1.2ブロック」、「11ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の多くは居住地域の保育施設を希望しているが、「2-1.2ブロック」、「11ブロック」への希望もある。

4.2.2.4 4ブロック — 梅田地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
4	梅田地域	→	1	千住地域				1	3	2	6	0.5%
			2-1.2	江北・扇地域	1			1		2	4	0.4%
			2-6	宮城・小台地域		1					1	0.1%
			3	興野・本木地域	6	9	13	14	14	11	67	6.1%
			4	梅田地域	74	153	169	142	144	124	806	73.6%
			5	中央本町地域	12	21	22	23	25	15	118	10.8%
			6	綾瀬地域	1		1	1			3	0.3%
			8	保塚・六町地域		3	1	2		1	7	0.6%
			10	竹の塚地域	4	14	8	13	7	4	50	4.6%
			11	伊興・西新井地域	4	6	6	4	1	2	23	2.1%
			12	鹿浜地域			3			1	4	0.4%
			13	東伊興・舎人地域	1					3	4	0.4%
			管外	管外		1				1	2	0.2%
				103	208	223	201	194	166	1,095	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
4	梅田地域	→	4	梅田地域	4	12	3	1		20	80.0%	
			5	中央本町地域	1	2	2			5	20.0%	
							5	14	5	1	0	0

4ブロック 合計 1120 ①+②

②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、73.6%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接している「3ブロック」や「5ブロック」のほか、「10ブロック」や「11ブロック」など、環七を超えた地域の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・「1ブロック」や「13ブロック」など、比較的遠い地域の保育施設を利用する世帯もいる。
- ・待機児童となった世帯は、居住地域のほか、「5ブロック」の保育施設を希望している。

4.2.2.5 5ブロック — 中央本町地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
5	中央本町 地域	→	1	千住地域			1		1	1	3	0.3%
			3	興野・本木地域			2	2	1	1	6	0.6%
			4	梅田地域	1	6	10	10	9	9	45	4.7%
			5	中央本町地域	64	133	160	135	139	139	770	80.0%
			6	綾瀬地域	6	12	11	8	7	15	59	6.1%
			7	佐野地域		1		1			2	0.2%
			8	保塚・六町地域	2	12	10	14	5	8	51	5.3%
			9	花畑・保木間地域			1	1	4		6	0.6%
			10	竹の塚地域		2	4	4	3	4	17	1.8%
			11	伊興・西新井地域			1				1	0.1%
			管外	管外		1			1		2	0.2%
							73	167	200	175	170	177

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
5	中央本町 地域	→	4	梅田地域		1					1	2.7%
			5	中央本町地域	4	21	5	2		1	33	89.2%
			6	綾瀬地域	1	1					2	5.4%
			8	保塚・六町地域	1						1	2.7%
					6	23	5	2	0	1	37	100.0%

5ブロック 合計 999 ①+②

②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、80.0%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「6ブロック」や「8ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望しているが、「4ブロック」、「6ブロック」、「8ブロック」への希望もある。

4.2.2.6 6ブロック — 綾瀬地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
6	綾瀬地域	→	1	千住地域					1		1	0.1%
			5	中央本町地域	3	9	6	12	6	8	44	3.2%
			6	綾瀬地域	111	230	240	220	210	201	1212	88.2%
			7	佐野地域	3	13	12	14	14	18	74	5.4%
			8	保塚・六町地域			1				1	0.1%
			10	竹の塚地域				1	2		3	0.2%
			11	伊興・西新井地域	1				1		2	0.1%
			12	鹿浜地域	1					1	2	0.1%
			管外	管外	1	7	8	7	8	4	35	2.5%
								120	259	267	254	242

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域		ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
6	綾瀬地域	→	5	中央本町地域		1					1	2.9%
			6	綾瀬地域	6	15	6	2		1	30	88.2%
			7	佐野地域			1				1	2.9%
			11	伊興・西新井地域			1				1	2.9%
			管外	管外		1					1	2.9%
					6	17	8	2	0	1	34	100.0%

6ブロック 合計

1408

①+②

②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯の多くが居住地域の保育施設を利用している(88.2%)
- ・待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望しているが、「5ブロック」、「7ブロック」、「11ブロック」などへの希望もある。

4.2.2.7 7ブロック — 佐野地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
7	佐野地域	→	5	中央本町地域					1	1	2	0.2%
			6	綾瀬地域	23	40	48	44	41	52	248	28.1%
			7	佐野地域	38	96	108	114	115	125	596	67.4%
			8	保塚・六町地域	1	5	2	3	4	3	18	2.0%
			9	花畑・保木間地域		2	4	1	3	1	11	1.2%
			10	竹の塚地域			1				1	0.1%
			11	伊興・西新井地域		1					1	0.1%
			12	鹿浜地域				1			1	0.1%
			管外	管外	1		2	2		1	6	0.7%
							63	144	165	165	164	183

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
7	佐野地域	→	7 佐野地域		4	2	3			9	100.0%	
				0	4	2	3	0	0	9	100.0%	

7ブロック 合計

893

①+②

②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、67.4%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「6ブロック」の保育施設を利用する世帯が28.1%と、非常に多い。
- ・待機児童となった世帯のすべてが居住地域の保育施設を希望している。

4.2.2.8 8ブロック — 保塚・六町地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳						合計	割合
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
8	保塚 六町地域	→	1 千住地域	1				1		2	0.2%
			2-1.2 江北・扇地域	1			1			2	0.2%
			3 興野・本木地域	1				1		2	0.2%
			4 梅田地域	1	2	5	5	2	5	20	2.2%
			5 中央本町地域	3	4	10	1	1	7	26	2.9%
			6 綾瀬地域	2	4	1	2	1		10	1.1%
			7 佐野地域	1		1	1	2		5	0.6%
			8 保塚・六町地域	58	92	133	108	100	86	577	64.4%
			9 花畑・保木間地域	9	16	24	24	25	29	127	14.2%
			10 竹の塚地域	7	18	14	24	22	25	110	12.3%
			11 伊興・西新井地域	2	2		1		1	6	0.7%
			12 鹿浜地域			1				1	0.1%
			13 東伊興・舎人地域					2	1	3	0.3%
			管外				1	2	2	5	0.6%
				86	138	189	168	159	156	896	100.0%

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域		ブロック 地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
8	保塚 六町地域	→	7 佐野地域	1						1	4.5%	
			8 保塚・六町地域	6	8	4	2		20	90.9%		
			9 花畑・保木間地域		1				1	4.5%		
				7	9	4	2	0	0	22	100.0%	

②

8ブロック 合計 **918** ①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、64.4%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「9ブロック」、「10ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望しているが、「7ブロック」や「9ブロック」への希望もある。

4.2.2.9 9ブロック — 花畑・保木間地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
9	花畑 保木間 地域	→	5	中央本町地域			1	1			2	0.4%
			6	綾瀬地域	2		1	1			4	0.7%
			7	佐野地域			1			1	2	0.4%
			8	保塚・六町地域	7	18	10	7	13	11	66	12.3%
			9	花畑・保木間地域	15	53	62	75	85	92	382	71.0%
			10	竹の塚地域	5	6	17	16	16	9	69	12.8%
			11	伊興・西新井地域	1	2	2		2	1	8	1.5%
			13	東伊興・舎人地域	1		1		1		3	0.6%
			管外	管外		1			1		2	0.4%
				31	80	95	100	118	114	538	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳							
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
9	花畑 保木間 地域	→	8 保塚・六町地域	1		2				3	16.7%
			9 花畑・保木間地域	1	6	6	1			14	77.8%
			10 竹の塚地域		1					1	5.6%
				2	7	8	1	0	0	18	100.0%

②

9ブロック 合計 **556** ①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、71.0%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「8ブロック」、「10ブロック」の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯は、居住地域のほか、「8ブロック」や「10ブロック」の保育施設を希望している。

4.2.2.10 10ブロック — 竹の塚地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
10	竹の塚 地域	→	1	千住地域					1		1	0.1%
			2-1.2	江北・扇地域				1	1	1	3	0.4%
			2-3.4.5	新田地域		1			1		2	0.3%
			3	興野・本木地域		1				1	2	0.3%
			4	梅田地域	6	10	3	6	5	11	41	5.3%
			5	中央本町地域	1		4		3	1	9	1.2%
			8	保塚・六町地域	2	4	3	5		3	17	2.2%
			9	花畑・保木間地域	6	3	5	4	10	10	38	4.9%
			10	竹の塚地域	30	106	132	100	114	115	597	76.7%
			11	伊興・西新井地域	7	10	13	3	6	4	43	5.5%
			13	東伊興・舎人地域	2	5	3	4	5	4	23	3.0%
			管外	管外			1			1	2	0.3%
				54	140	164	123	146	151	778	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
10	竹の塚地域	→	4	梅田地域	1						1	7.1%
			8	保塚・六町地域		1					1	7.1%
			10	竹の塚地域	1	5	4	1			11	78.6%
			11	伊興・西新井地域	1						1	7.1%
				3	6	4	1	0	0	14	100.0%	

②

10ブロック 合計

792

①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、76.7%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「9ブロック」や「11ブロック」のほか、環七をはさんだ「4ブロック」の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望している。が、「4ブロック」、「8ブロック」、「11ブロック」への希望もある。

4.2.2.11 11ブロック — 伊興・西新井地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
11	伊興 西新井 地域	→	1	千住地域						1	1	0.1%
			2-1.2	江北・扇地域		1	6	1	4	4	16	2.2%
			2-6	宮城・小台地域				1		1	2	0.3%
			3	興野・本木地域	4	10	7	20	14	14	69	9.7%
			4	梅田地域	2	2	3	6	4	3	20	2.8%
			5	中央本町地域					1		1	0.1%
			6	綾瀬地域						1	1	0.1%
			8	保塚・六町地域					1	1	2	0.3%
			9	花畑・保木間地域		1	1	1	1	1	5	0.7%
			10	竹の塚地域	1	12	15	8	9	11	56	7.9%
			11	伊興・西新井地域	25	72	92	69	69	70	397	55.7%
			12	鹿浜地域	3	9	14	11	16	9	62	8.7%
			13	東伊興・舎人地域	8	6	11	13	19	16	73	10.2%
			管外	管外		2	1	2	2	1	8	1.1%
				43	115	150	132	140	133	713	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳							
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
11	伊興 西新井 地域	→	2-1.2	江北・扇地区		1				1	8.3%
			3	興野・本木地域		2				2	16.7%
			4	梅田地域		1				1	8.3%
			11	伊興・西新井地域	2	2				4	33.3%
			12	鹿浜地域		1	1		1	3	25.0%
			13	東伊興・舎人地域			1			1	8.3%
				2	7	2	0	1	0	12	100.0%

②

11ブロック 合計

725

①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、居住地域内の保育施設を利用している世帯は55.7%である。
- ・居住地域外の保育施設を利用している世帯は、「7ブロック」以外のすべての地域に分散しており、特に、「3ブロック」、「10ブロック」、「12ブロック」、「13ブロック」を利用している世帯が多い。
- ・待機児童となった世帯は、保育施設利用世帯同様、多くの地域に分散している状況である。

4.2.2.12 12ブロック ー 鹿浜地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
12	鹿浜地域	→	2-1.2	江北・扇地域	2	7	8	7	3	8	35	6.0%
			2-3.4.5	新田地域			2			2	4	0.7%
			2-6	宮城・小台地域					1		1	0.2%
			3	興野・本木地域		3	2	3	5	3	16	2.7%
			4	梅田地域	1	1			2	4	8	1.4%
			5	中央本町地域						1	1	0.2%
			6	綾瀬地域			1				1	0.2%
			8	保塚・六町地域	1			1			2	0.3%
			10	竹の塚地域						1	1	0.2%
			11	伊興・西新井地域	3	12	6	7	4	6	38	6.5%
			12	鹿浜地域	24	69	78	76	100	107	454	77.6%
			13	東伊興・舎人地域	1	7	2	1	4	3	18	3.1%
			管外	管外			2	2		2	6	1.0%
				32	99	101	97	119	137	585	100.0%	

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳								
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合	
12	鹿浜地域	→	2-1.2	江北・扇地区	1	3				4	57.1%	
			12	鹿浜地域	1	2				3	42.9%	
				2	5	0	0	0	0	7	100.0%	

②

12ブロック 合計 592 ①+②

【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、77.6%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「2-1.2ブロック」、「11ブロック」、「13ブロック」の保育施設を利用している世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯は、居住地域のほか、「2-1.2ブロック」の保育施設を希望している。

4.2.2.13 13ブロック ー 舎人・東伊興地域

在園児世帯の居住地		在園する保育施設の所在地		年齢別内訳										
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合			
13	東伊興 舎人地域	→	1	千住地域				1			1	0.1%		
			2-1.2	江北・扇地域			1	2		2		5	0.6%	
			3	興野・本木地域				1			2		3	0.4%
			4	梅田地域			1				1		2	0.3%
			5	中央本町地域						1			1	0.1%
			8	保塚・六町地域			1						1	0.1%
			9	花畑・保木間地域					2	1	1		4	0.5%
			10	竹の塚地域		2	10	15	10	12	12		61	7.9%
			11	伊興・西新井地域		11	15	21	19	13	14		93	12.0%
			12	鹿浜地域		2	2	8	9	6	5		32	4.1%
			13	東伊興・舎人地域		39	104	121	103	100	103		570	73.4%
			管外	管外				1		1	2		4	0.5%
							54	134	169	144	136	140	777	100.0%

①

待機児童世帯の居住地		希望する保育施設の所在地		年齢別内訳							
ブロック	地域	ブロック	地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	割合
13	東伊興 舎人地域	→	11	伊興・西新井地域		1	2			3	21.4%
			13	東伊興・舎人地域	1	8	1	1		11	78.6%
				1	9	3	1	0	0	14	100.0%

②

13ブロック 合計 791 ①+②

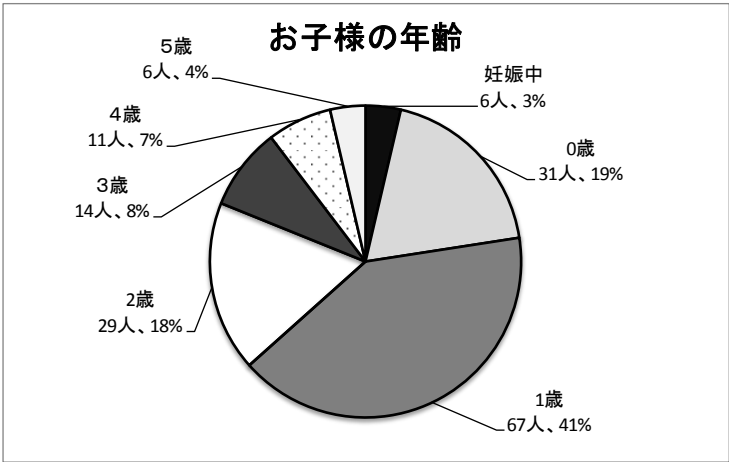
【地域の特徴等】

- ・保育施設を利用している世帯のうち、73.4%が居住地域の保育施設を利用している。
- ・隣接する「10ブロック」、「11ブロック」、「12ブロック」の保育施設を利用する世帯も多い。
- ・待機児童となった世帯の多くが居住地域の保育施設を希望しているが、「11ブロック」への希望もある。

4.3 待機児童実態調査結果

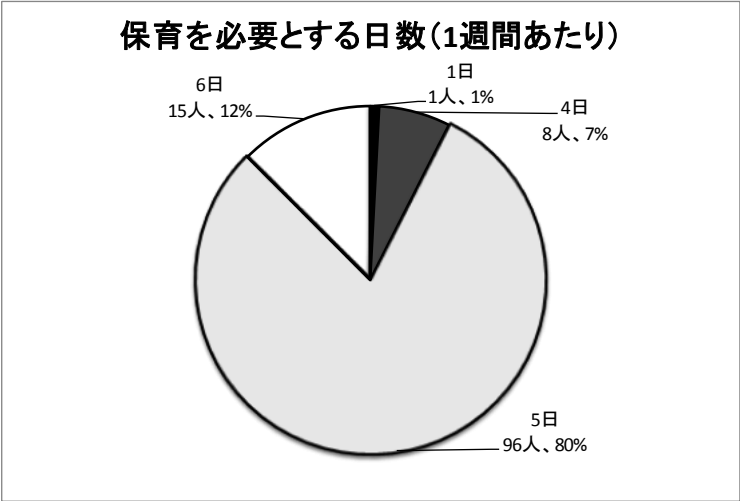
待機児童の保護者に対して、認可保育施設に入れなかった後の動向を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

- ・調査実施日 平成 27 年 6 月 12 日 ～ 6 月 22 日
 - ・調査方法 待機児童の保護者への郵送によるアンケート
 - ・調査対象 待機児童 322 人のうち、複数の待機児童がいる世帯は1世帯として扱い、301 世帯に郵送した。
 - ・回収率 40.5% (122 世帯)



妊娠中	6
0歳	31
1歳	67
2歳	29
3歳	14
4歳	11
5歳	6

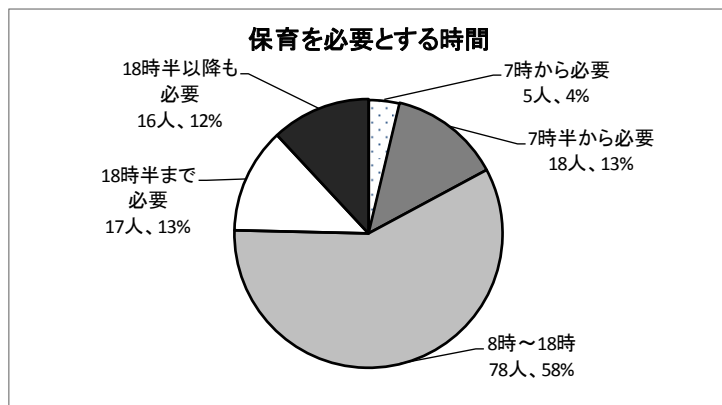
調査対象のうち、1 歳児をもつ保護者からの回答が最多であった。



1日	1
2日	0
3日	0
4日	8
5日	96
6日	15
7日	0

1 週間あたりの保育を必要とする日数は「5日」が最多である。

保育を必要とする時間は、保育所の開所時間とほぼ同じである



- 1日あたりの必要時間帯は、8：00から18：00が最も多い。
- 保育を必要とする時間帯は、ほぼ保育施設の開所時間内である。ただし、家庭的保育では上記時間よりも開所時間が短い場合もあり、対応できないケースもある。

各時間帯の対応施設数

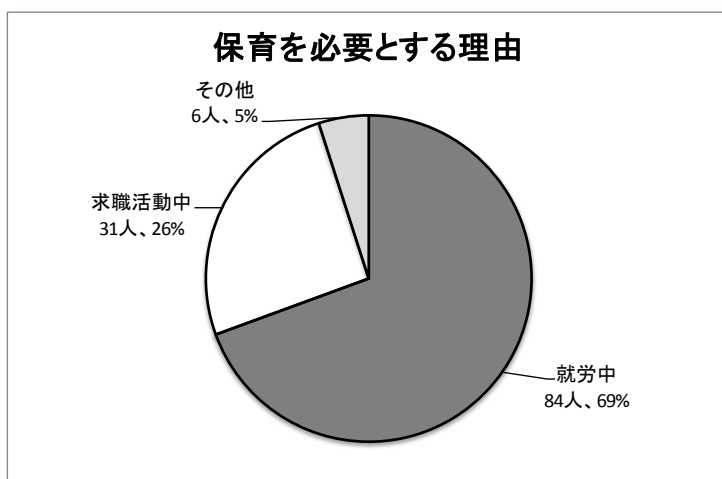
平成27年4月1日現在

	区立認可 保育所※ (全53施設)	私立認可 保育所 (全48施設)	小規模保育 (全21施設)	東京都 認証保育所 (全43施設)	家庭的保育 (全171施設)
7時から必要	8施設	21施設	0施設	22施設	0施設
7時半から必要	全53施設	全48施設	全21施設	全43施設	16施設
8時～18時	全53施設	全48施設	全21施設	全43施設	34施設
18時半まで必要	全53施設	全48施設	全21施設	全43施設	10施設
18時半以降も必要	20施設	全48施設	0施設	全43施設	0施設

※区立認定こども園、公設民営認可保育所、公設民営認可外保育所を含む

137施設(約8割)は17時から17時半までの開所となる。

待機児を持つ保護者が保育を必要とする最も多い理由は「就労中」



就労中	84
求職活動中	31
その他	6

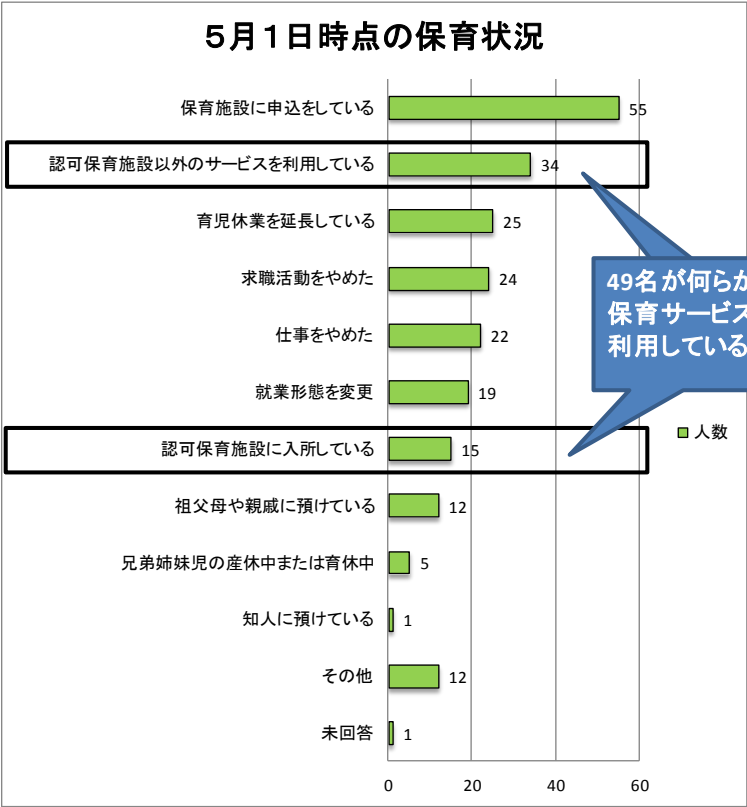
(1) 平成27年5月1日時点での保育状況について

平成27年5月1日時点での保育状況で最も多いものは「認可外の保育サービスを利用」

5月1日時点の保育状況 221名（複数回答）

項目	人数
保育施設に申込をしている	55
認可保育施設以外のサービスを利用している	34
育児休業を延長している	25
求職活動をやめた	24
仕事をやめた	22
就業形態を変更	19
認可保育施設に入所している	15
祖父母や親戚に預けている	12
兄弟姉妹児の産休中または育休中	5
知人に預けている	1
その他	12
未回答	1

- ・「仕事をやめた」が22名、「求職活動をやめた」が24名であった。
- ・その他としては、職場に同行している、幼稚園へ入園した、休職したなどがある。



- ・保育サービスを利用している人の中では「託児所・ベビーホテル」が最も多く、次いで「東京都認証保育所」「事業所（企業）内保育施設」「一時保育・休日保育」が多い。
- ・区で利用調整を行う認可保育施設ではなく、直接契約を行う、託児所・ベビーホテル、東京都認証保育所、事業所（企業）内保育施設を利用するか、一時保育等を組み合わせている方が多くみられる。

平成27年5月1日の保育サービス利用内訳（複数回答）

保育サービス	人数	保育サービス	人数
認可保育所	6	事業所（企業）内保育施設	8
認定こども園	2	幼稚園（預かり保育を除く）	4
小規模保育	4	幼稚園預かり保育	1
家庭的保育（保育ママ）	0	託児所・ベビーホテル	10
東京都認証保育所	10	ベビーシッター	3
あだち子育て応援隊	2	その他	1
一時保育・休日保育	8	未回答	4

【小規模保育】

- とても便利である。
- おむつをこまめに替えて欲しい。外遊びをもっとしてほしい。
- 2歳児までの小規模な園のため、保育士の目が行き届いていて安心。しかし、3歳児以降の預け先に不安がある。

【東京都認証保育所】

- 先生方も保育内容も問題なく、こども達も楽しく通っている。
- 保育料が高額である。
- 近所の保育所に入れずに遠くの保育所になったため、通園が負担。
- 3歳児以上が抽選となるため、不安がある。
- 園庭がないので、毎日道路をわたってのお散歩が不安。

【事業所内（企業）保育施設】

- 職場内なので近くて助かるが、園庭もなく児童の年齢もバラバラである。
- 地下鉄等を利用しての通園の負担が大きい。
- 保育士が多く、安心して預けることができる。
- 保育士の数が少なく不安。
- 病院内なので熱を出してもすぐに受診でき、預かってもらえる。残業しても電話で対応してくれて助かる。

【託児所・ベビーホテル】

- 保育料が高額である。
- 朝早くから夕方まで預かってもらえ、親子行事もありすごく良い保育園で助かっている。
- お弁当を用意しなければならない施設や、給食・おやつ代が保育料と別であったり、保育料の負担が大きい。
- 職場近くのため急なお迎えはすぐに対応できてよいが、電車での通園が大変である。
- 1日中保育室で外に出してもらえない。引っかきキズも多く、保育室もちらかっている。早く認可保育所に入りたい。

【幼稚園】

- 友達との付き合いもでき、とてもよいと感じる。
- 保育所と違い収入に応じた保育料ではないため、金額が高い。
- 教育機関としての幼稚園には満足しているが、保育時間が短いので仕事復帰したときのことを考えると不十分だと感じる。

【一時保育・休日保育】

- 同じ時期に各保育園のイベントが重なるので、その時期はどの園も予約がとれなくなる。
- あまり歓迎されていないように感じる。

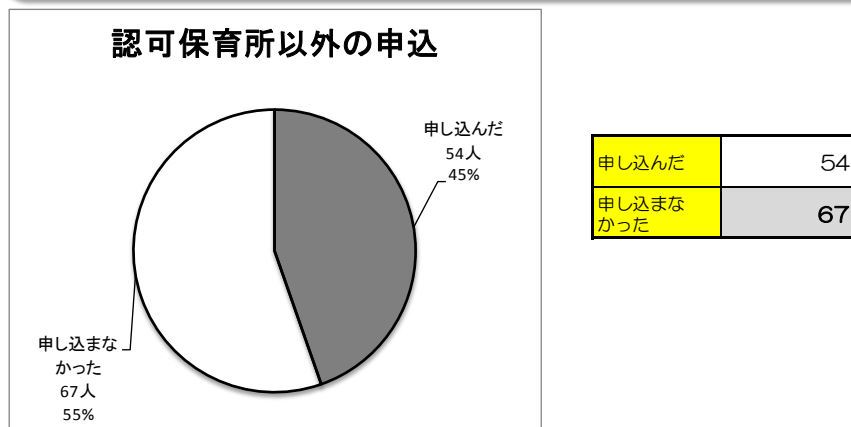
【あだち子育て応援隊】

- とても助かるが、預けられる時間が短くフルタイムで働けない。

(2) 保育サービスの検討について

①認可保育所以外の保育施設の申込状況

- ・認可保育所以外の施設へ申込みをしていない世帯は 54.9%
- ・認可保育所に申し込まなかった理由は「認可保育所以外は保育料が高い」が1番多く、次いで「認可保育所と比べて施設規模が小さい」が多い



申し込まなかった理由	人数
認可保育所以外は保育料が高い	43
認可保育所と比べて施設規模が小さい	33
受入可能年齢に制限があり、3歳以降の預け先の確保に不安がある	21
従事者全員が保育士ではないことが不安	20
預けられる時間が短い	19
なんとなく認可保育所が良いと思った	18
給食を実施していない・お弁当を用意できない	18
家族や知人から認可保育所を薦められた	14
認可保育所と比べて人数が少ない	10
自宅又は勤務先のそばに認可保育所しかない	7
土曜保育を実施していない	7
認可保育所以外の施設がどこにあるのかわからない	6
認可保育所以外の施設の申込方法がわからない	6
認可保育所以外の制度を知らなかった	1
その他	18

- ・申し込まなかった理由として、その他には、「兄弟と同じ施設へ入所させたい」、「認可保育所以外の施設への不安」などがある。
- ・半数以上の保護者が、認可保育所のみに申込をしている。
- ・認可保育所以外を申し込まなかった理由として、保育料・規模に次いで、保育内容（資格・預け時間）及び3歳児以降の預け先の確保に不安があることがみられる。
- ・H27年度から小規模保育・家庭的保育の保育料は認可保育所と同程度以下となっている。回答結果から、この点の誤解がみられるので一層の周知が必要である。

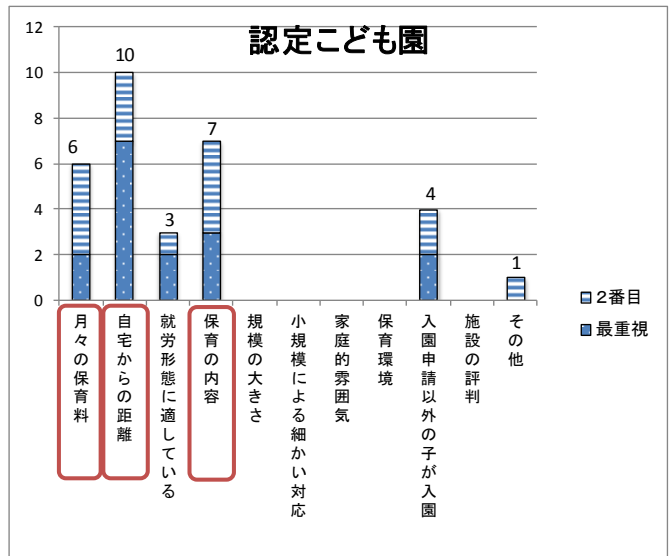
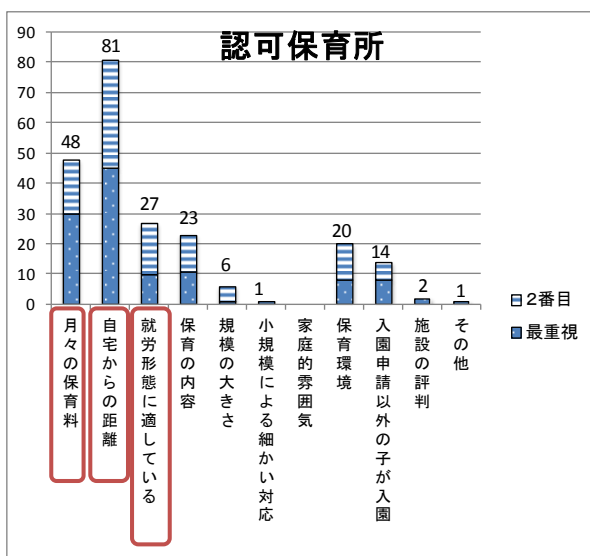
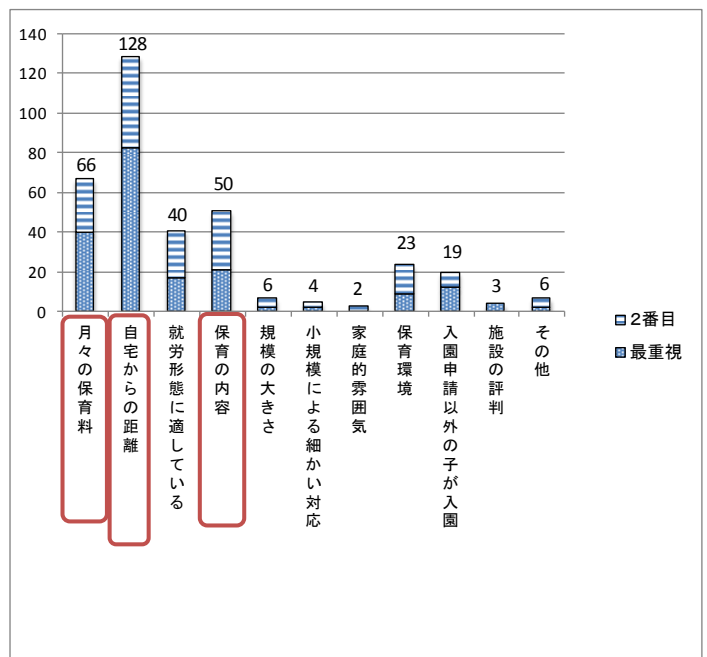
②各保育施設の利用を検討するうえで、重視したこと（1番目、2番目 各1つ）

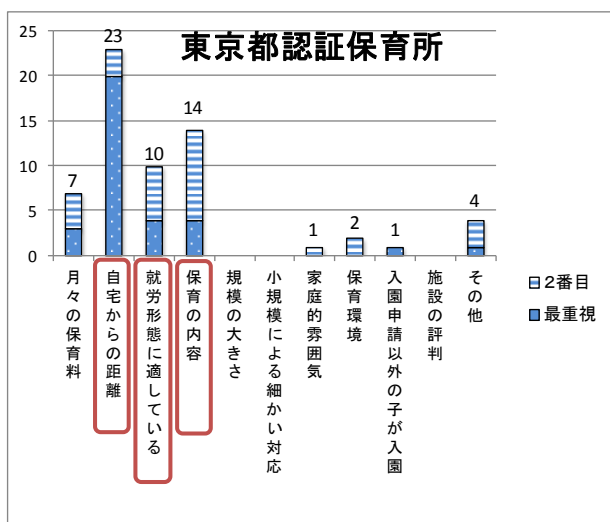
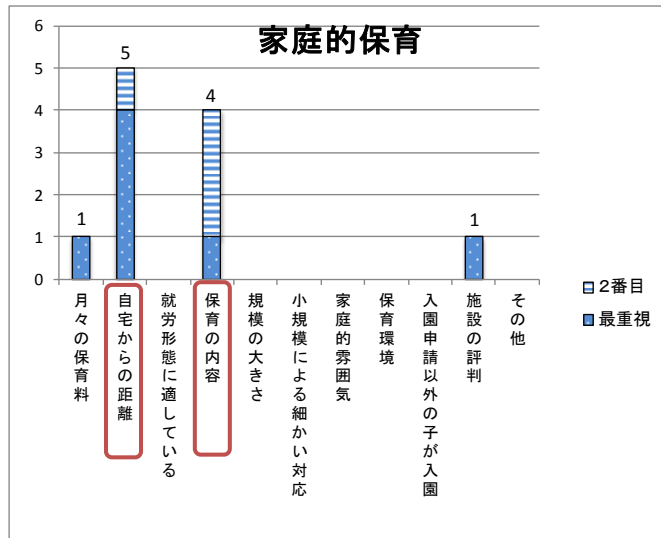
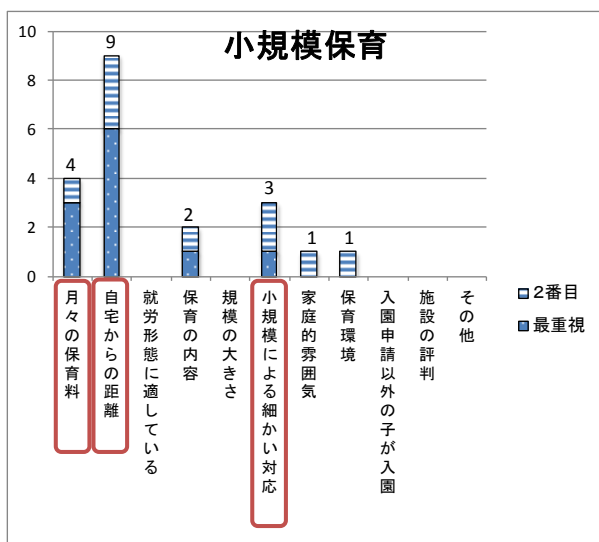
- ・ 最重視しているもので最も多かったものは「自宅からの距離」で、次いで「月々の保育料」
- ・ 上記のほか、認可保育所では「就労形態に適している」、認可保育所以外の施設では「保育の内容」を重視する傾向にある

重視したこと	最重視	2番目	合計
月々の保育料	39	27	66
自宅からの距離	82	46	128
就労形態に適している	16	24	40
保育の内容	20	30	50
規模の大きさ	1	5	6
小規模による細かい対応	1	3	4
家庭的雰囲気	0	2	2
保育環境	8	15	23
入園申請以外の子が入園	11	8	19
施設の評判	3	0	3
その他	1	5	6

重視したこと（その他）

- ・ 駅からの距離
- ・ 就学前まで同じ施設へ通いたい



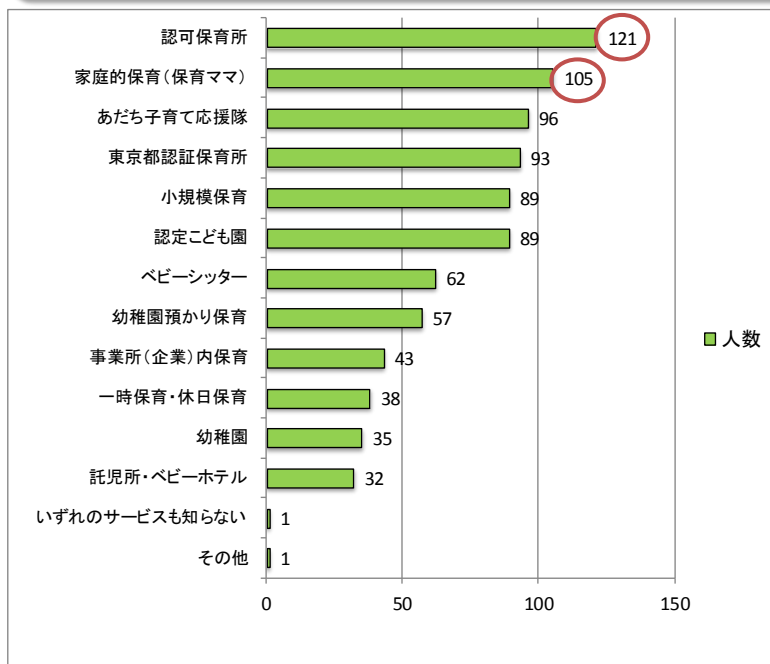


- 施設別で見ても、「自宅からの距離」を最も重視している。
- 認可保育所と小規模保育は、「自宅からの距離」に次いで「月々の保育料」を重視しているのに比べて、認定こども園、家庭的保育、東京都認証保育所は、「保育の内容」を重視している。
- 保育所＝認可保育所というイメージが強いことから、認可保育所については他の施設に比べて保育の内容を重視している人が少ないのではないかと推測される。

(3) 各保育サービスの認知度及び情報収集方法等について

①知っている保育サービス（複数回答）

知っている保育サービスは「認可保育所」が最も多く、次いで「家庭的保育」が多い

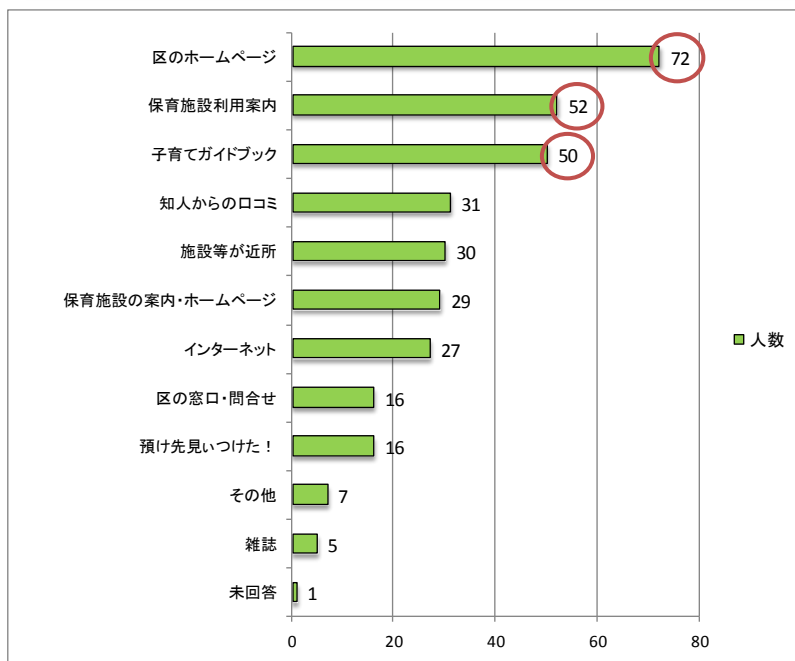


保育サービス	人数
認可保育所	121
家庭的保育(保育ママ)	105
あだち子育て応援隊	96
東京都認証保育所	93
認定こども園	89
小規模保育	89
ベビーシッター	62
幼稚園預かり保育	57
事業所(企業)内保育	43
一時保育・休日保育	38
幼稚園	35
託児所・ベビーホテル	32
その他	1
いずれのサービス也不知道	1

- ・認定こども園、小規模保育、東京都認証保育所、あだち子育て応援隊などの自治体を実施している事業の認知度は70%を超えている

②保育サービス・保育施設の情報源（複数回答）

保育関連情報の情報源は、「区のホームページ」が最も多く次いで「保育施設利用案内」、「子育てガイドブック」の順に多い



保育サービス	人数
区のホームページ	72
保育施設利用案内	52
子育てガイドブック	50
知人からの口コミ	31
施設等が近所	30
保育施設の案内・ホームページ	29
インターネット	27
区の窓口・問合せ	16
預け先見つけた!	16
雑誌	5
その他	7
未回答	1

情報を得るための要望

- 区のホームページをもっと分かりやすくしてほしい
- 区のHP内ではなく、足立区の子育て情報の総合的なホームページがほしい
- 病院や保健所、住区センターなどに冊子があると、別の用事と同時に情報が得られて便利
- 子どもが生まれた時や母子手帳交付時などに、早めに情報が欲しい

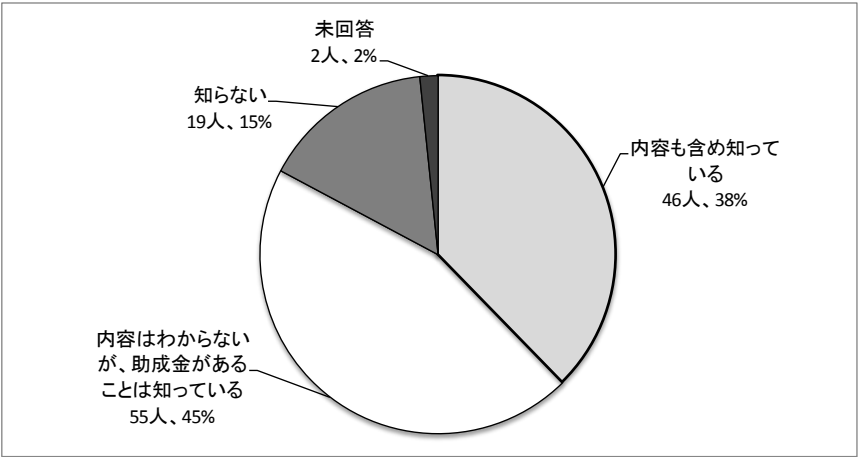
情報源（その他）

- 保健師から情報をもらった。
- 保護者自身が保育士

③東京認証保育所に入所している方を対象にした補助金制度について

82.9%が東京認証保育所入所者を対象とした補助金制度の存在を知っている。

項目	人数
内容も含め知っている	46
内容はわからないが、助成金があることは知っている	55
知らない	19
未回答	2



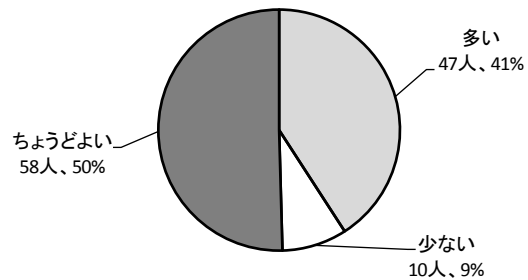
(4) 認可保育施設の申込み方法について

①第5希望まで申し込めることについて

50.4%の保護者が「ちょうどよい」と感じている

項目	人数
多い	47
少ない	10
ちょうどよい	58

第5希望まで申し込めることについて



理由

- 【多い】・通える範囲に5カ所もない
- 【少ない】・第5希望まで書いても入所できないから、認可保育所、小規模、ママを含めて5つなので少ない
- 【ちょうどよい】・選択肢が増えてよい

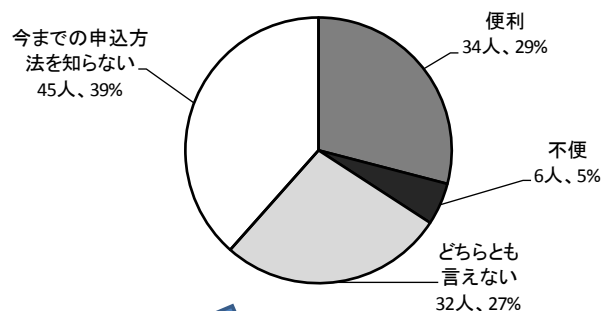
希望欄を増やして欲しい(少ない)と考えている保護者は8.7%であり、現在の第5希望でも多いと考えている保護者は40.9%。

②認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ)の申込みが一括で出来ることについて

「便利」と答えた保護者は47.2%
(今までの申込方法を知らないと回答した人を除く)

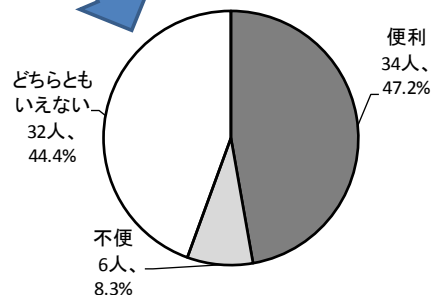
項目	人数
便利	34
不便	6
どちらとも言えない	32
今までの申込方法を知らない	45

保育施設一括の申込みについて(認証除く)



「今までの申込方法を知らない」と答えた保護者を除くと、「便利」と答えた保護者は47.2%、「どちらとも言えない」と答えた保護者は44.4%、「不便」と答えた保護者は8.3%にとどまった。

「今までの申込方法を知らない」と回答した方を除いた場合



それぞれの選択肢の理由

【便利】

選択肢が増えた / 一括で手続きができるので便利 / 東京都認証保育所も一括で手続きしたい

【不便】

区の申込だと期限が決まっていて間に合わない場合がある / 区を通すから結果がでるまでが遅い /
直接申込だと、保育ママに延長保育の交渉ができる / 小規模の一時預かりが満員で預けられない

【どちらとも言えない】

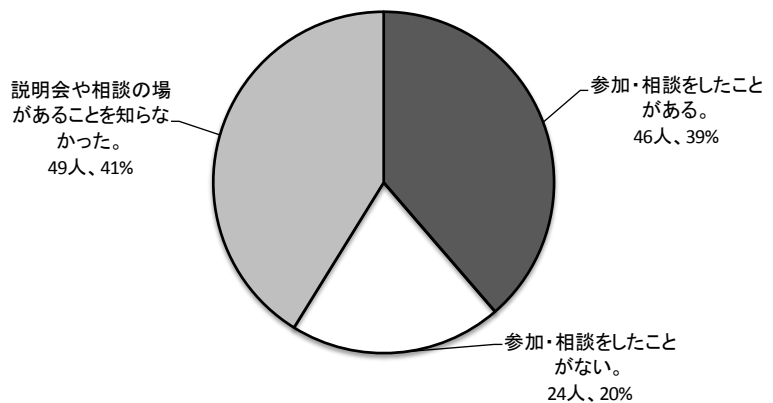
手続きが便利になったが、今まで直接交渉していた保育ママも指数での入所となってしまったから /
自分の地域には選択できる施設がない / その人によって違うから

③保育所の申込方法や保育の制度についての説明会について

- ・41.1%の保護者が「説明会や相談の場があることを知らなかった」と回答。
- ・46.7%の保護者が説明会に参加したいと回答。

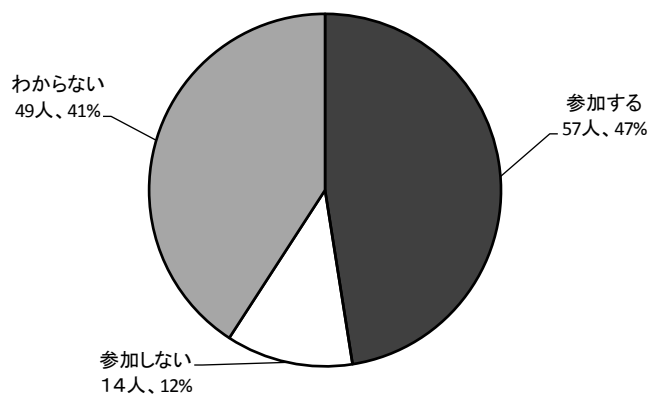
項目	人数
参加・相談をしたことがある	46
参加・相談をしたことがない	24
説明会や相談の場があることを知らなかった	49

申込みや保育の制度に関する説明会について



項目	人数
参加する	57
参加しない	14
わからない	49

説明会への参加希望について



半数以上の保護者が説明会に参加したい意思があり、説明会の必要性がある。「昨年は説明会や相談の場があることを知らなかった」方が41.1%いたことから、開催前の周知方法を検討する必要がある。

(5) 主な自由意見

- ・千住橋戸町の再開発が進んでいるが、保育所の開設が追いついていない。
- ・六町駅に近い保育園を作してほしい。
- ・働くママが増えているので、小学校入学前まで通える保育園を増やしてほしい。
- ・待機児童が多いのに、保育施設が少なすぎる。
- ・新しい制度になり、申込先の選択肢は増えたが、標準時間を希望する人に対して受け皿が非常に少ない。
- ・短時間パートでは中々入所できないが、幼稚園では月謝の他に延長保育料を支払わなくてはならず、保育料が高額になる。
- ・働くためには子どもは預けなければならない、子どもを預けるには働いていなければならない。このジレンマはどうにかならないか。
- ・育児休業中に預け先が決まらないと、仕事を辞めなければならない。
- ・フルタイム勤務であったが待機となり、パートに変更した。
- ・病児保育を充実してほしい。
- ・同じ指数のときの判定にあたり、家庭の収入額が基準となるのは解せない。
- ・同じ指数で並んだ場合の選考基準を明確にしてほしい。
- ・選考基準の一つに「勤続年数」があるが、必然的に保護者の年齢が高いほうが優先にならないか。
- ・子育てに関する情報がまとめて記載されているサイトがあるとよい。（認可、認証その他）
- ・大体いくらの保育料で預けられるのかを簡単に調べられるツールがあると便利。
- ・保育園の送迎バスを出すなど、通える範囲を広げられないか。
- ・家庭的保育にも興味はあるが、周囲からは賛否両論の声があり、申込を躊躇してしまう。もっと保育先の状況や保育ママの顔などわかると安心できる。

平成 27 年 8 月発行



発行元：足立区教育委員会

子ども家庭部 待機児ゼロ対策担当課

〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1

TEL 03-3880-5759 FAX 03-3880-5641

メール taiki-zero@city.adachi.tokyo.jp

